土木学会「見える化データ」 2010

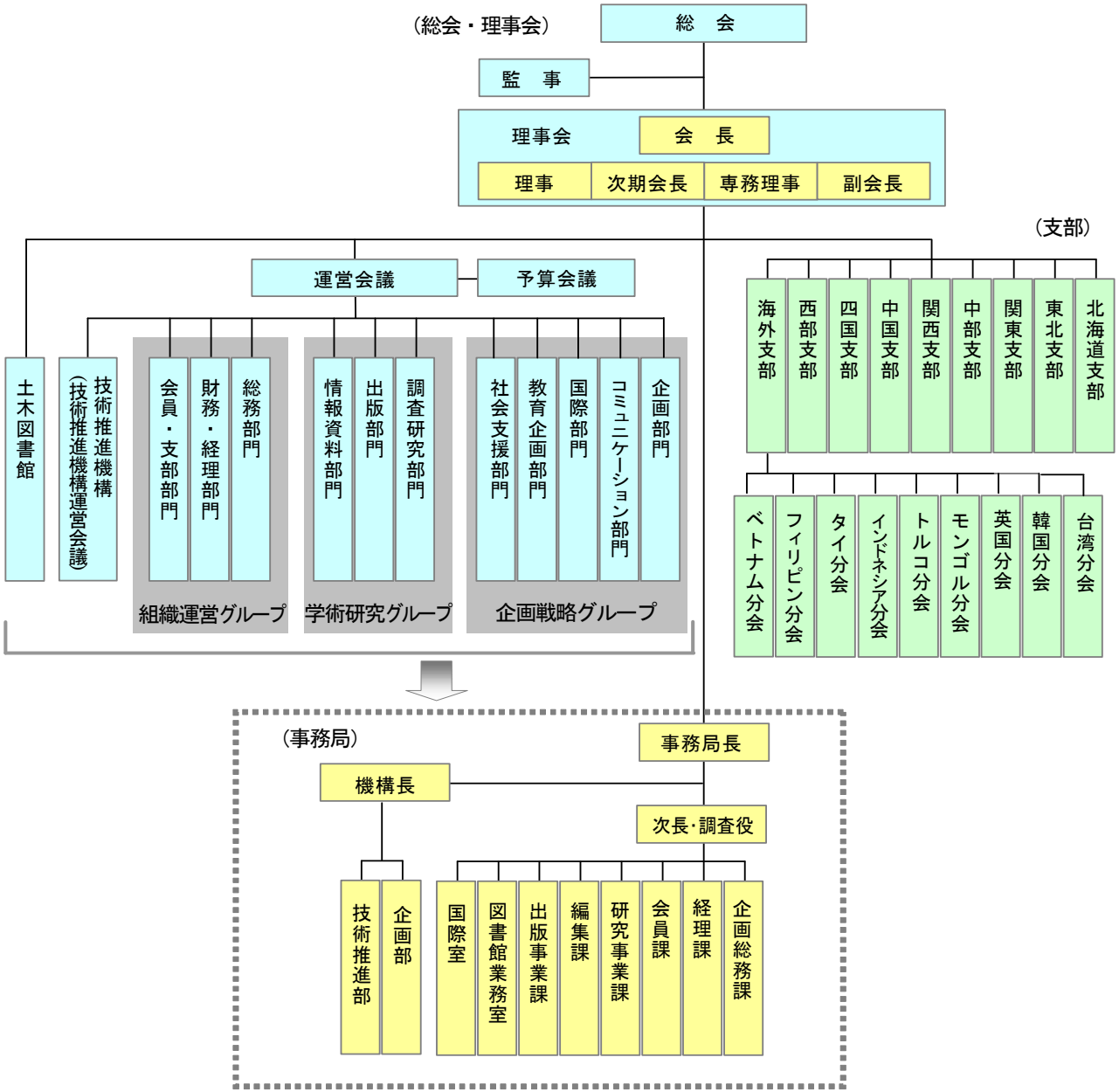
土木学会が現在どのような状況にあるかを、目先の現象や各人の印象に捉われることなく、様々なデータを基にできる限り正確に把握し、それを踏まえて今後の方針を議論し、決定していくことは極めて大切である。また、その内容を学会員のみならず広く社会に公開し、開かれた学会として、より良い方向へと発展し続ける必要がある。

このような視点のから、土木学会では「90年誌」（土木学会略史1994－2004）作成を機に、各部門においてデータを継続的に整備することを行ってきた。そして、「JSCE2010」を策定するにあたり、このデータを企画部門に集約する体制を整え、「見える化」と称して学会の現況把握および公表に向けてデータを集約することとし、各項目の時系列変化を捉えてきた。ここでは、その中から特に重要なものを抜粋し掲載する。データ更新は毎年とし、理事会での報告の後、ホームページで公開する。また、5年ごとの土木学会の活動目標と行動計画（「JSCE20XX」）の策定の際には、この結果を再整理するとともに参考資料として掲載することとしている。

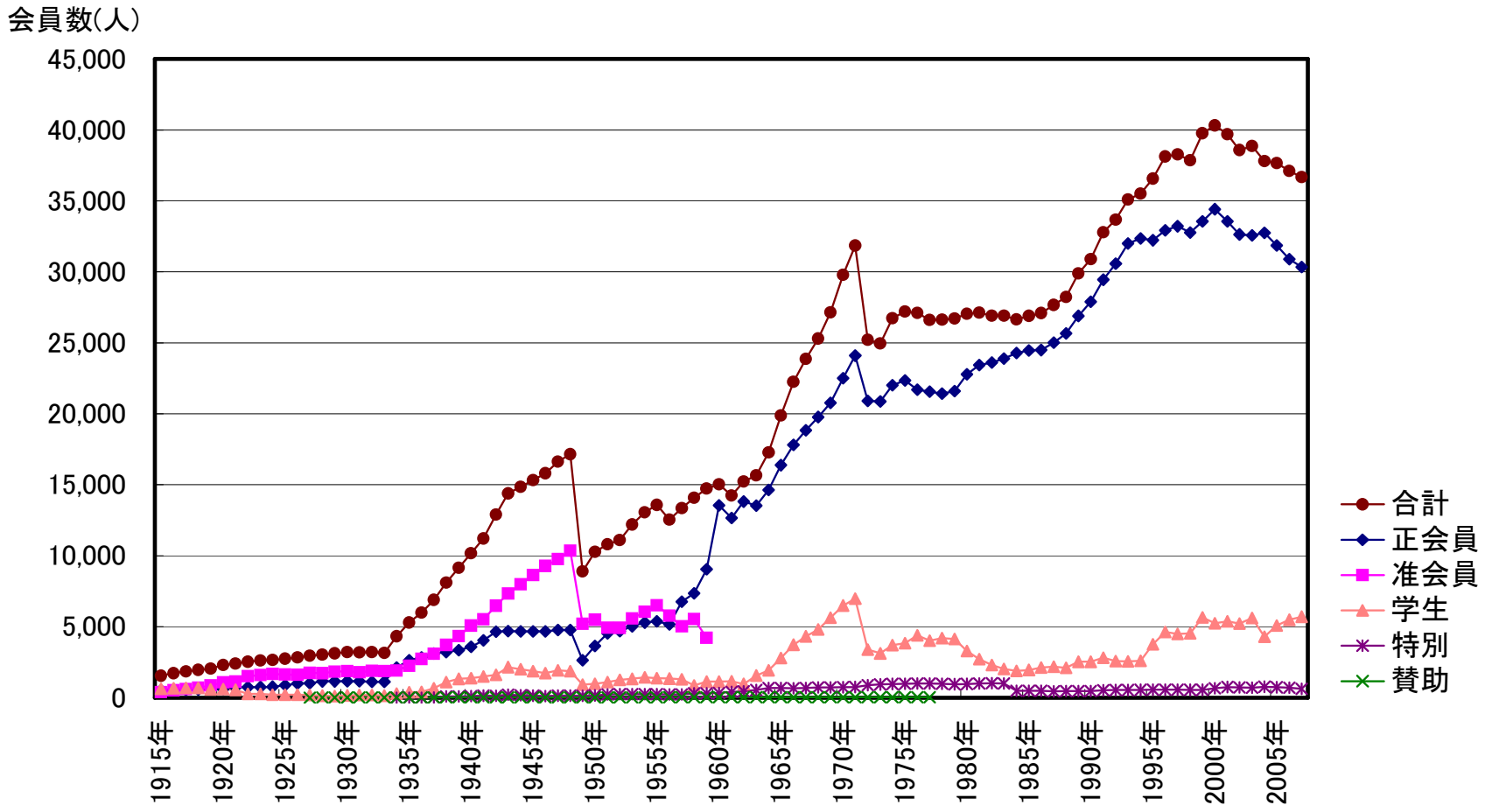
2010年4月23日現在

1.（学会の概要）
土木学会機構図
会員区分別会員数
年齢階層別個人正会員数
支部別個人正会員数
業種別個人正会員数
性別会員数
総収入と総支出
収支状況
土木学会本部収入・支出の推移
土木学会支部収入・支出の推移
2.（調査研究）
全国大会　年次学術講演会　開催記録
年次学術講演会　講演数と参加者延べ人数の推移
年次学術講演会　部門別講演数の推移
年次学術講演会　部門別講演数の推移（1996年を1.0とした場合）
土木学会論文集　掲載数
土木学会論文集　掲載数（1997年を1.0とした場合の推移）
土木学会賞　表彰件数
土木学会技術賞・環境賞の分野別表彰数の推移
土木学会論文賞の分野別表彰件数の推移
調査研究部門行事数と参加者数
調査研究部門定期的開催行事
調査研究部門委員会論文集
学術文化事業助成実績
学術振興基金助成事業実績
調査研究部門委員会活動参加者数
重点研究課題採択数と助成金額
学協会連携共済行事
3.（広報・コミュニケーション・情報資料）
記者発表数
記者懇談会開催実績
新聞掲載数
学会誌発行部数
学会ホームページの閲覧状況
最もリクエストが多かったページ(ベスト5)
図書館来館者数
図書館蔵書構成（分類別、年代別）
トークサロン参加者数
イブニングシアター参加者数
論説一覧
4.（国際）
国際交流(訪問・派遣)
国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数
海外分会の設置状況
海外分会数と会員数
海外の協定学協会
インターナショナルサマーシンポジウムの発表数と参加者数
インターナショナルサマーシンポジウム国籍別発表者数
5.（出版）
新刊数と刊行物売上額の推移
刊行物売上ベスト10
翻訳出版物許可実績
英文出版物実績
6.（資格）
技術者資格　認定者数
技術者資格　資格分野別合格者数
CPD認定プログラムの推移
都道府県別CPD登録メンバー数・取得CPD単位平均
継続記録登録証明書発行部数の推移
7.（社会支援・教育など）
災害調査団派遣実績
支部行事開催数
支部行事参加者数

土木学会機構図


（総会・理事会）
総　会
監　事
理事会
会　長
理事
次期会長
専務理事
副会長
（支部）
運営会議
予算会議
土木図書館
技術推進機構
（技術推進機構運営会議）
会員・支部部門
財務・経理部門
総務部門
組織運営グループ
情報資料部門
出版部門
調査研究部門
学術研究グループ
社会支援部門
教育企画部門
国際部門
コミュニケーション部門
企画部門
企画戦略グループ
海外支部
西部支部
四国支部
中国支部
関西支部
中部支部
関東支部
東北支部
北海道支部
ベトナム分会
フィリピン分会
タイ分会
インドネシア分会
トルコ分会
モンゴル分会
英国分会
韓国分会
台湾分会
（事務局）
事務局長
機構長
次長・調査役
技術推進部
企画部
国際室
図書館業務室
出版事業課
編集課
研究事業課
会員課
経理課
企画総務課

会員区分別会員数



＊ 1984年以降は定款改正により名誉会員は称号となり正会員数に含まれる。 また、法人正会員制度となり特別会員と分離した。

＊ 正会員数は、個人正会員数と法人正会員数の合計。

＊ 1914年～1943年については、40年史データ

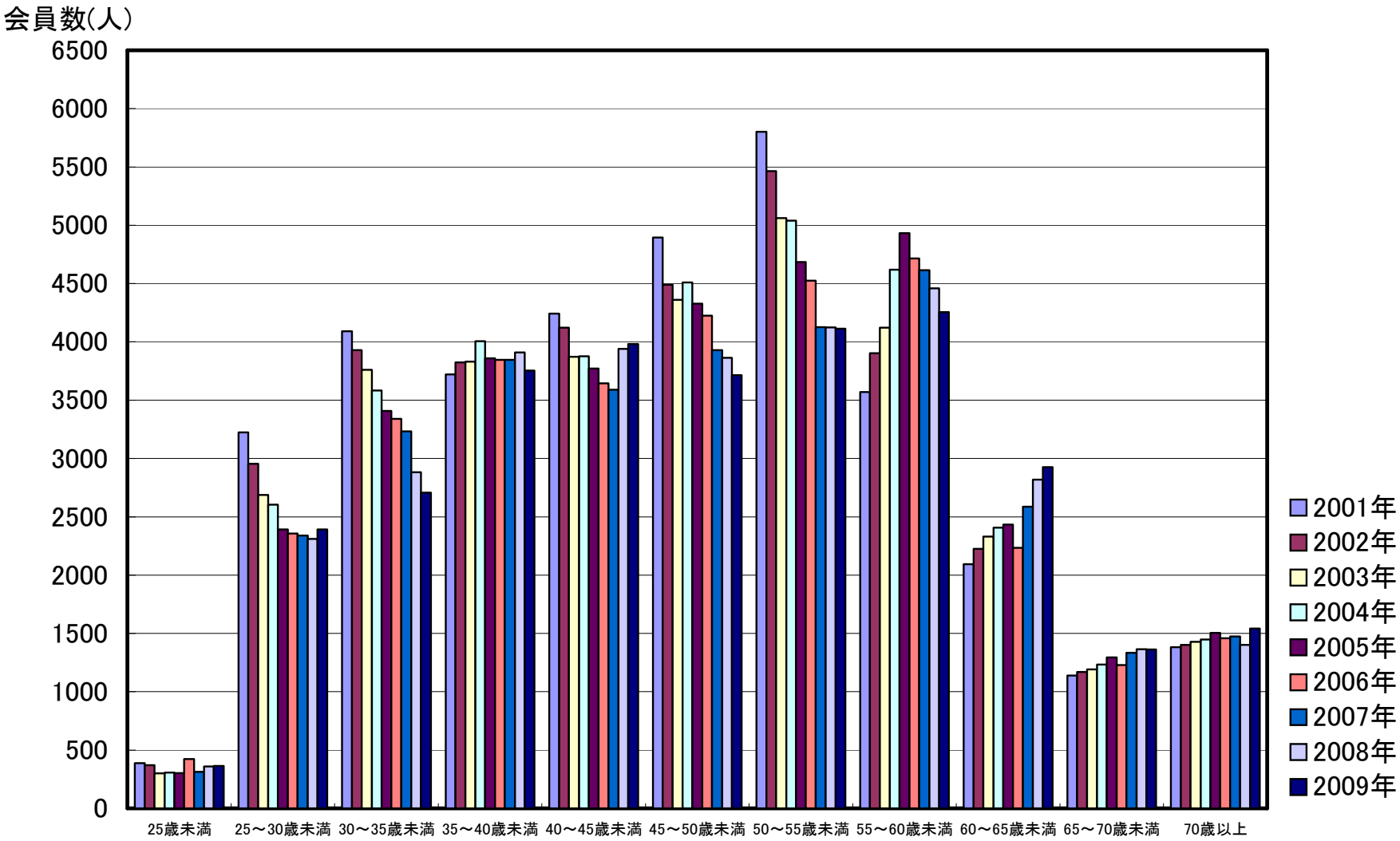
＊ 1944年、1945年については、推定値

＊ 1946年～1994年については、80年史データ

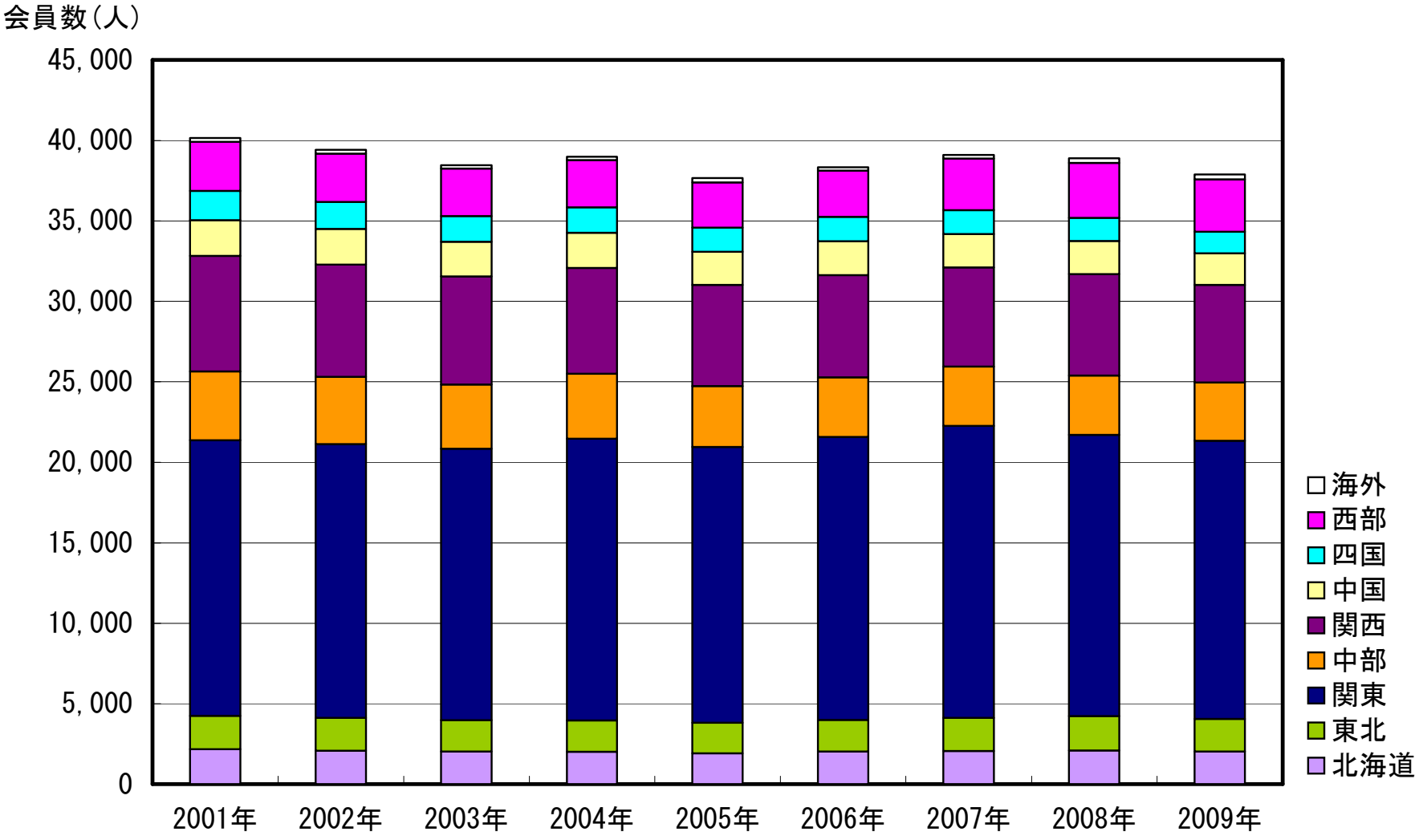
＊ 1995年～2003年については、90年史データ

＊ 2004年～2008年については、会員課調べ

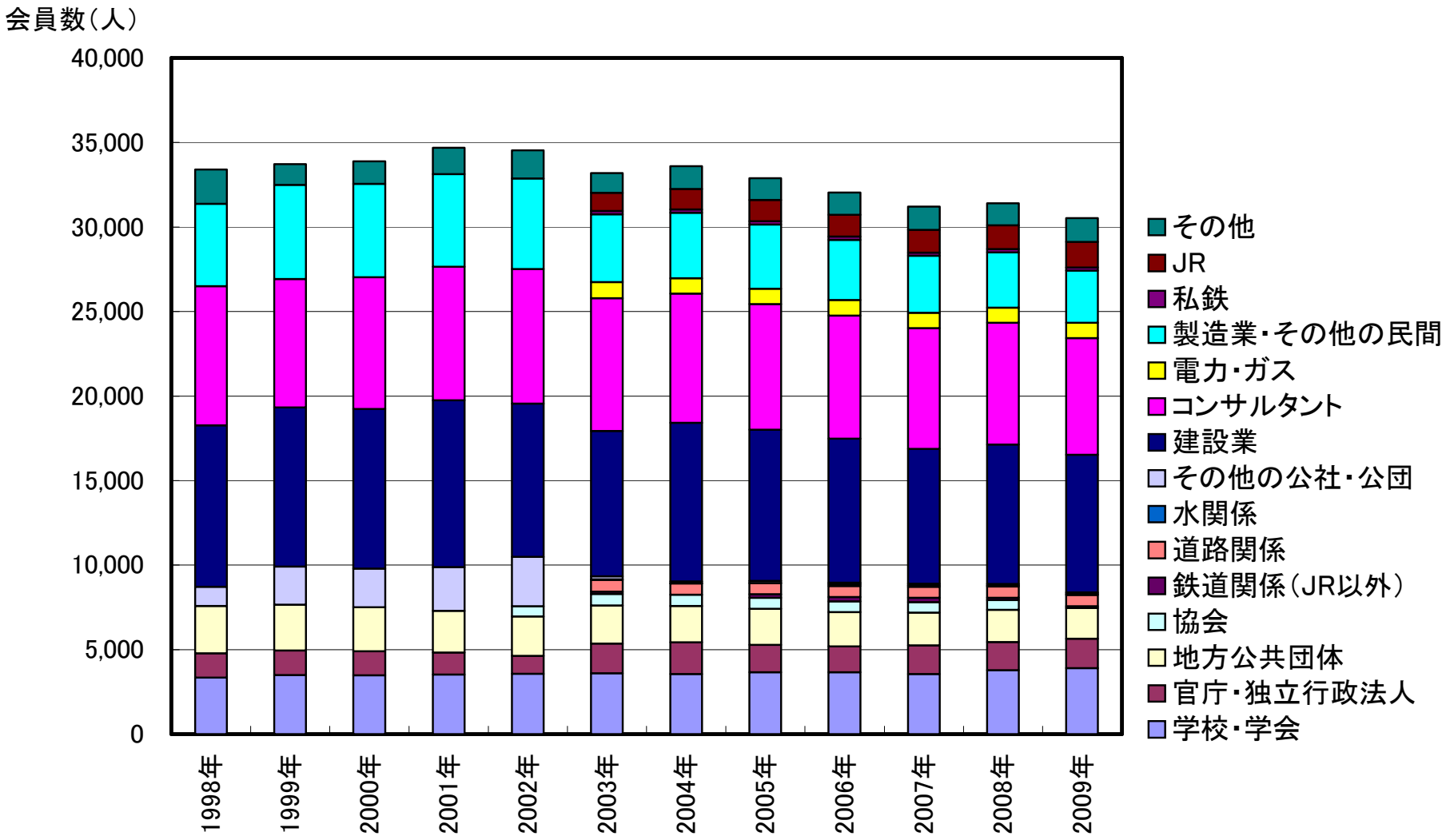
年齢階層別個人正会員数



支部別個人正会員数


会員数（人）
45,000
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
海外
西部
四国
中国
関西
中部
関東
東北
北海道

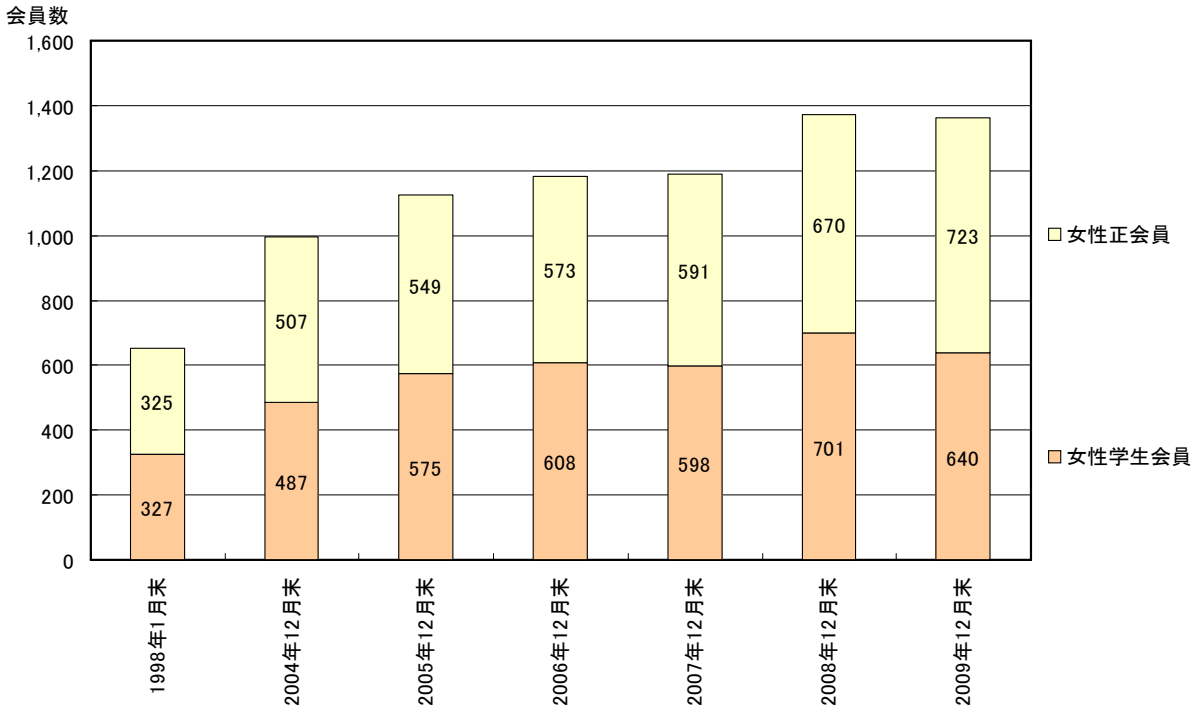
業種別個人正会員数



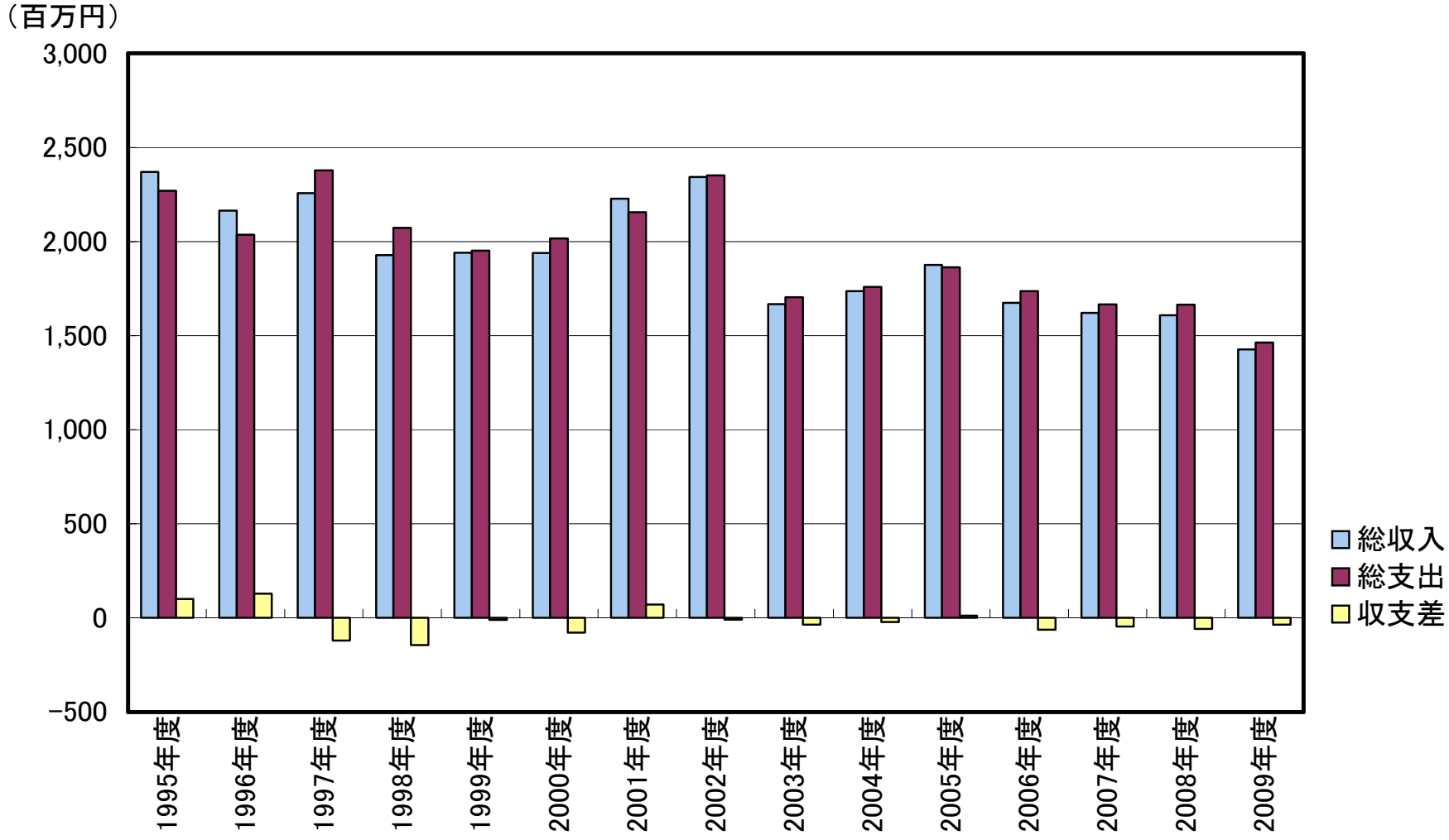
＊　2003年から業種別区分を変更

性別会員数

会員種別			1998年1月末	2004年12月末	2005年12月末	2006年12月末	2007年12月末	2008年12月末	2009年12月末
正会員	全体		33,473	33,887	32,961	32,144	31,384	31,435	31,109
	男性	会員数（人）	33,148	33,380	32,412	31,571	30,793	30,765	30,386
		割合（%）	99.0	98.5	98.3	98.2	98.1	97.9	97.7
	女性	会員数（人）	325	507	549	573	591	670	723
		割合（%）	1.0	1.5	1.7	1.8	1.9	2.1	2.3
学生会員	全体		6,127	6,148	5,592	5,987	6,452	6,308	6,494
	男性	会員数（人）	5,800	5,661	5,017	5,379	5,854	5,607	5,854
		割合（%）	94.7	92.1	89.7	89.8	90.7	88.9	90.1
	女性	会員数（人）	327	487	575	608	598	701	640
		割合（%）	5.3	7.9	10.3	10.2	9.3	11.1	9.9

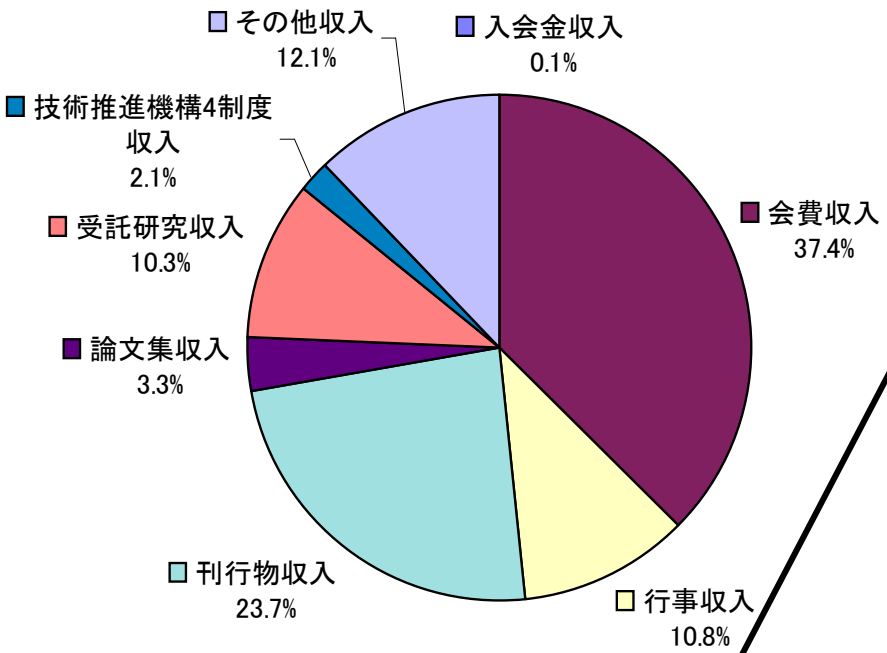


総収入と総支出

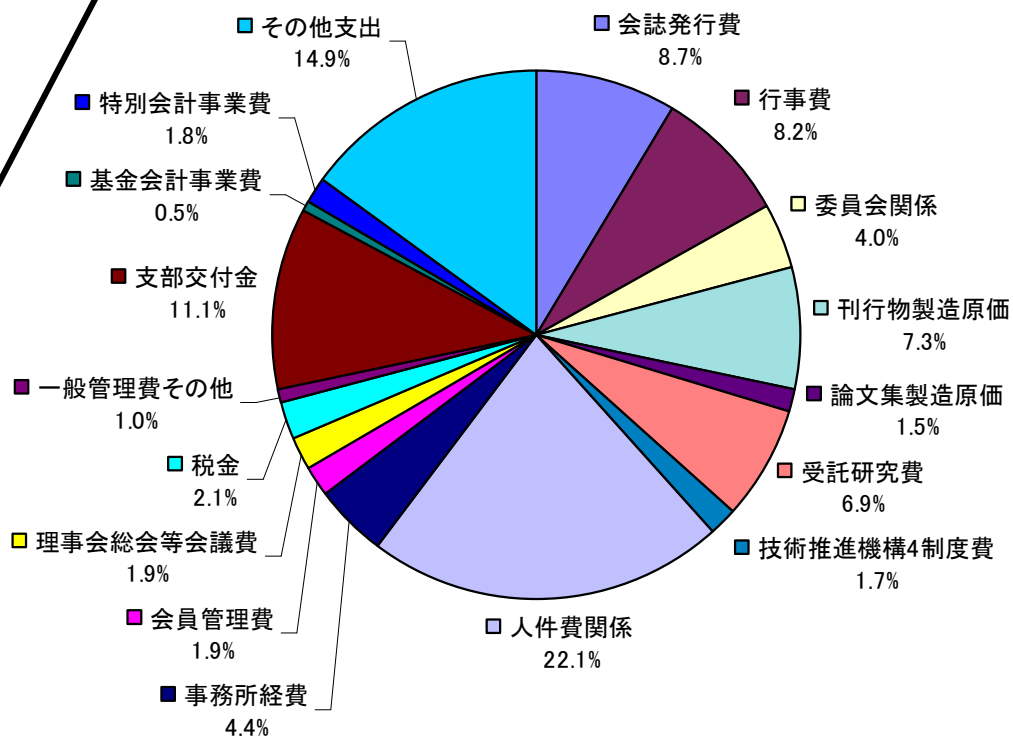

（百万円）
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
−500
1995年度
1996年度
1997年度
1998年度
1999年度
2000年度
2001年度
2002年度
2003年度
2004年度
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
2009年度
総収入
総支出
収支差

収支状況

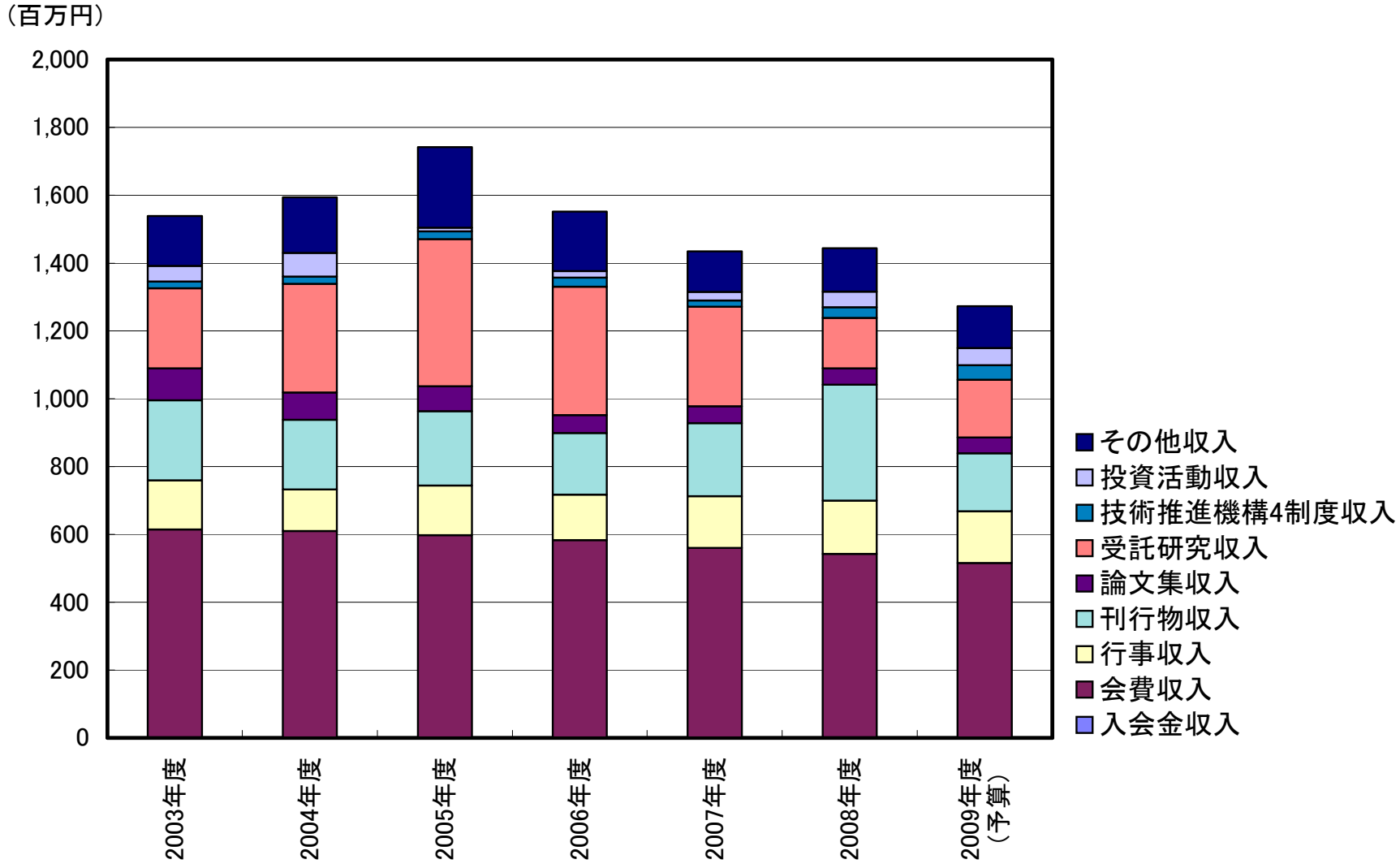
2008年度収入内訳



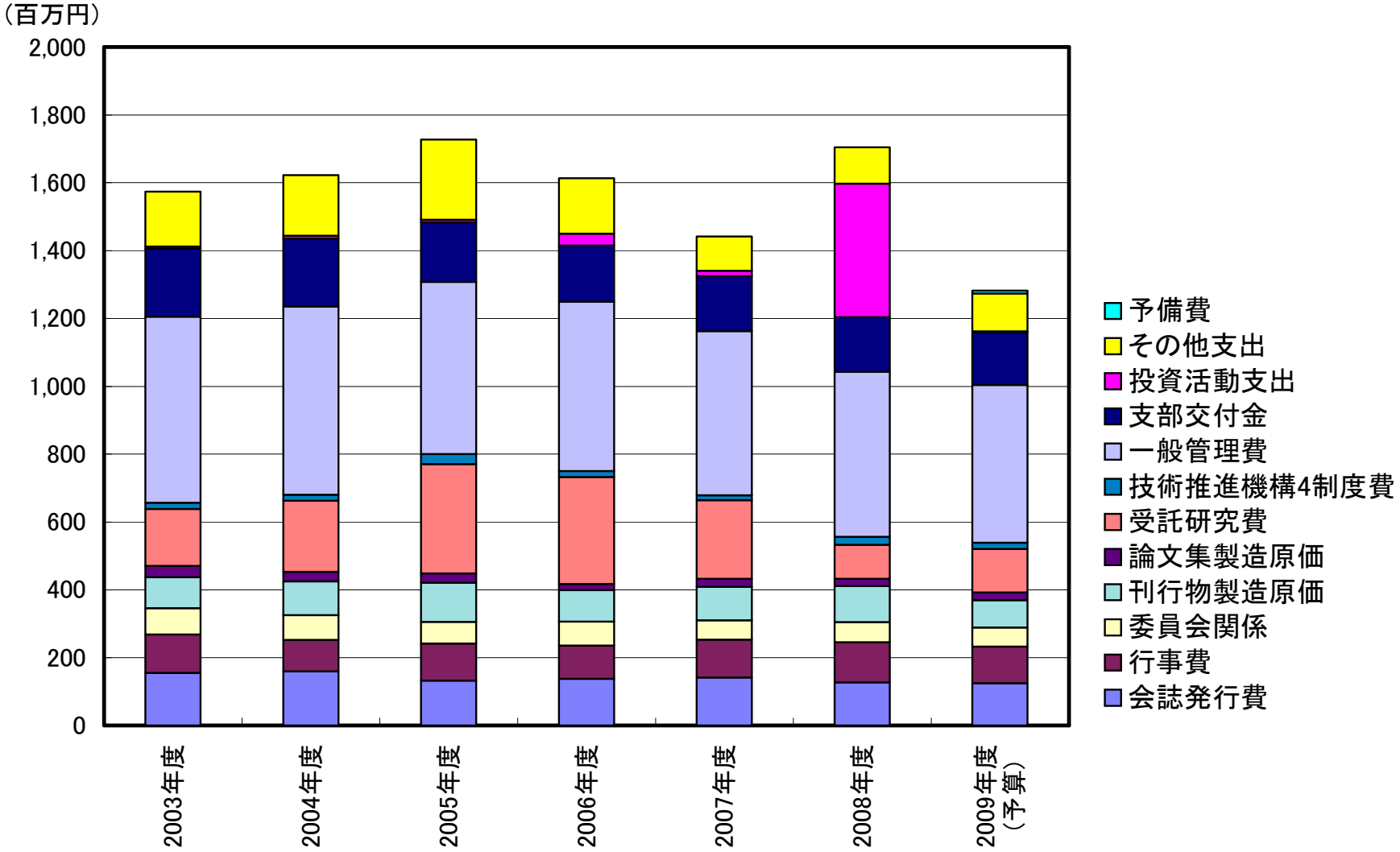
2008年度支出内訳



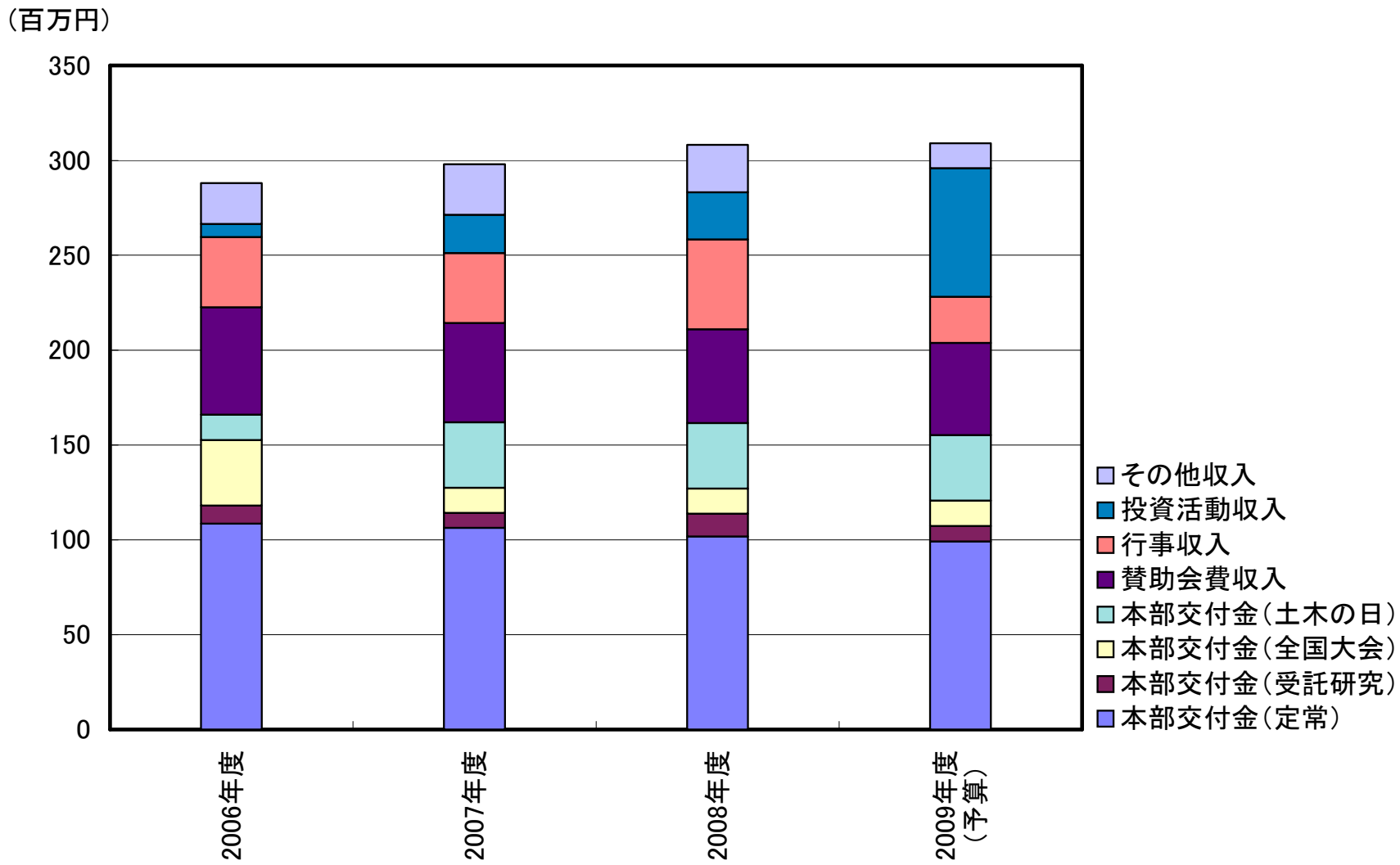
土木学会本部収入の推移



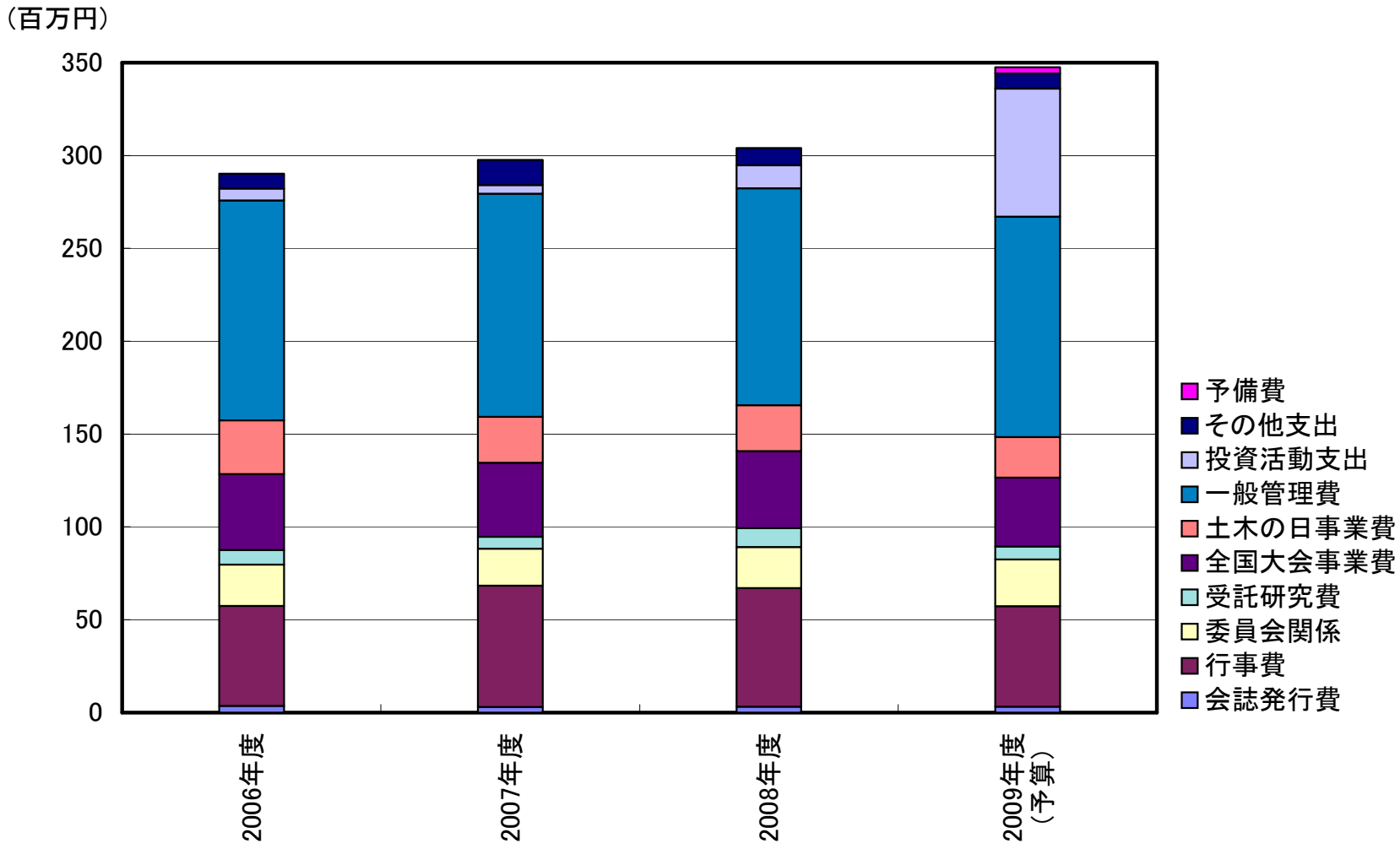
土木学会本部支出の推移



土木学会支部収入の推移



土木学会支部支出の推移



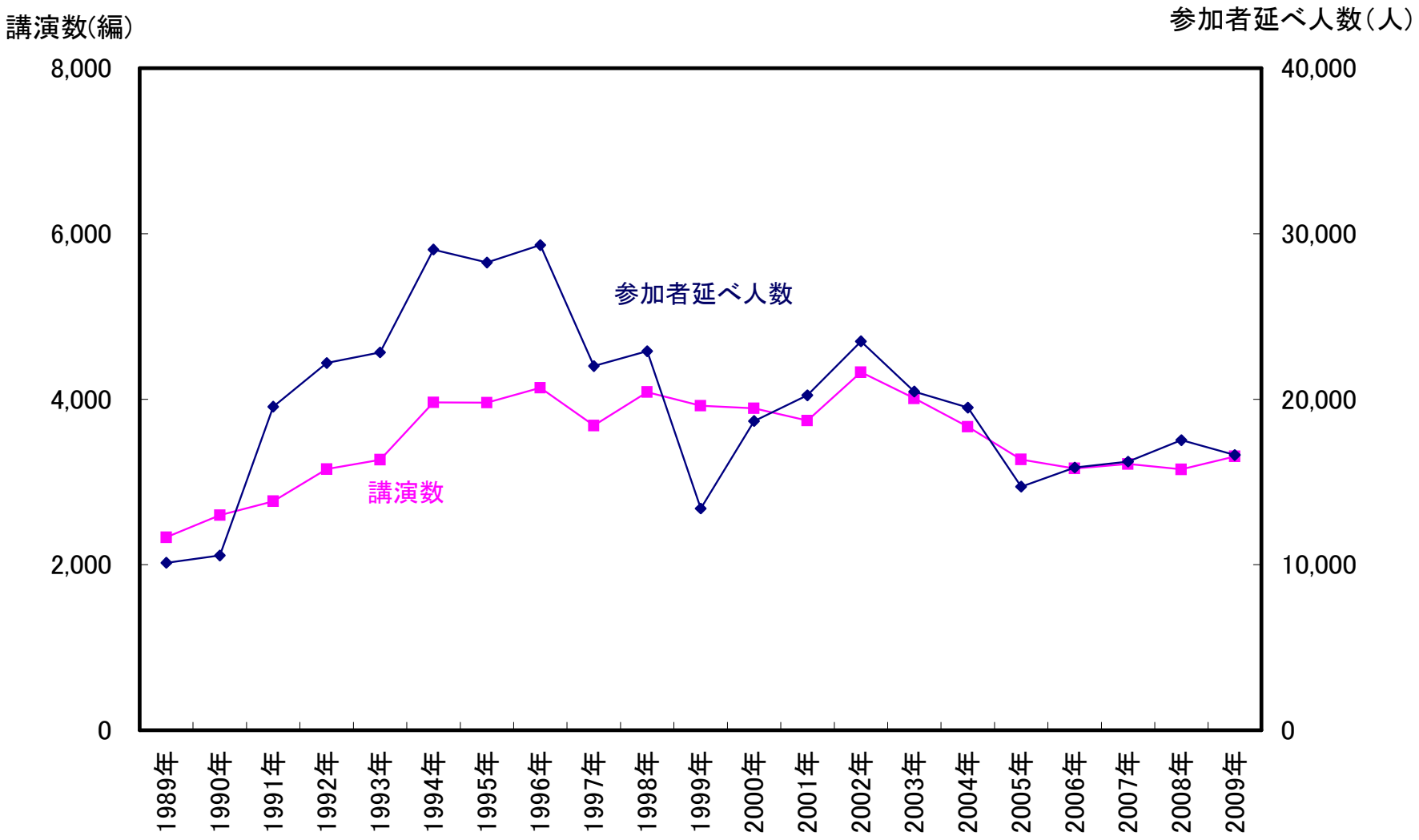
全国大会　年次学術講演会　開催記録

回	年	開催校	担当支部	会長	代	講演数	参加者延べ人数
第44回	1989年	名古屋工業大学	中部	堀　川　清　司	77代	2,332	10,120
第45回	1990年	新潟大学	関東	淺井新一郎	78代	2,600	10,557
第46回	1991年	関西大学	関西	岩　佐　義　朗	79代	2,768	19,544
第47回	1992年	東北大学	東北	藤　井　敏　夫	80代	3,154	22,185
第48回	1993年	九州産業大学	西部	竹　内　良　夫	81代	3,268	22,834
第49回	1994年	北海道大学	北海道	中　村　英　夫	82代	3,961	29,040
第50回	1995年	愛媛大学	四国	小　坂　忠	83代	3,960	28,255
第51回	1996年	名城大学	中部	松　尾　稔	84代	4,137	29,308
第52回	1997年	中央大学	関東	宮　崎　明	85代	3,682	22,000
第53回	1998年	神戸大学	関西	岡　田　宏	86代	4,087	22,903
第54回	1999年	広島大学	中国	岡　村　甫	87代	3,921	13,400
第55回	2000年	東北大学	東北	鈴　木　道　雄	88代	3,890	18,680
第56回	2001年	熊本大学	西部	丹　保　憲　仁	89代	3,743	20,231
第57回	2002年	北海道大学	北海道	岸　清	90代	4,326	23,501
第58回	2003年	徳島大学	四国	御　巫　清　泰	91代	4,011	20,461
第59回	2004年	愛知工業大学	中部	森　地　茂	92代	3,667	19,487
第60回	2005年	早稲田大学	関東	三　谷　浩	93代	3,272	14,720
第61回	2006年	立命館大学	関西	濱　田　政　則	94代	3,164	15,868
第62回	2007年	広島大学	中国	石　井　弓　夫	95代	3,217	16,233
第63回	2008年	東北大学	東北	栢　原　英　郎	96代	3,151	17,524
第64回	2009年	福岡大学	西部	近　藤　徹	97代	3,308	16,634

＊　全国大会のページ：http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/gaiyo/top

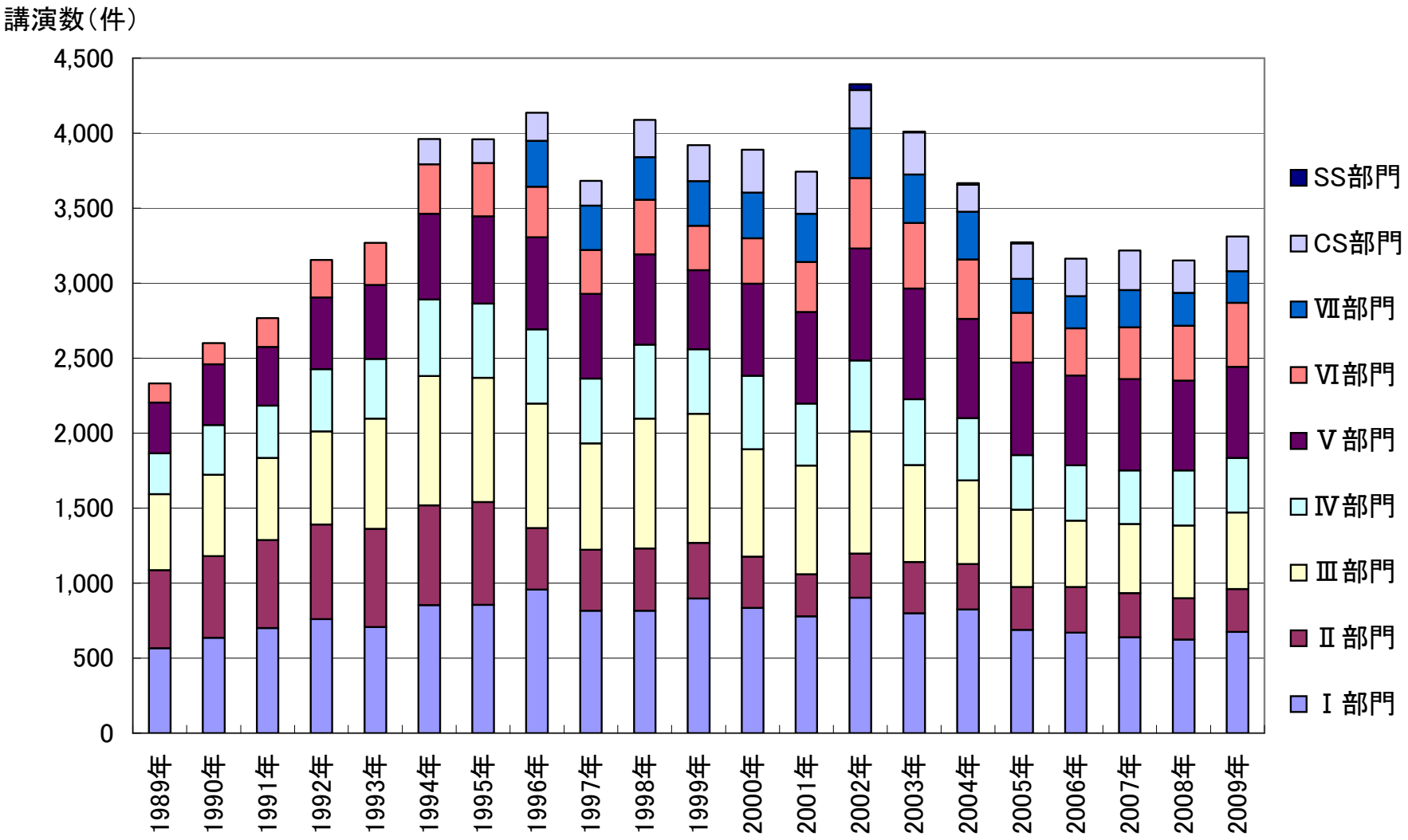
＊　1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

年次学術講演会　講演数と参加者延べ人数の推移



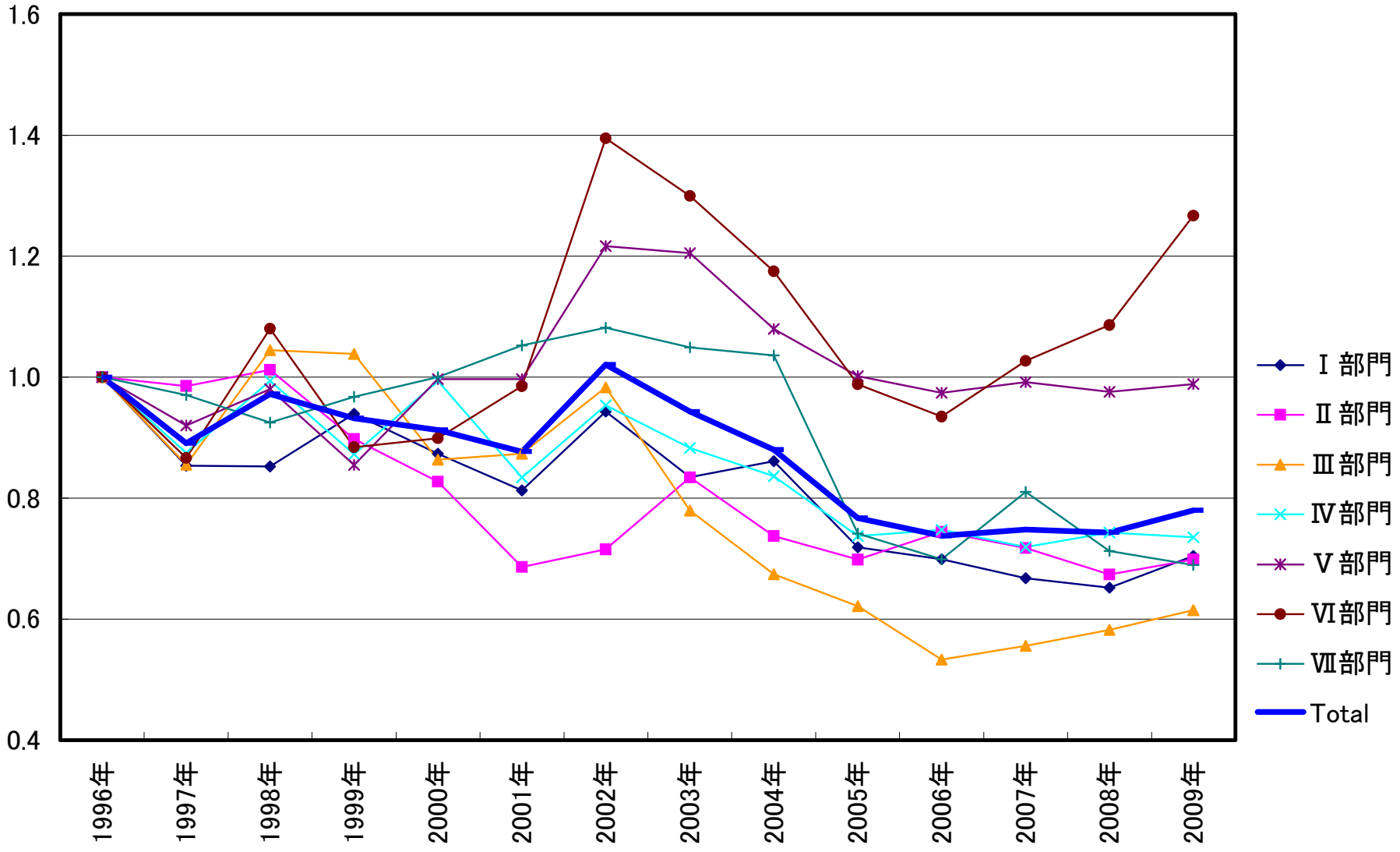
＊　1999年広島大会は台風のため投稿数で集計
＊　参加者延べ人数は各セッションの参加者数の合計

年次学術講演会　部門別講演数の推移



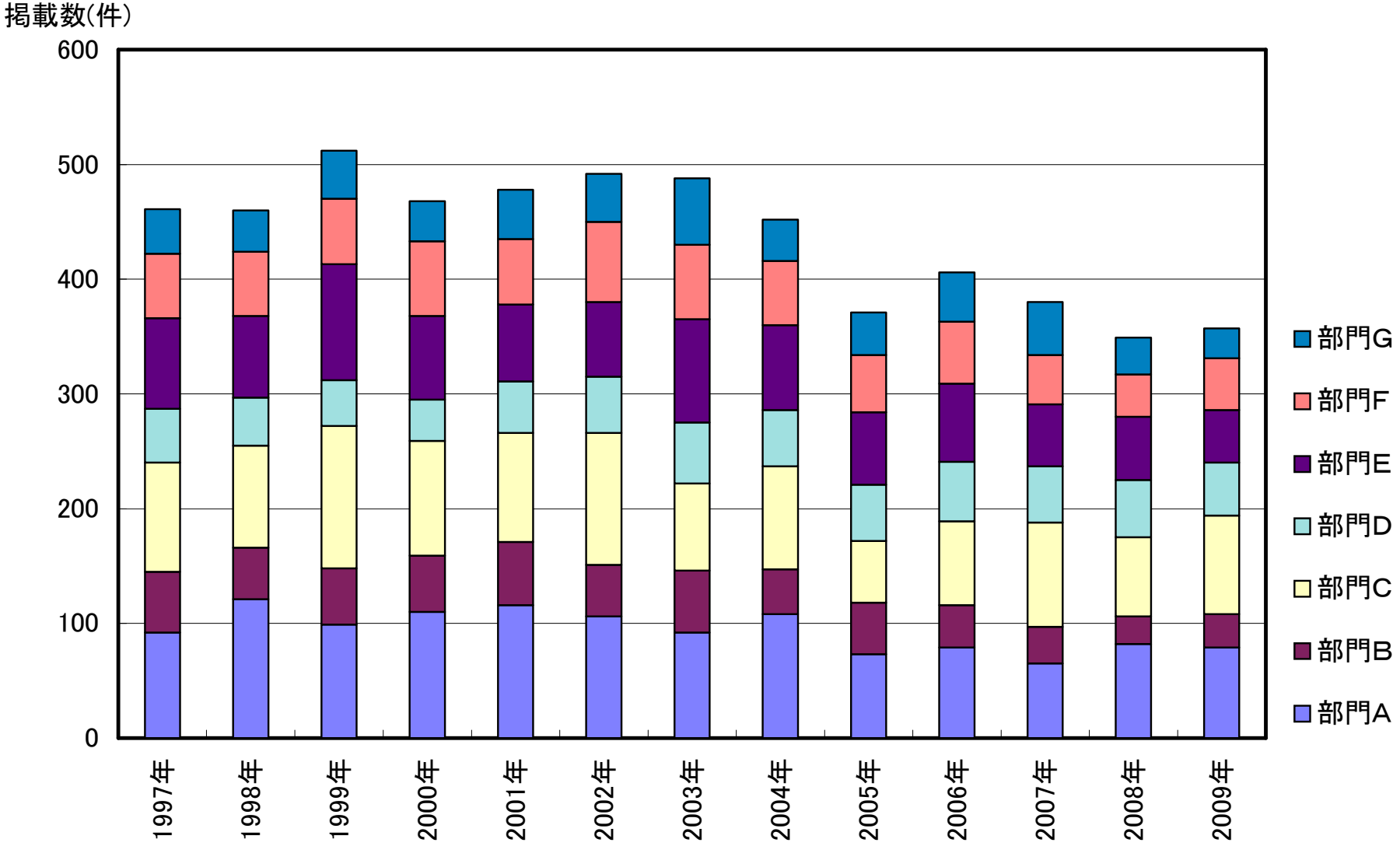
＊　1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

年次学術講演会　部門別講演数の推移(1996年を1.0とした場合)

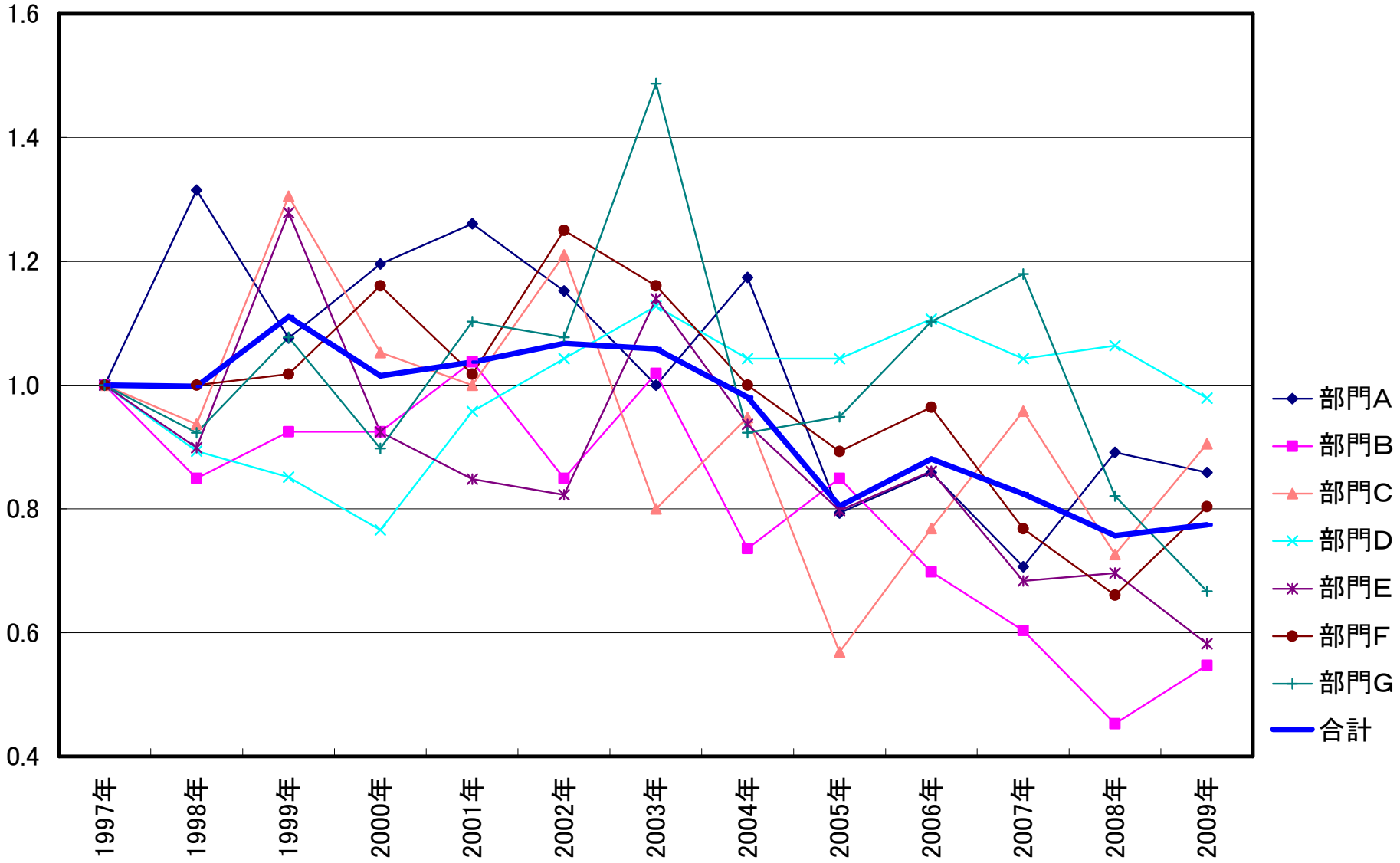


＊　1999年広島大会は台風のため投稿数で集計

土木学会論文集　掲載数

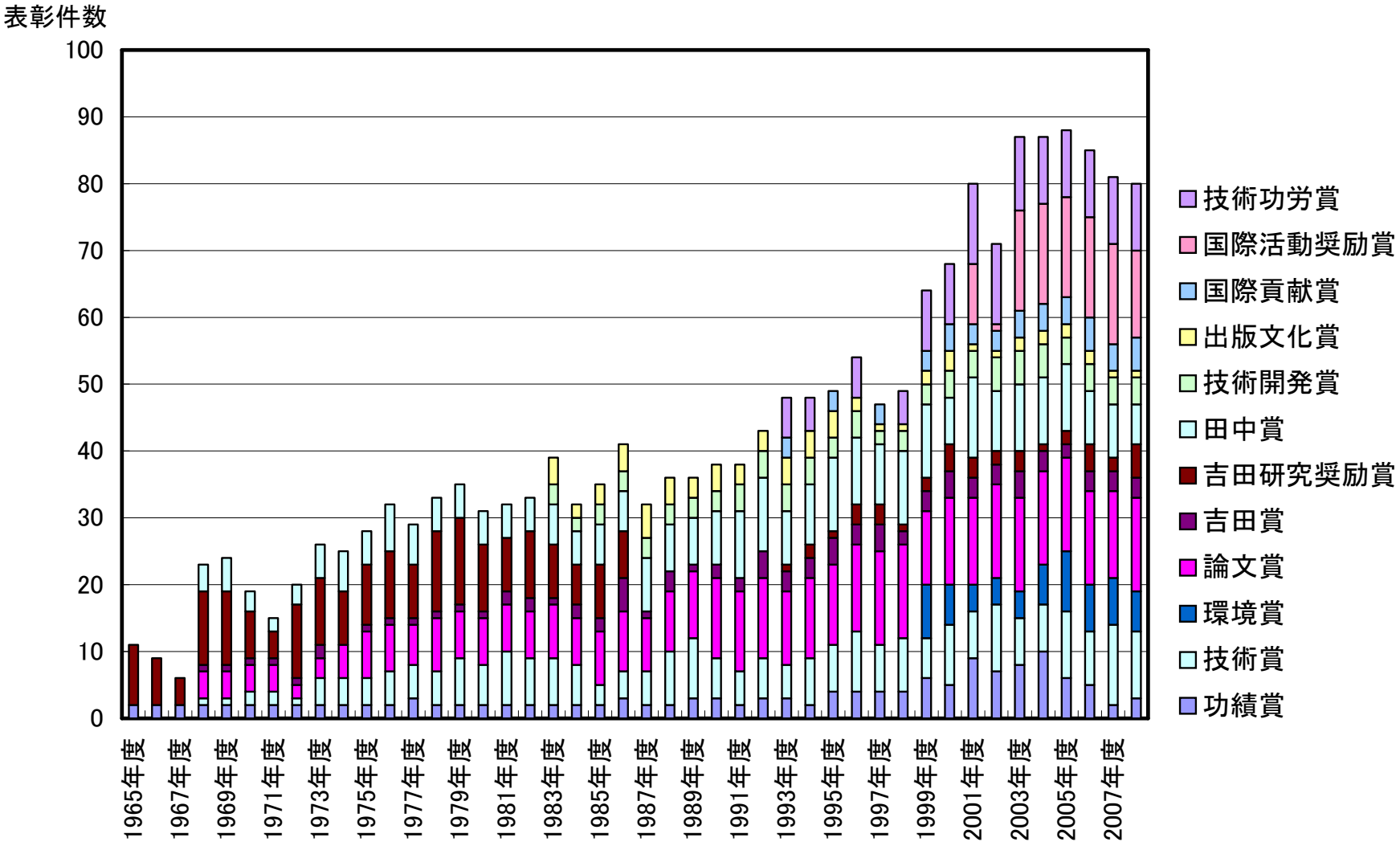

掲載数(件)
600
500
400
300
200
100
0
1997年
1998年
1999年
2000年
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
部門G
部門F
部門E
部門D
部門C
部門B
部門A

土木学会論文集　掲載数（1997年を1.0とした場合の推移）

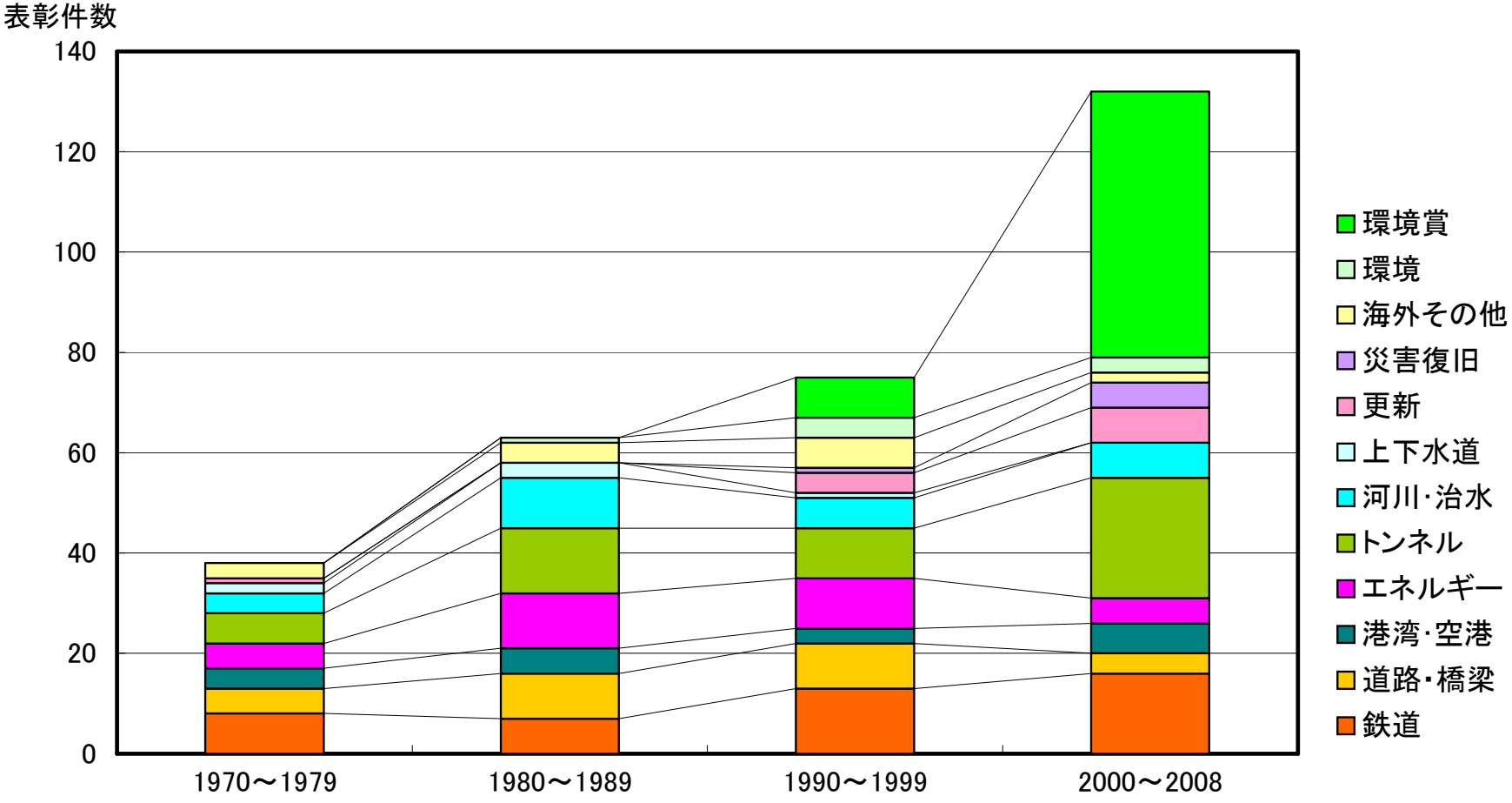


土木学会論文集オンラインジャーナル：http://www.jsce.or.jp/committee/jjsce/ojorunal.shtml

土木学会賞　表彰件数

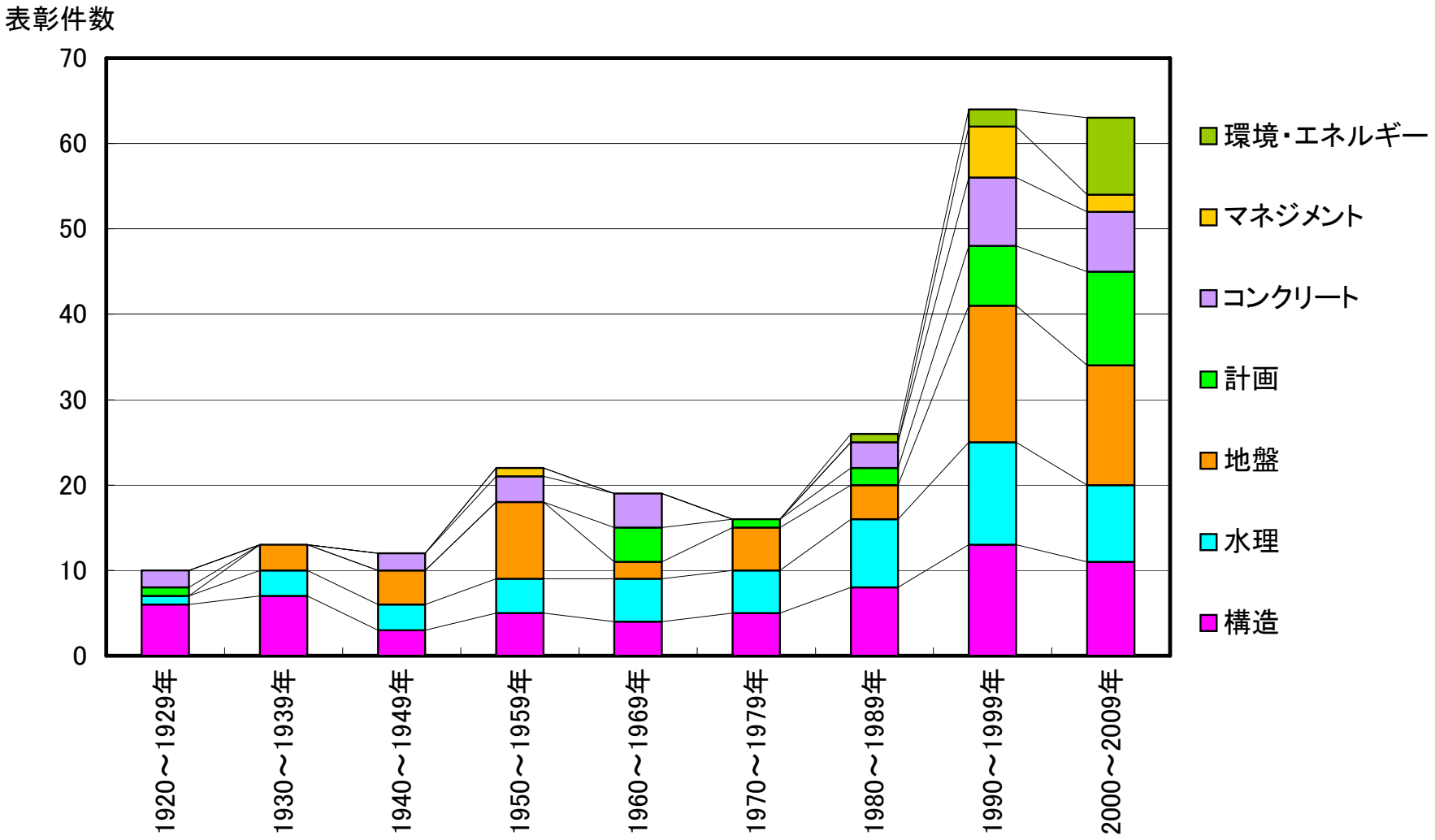

表彰件数
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
1965年度
1967年度
1969年度
1971年度
1973年度
1975年度
1977年度
1979年度
1981年度
1983年度
1985年度
1987年度
1989年度
1991年度
1993年度
1995年度
1997年度
1999年度
2001年度
2003年度
2005年度
2007年度
技術功労賞
国際活動奨励賞
国際貢献賞
出版文化賞
技術開発賞
田中賞
吉田研究奨励賞
吉田賞
論文賞
環境賞
技術賞
功績賞

土木学会技術賞・環境賞の分野別表彰数の推移

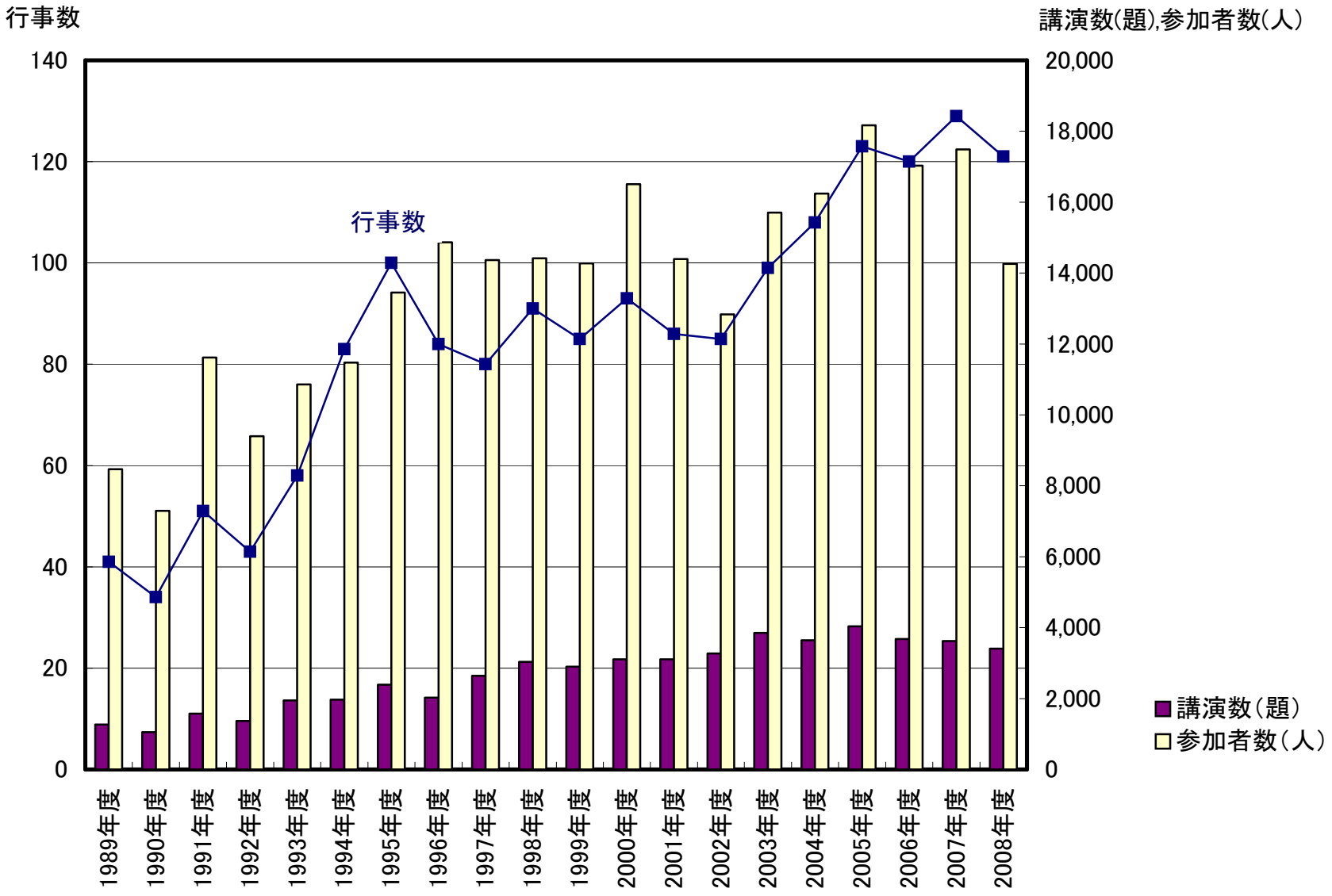


＊　環境賞は、技術賞の発展形として1999年に創設
＊　技術賞は11分野に区分、環境賞は区分せず

土木学会論文賞の分野別表彰数の推移



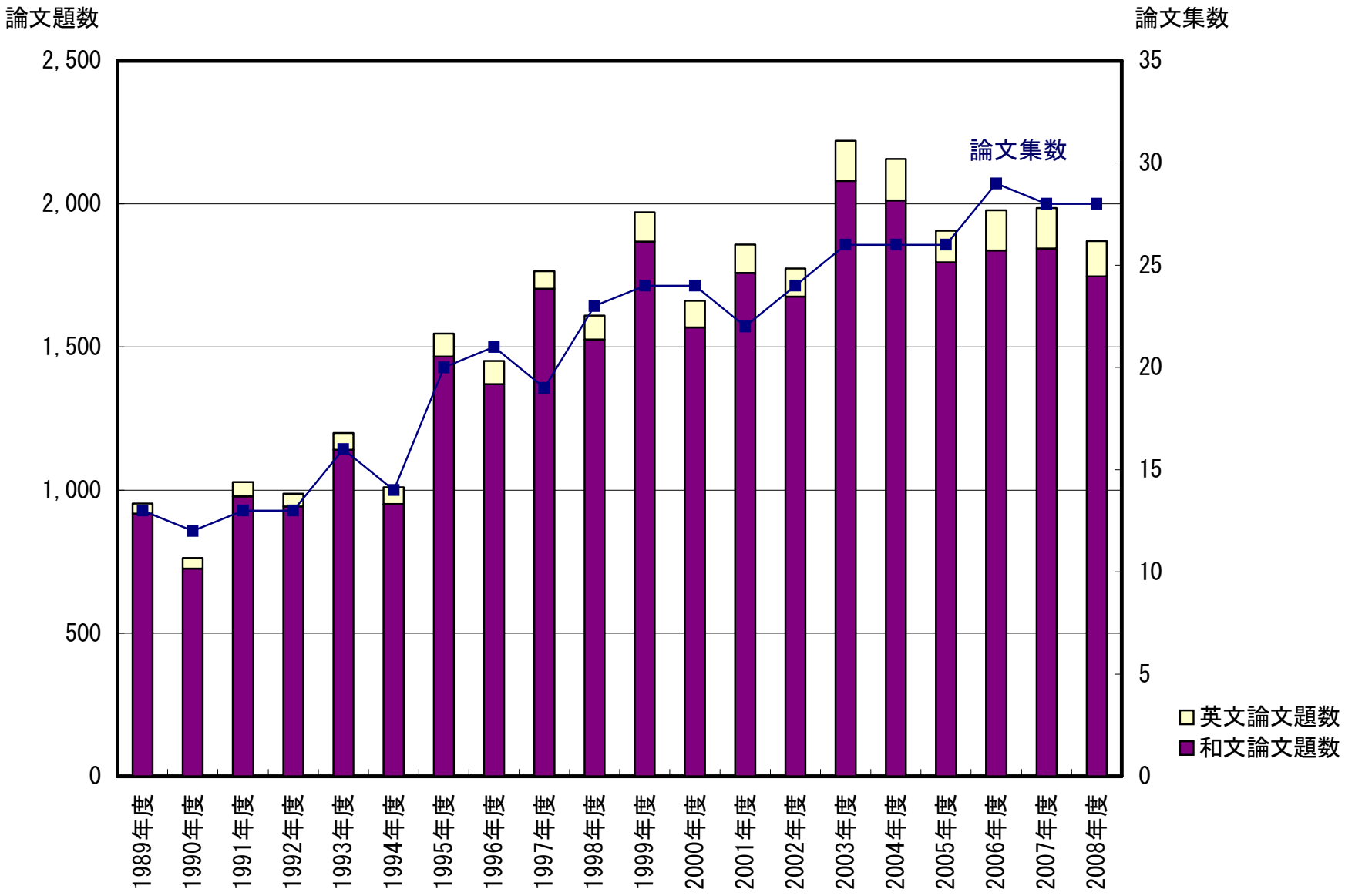
調査研究部門行事数と参加者数



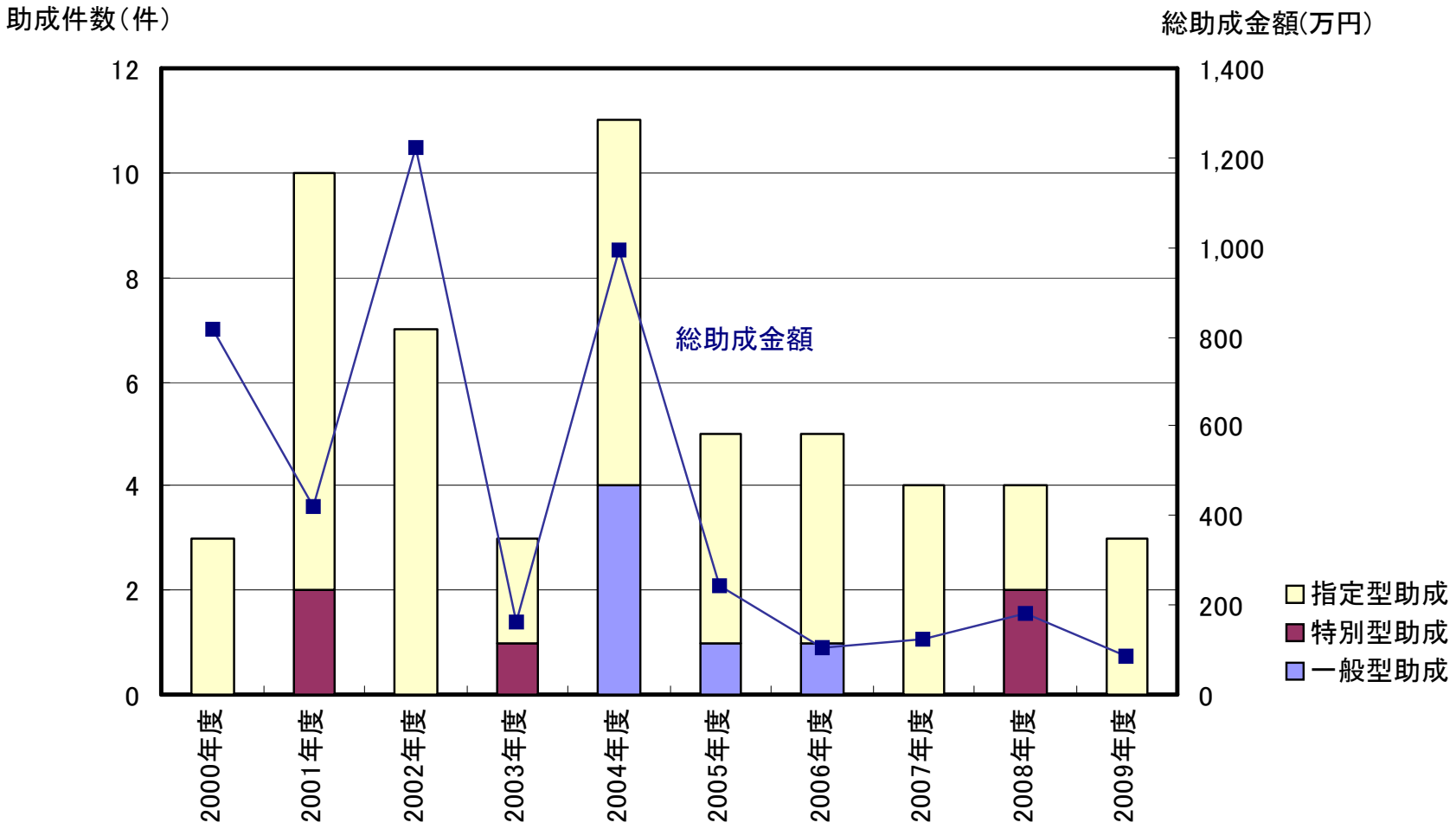
調査研究部門定期的開催行事

行 事 名	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
水工学講演会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
構造工学シンポジウム	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
鉄道力学シンポジウム								■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
構造物の衝撃問題に関するシンポジウム		■			■			■		■		■		■		■		■		■
鋼構造と橋に関するシンポジウム										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
道路橋床版シンポジウム										■		■			■	■		■		■
木橋技術に関するシンポジウム													■		■	■	■	■	■	■
海岸工学講演会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
地震工学研究発表会	■		■		■		■		■		■		■		■		■		■	
トンネル工学研究発表会			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
環境工学研究フォーラム	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
環境システム研究論文発表会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
岩盤力学に関するシンポジウム	■	■	■	■		■	■	■		■	■	■		■	■	■	■	■	■	■
海洋開発シンポジウム	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
情報利用技術シンポジウム	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
土木建設技術発表会														■	■	■	■	■	■	■
土木計画学研究発表会（秋大会）	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
土木計画学研究発表会（春大会）														■	■	■	■	■	■	■
土木史研究発表会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
安全問題討論会								■		■		■			■			■	■	■
応用力学シンポジウム										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
地下空間シンポジウム							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
地球環境シンポジム					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
景観・デザイン研究発表会																	■	■	■	■
舗装工学講演会								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
複合構造の活用に関するシンポジウム	■						■				■				■		■		■	

調査研究部門委員会論文集

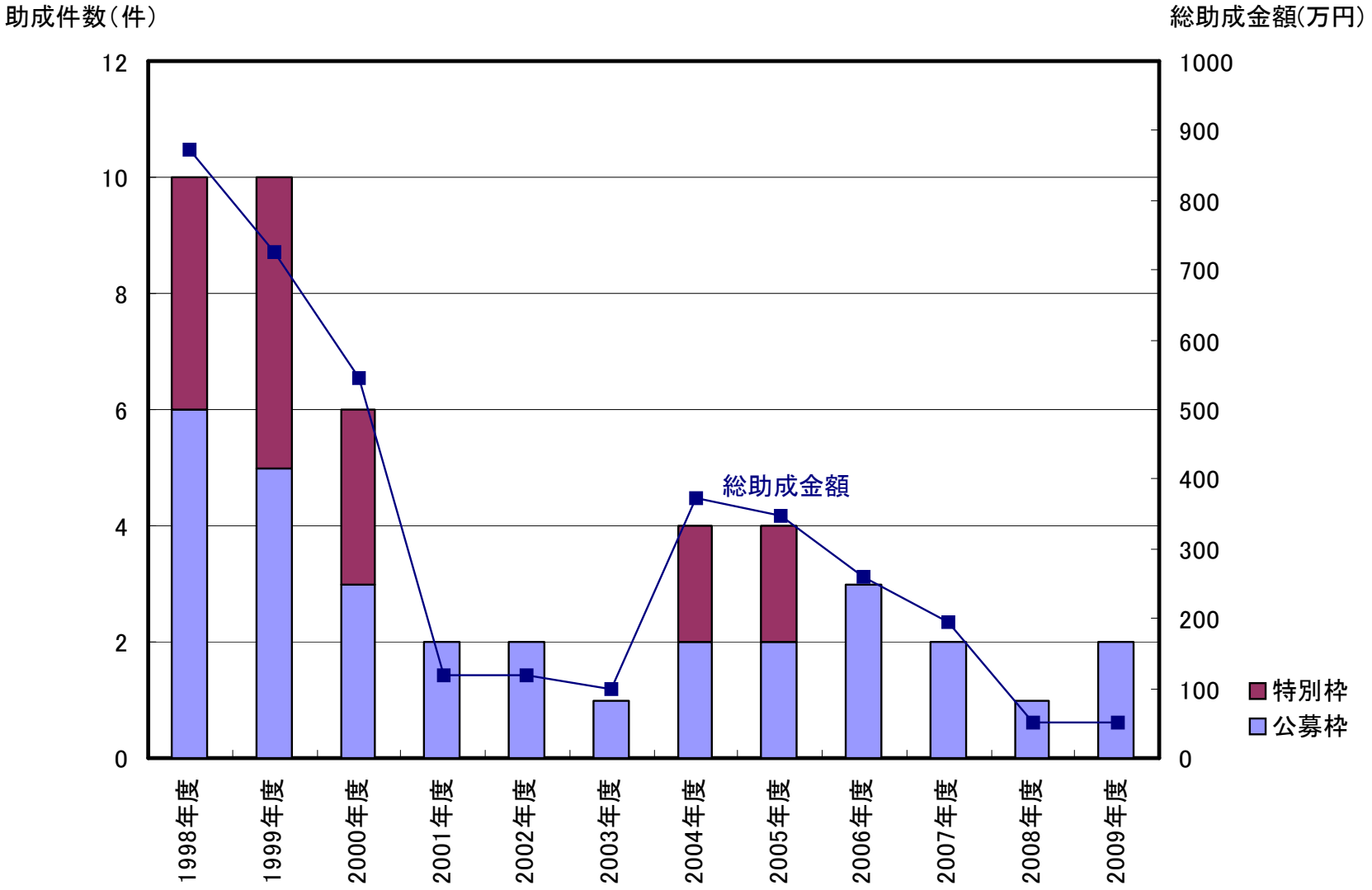


学術文化事業助成実績



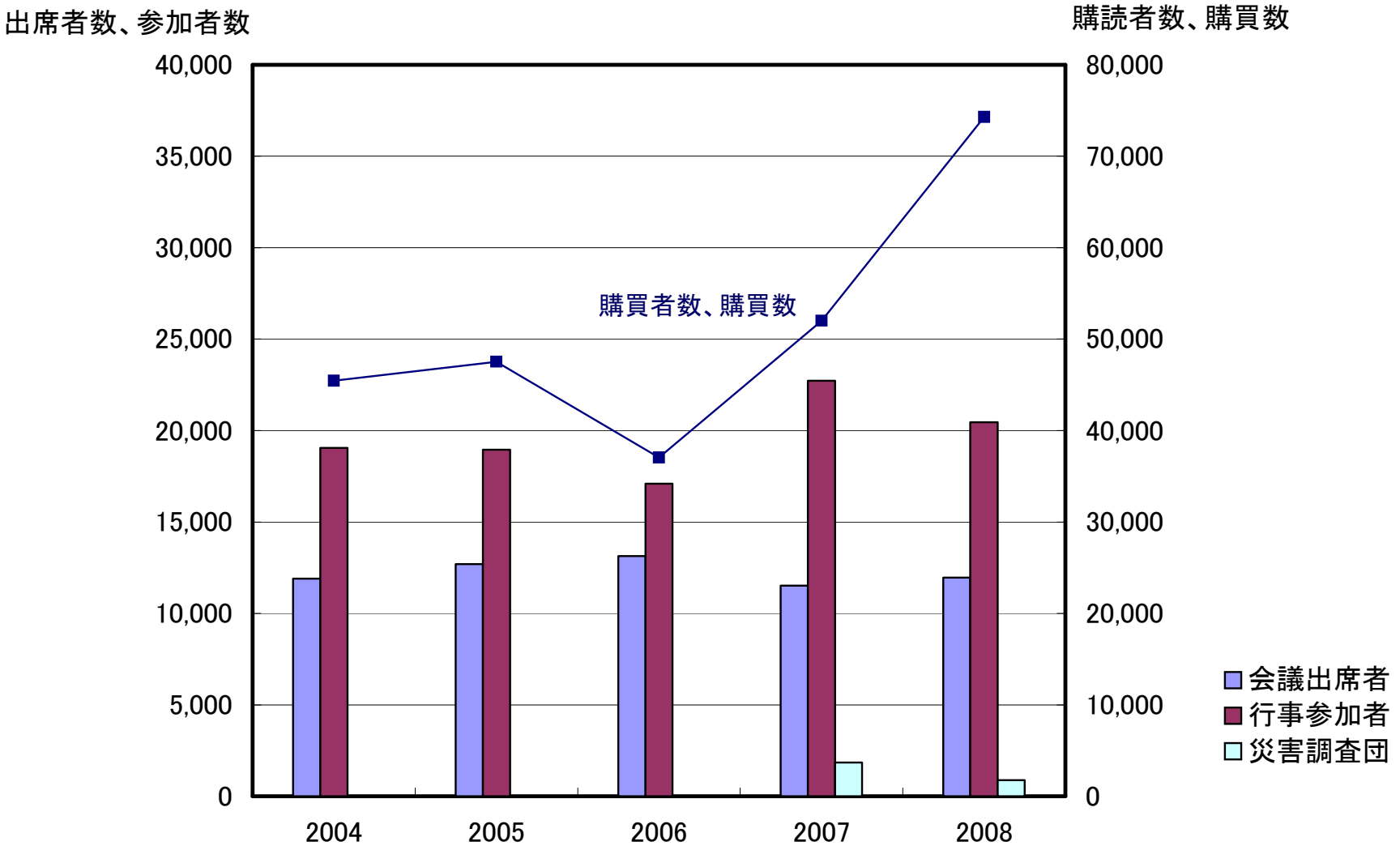
＊　指定型助成：特定の事業に充てるために付託された原資等による学術文化事業の目的に沿う活動への助成
＊　特別型助成：特定の目的を付さずに寄託される原資等による国際交流、および自然災害等のための緊急調査への助成
＊　一般型助成：特定の目的を付さずに寄託される原資等による特別型以外の学術文化事業の目的に沿う活動への助成

学術振興基金助成事業実績



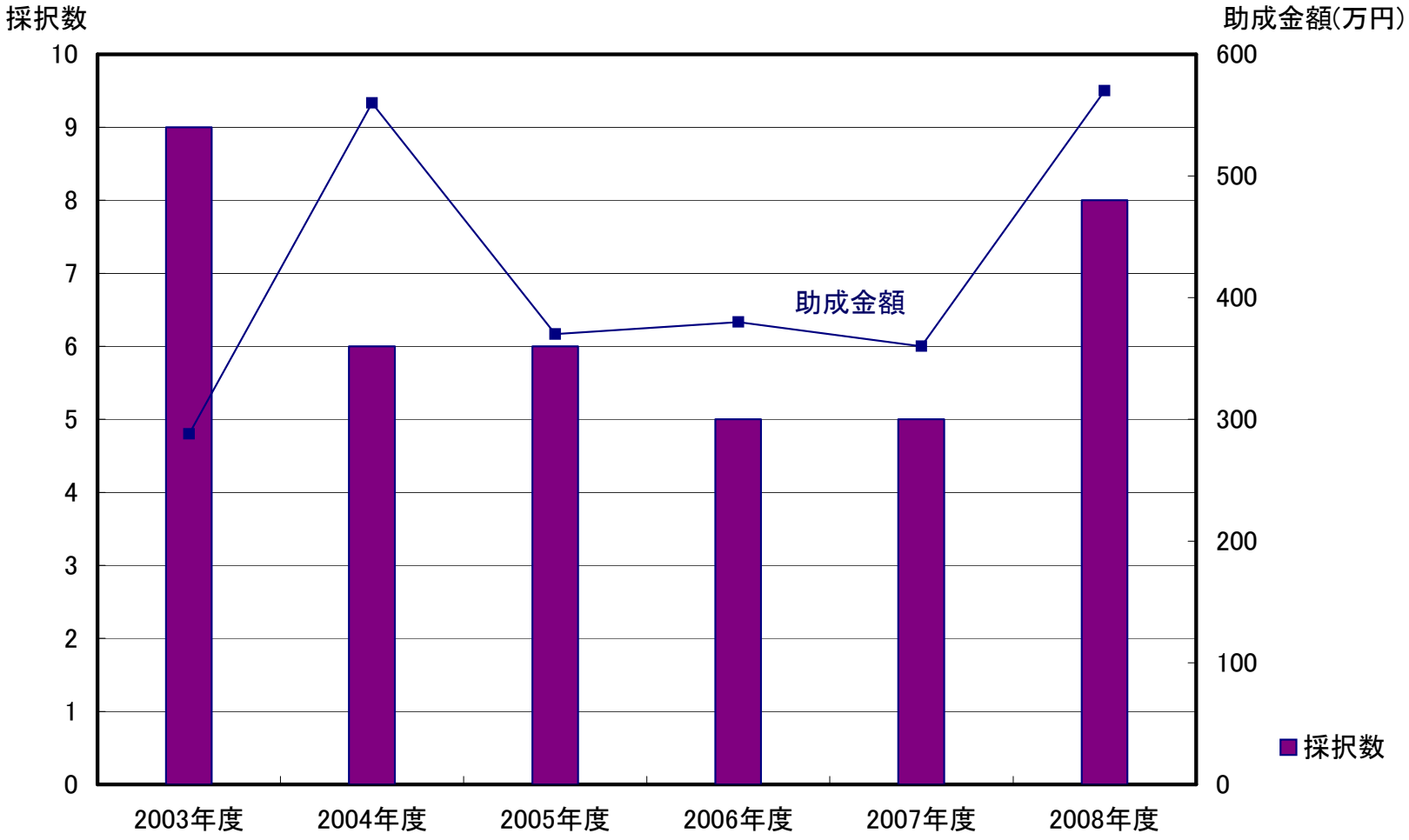
＊　公募枠の助成対象者は、土木学会個人会員または会員グループ
＊　特別枠の助成対象者は、土木学会内部の委員会等

調査研究部門委員会活動参加者数



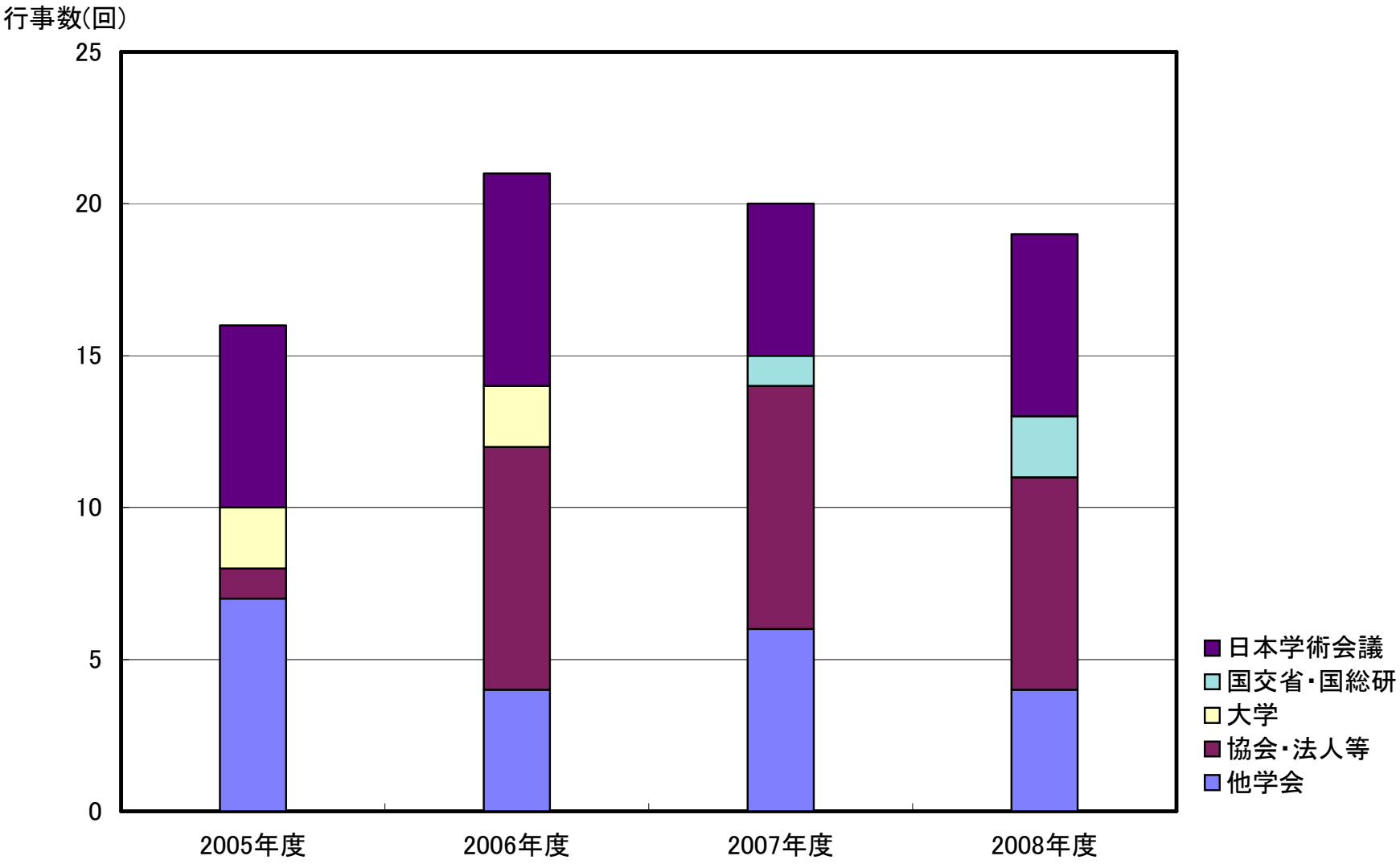
＊　会議出席者：小委員会以上の会議に出席した延べ人数
＊　行事参加者：委員会が主催、共催した行事に参加した延べ人数
＊　書籍購読・購買：委員会が関与して出版した書籍の購読者数あるいは購買数
＊　災害調査団：災害調査団に派遣した委員の延べ人数、調査団が開催した報告会等の参加者数

重点研究課題採択数と助成金額

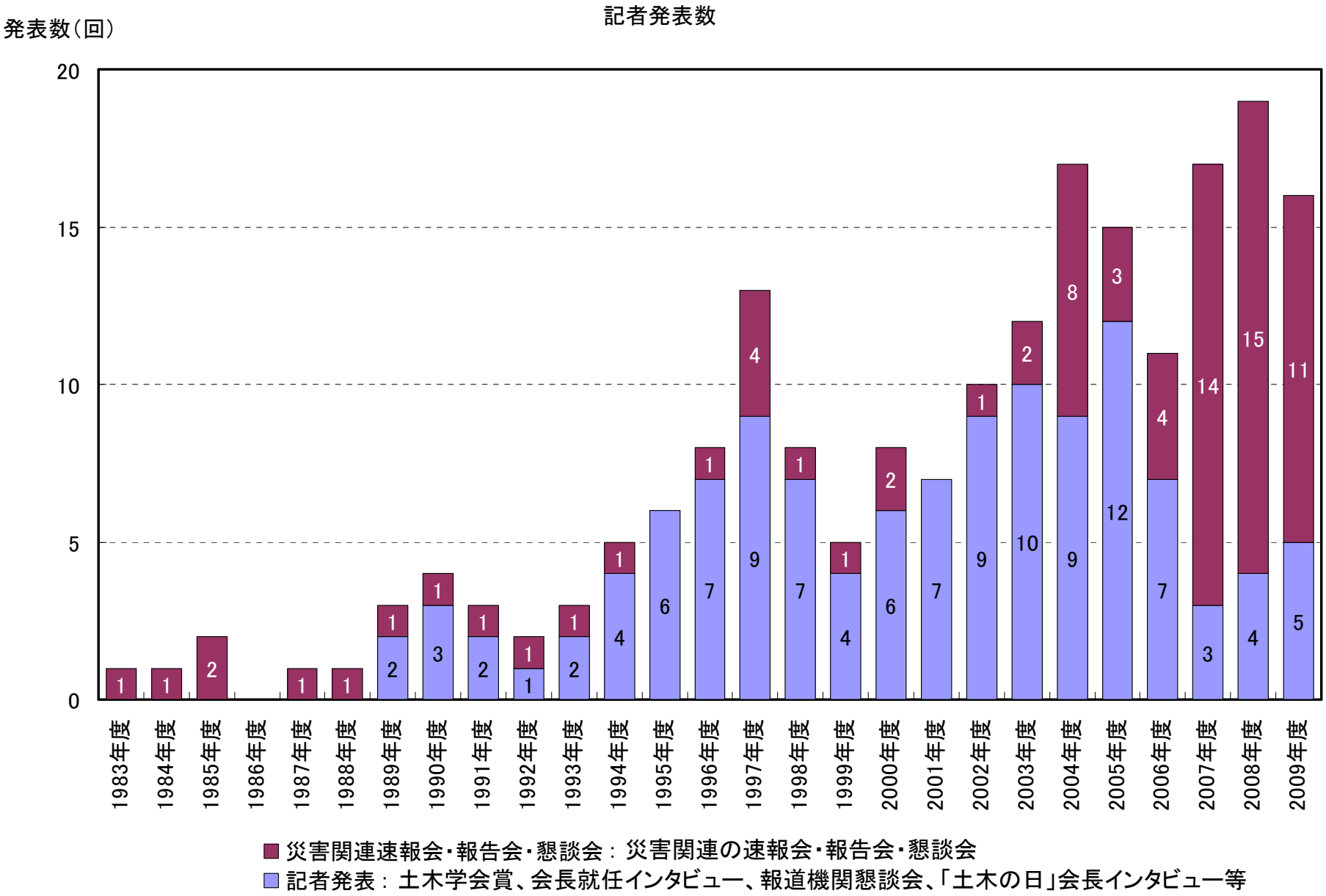


＊　調査研究部門の各委員会を対象として「重点研究課題」の公募を行い、採択した課題に対し調査研究費を助成

学協会連携共催行事

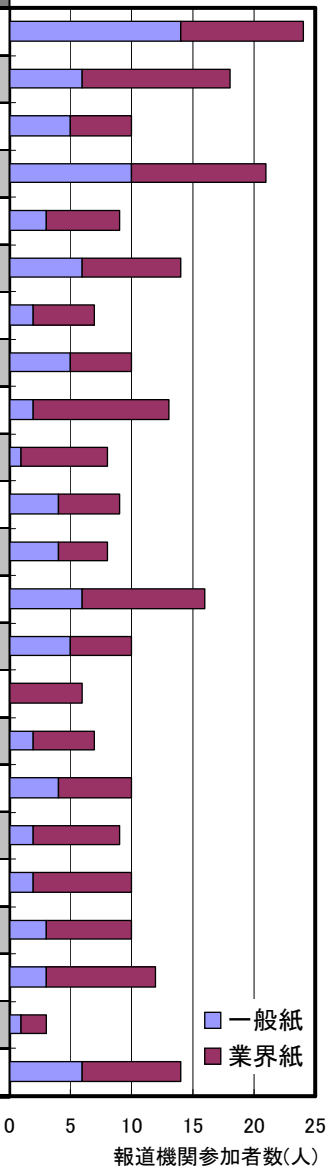

行事数(回)
25
20
15
10
5
0
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
日本学術会議
国交省・国総研
大学
協会・法人等
他学会

記者発表数

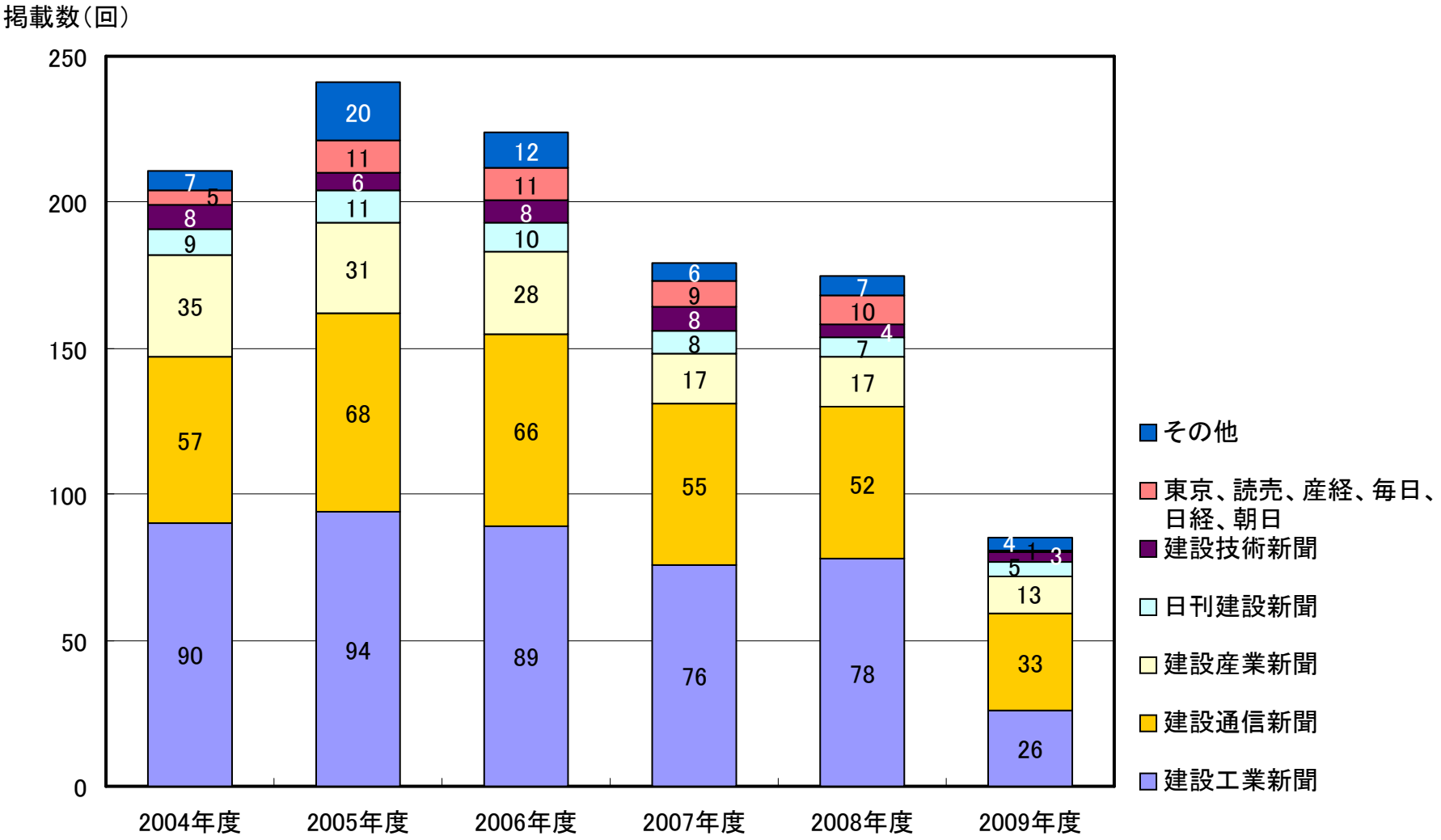

記者発表数
発表数（回）
20
15
10
5
0
1983年度
1984年度
1985年度
1986年度
1987年度
1988年度
1989年度
1990年度
1991年度
1992年度
1993年度
1994年度
1995年度
1996年度
1997年度
1998年度
1999年度
2000年度
2001年度
2002年度
2003年度
2004年度
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
2009年度
1 1 2 1 1 1 2 3 2 1 2 4 6 7 9 7 4 6 7 9 10 9 12 7 3 4 5
1 1 1 1 1 1 1 1 1 4 8 3 4 14 15 11
災害関連速報会・報告会・懇談会： 災害関連の速報会・報告会・懇談会
記者発表： 土木学会賞、会長就任インタビュー、報道機関懇談会、「土木の日」会長インタビュー等

記者懇談会開催実績

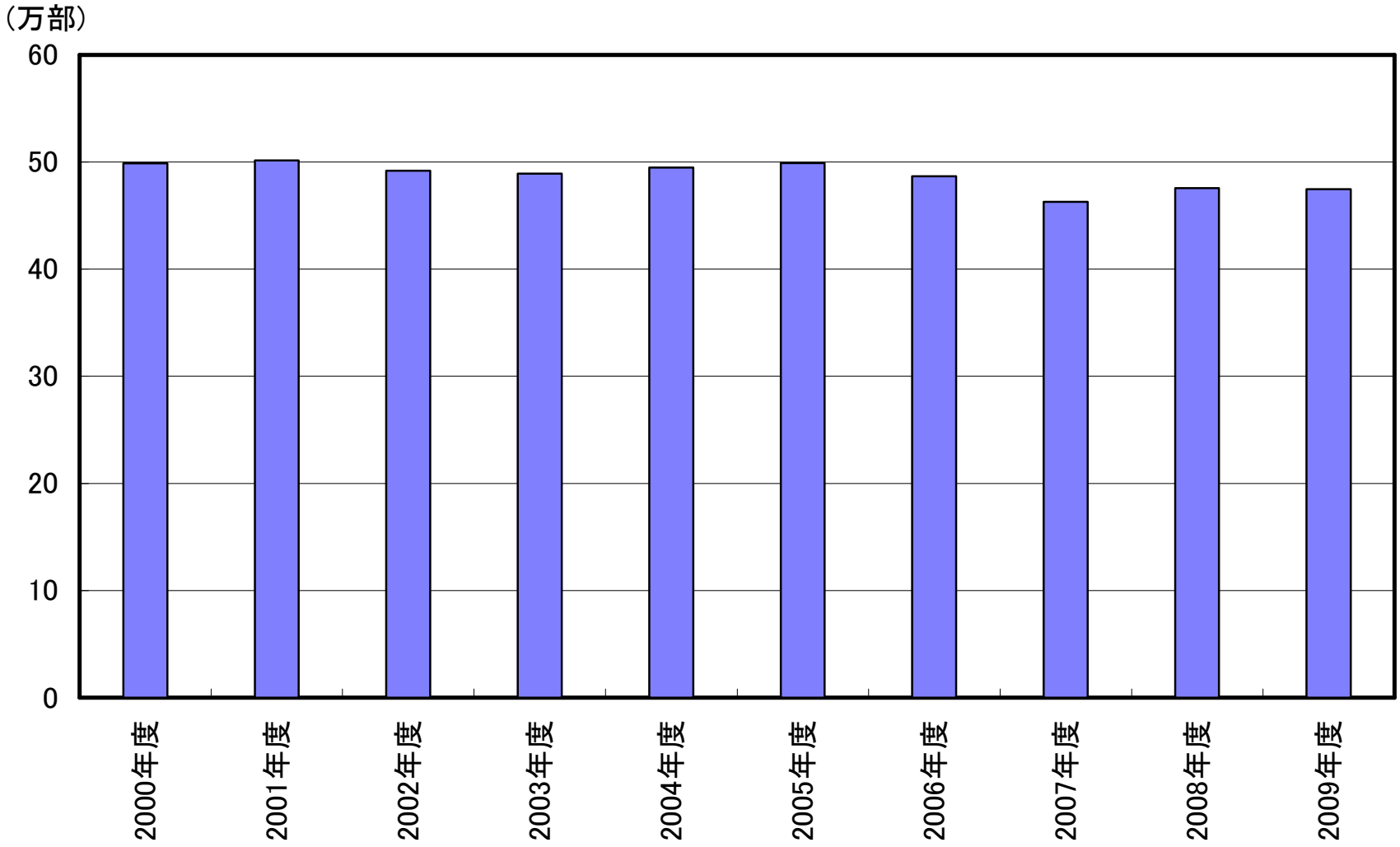
回	日付	内容
第 1 回	2006 年 6 月 30 日	・ジャワ島中部地震災害技術支援（小長井 一男 教授／東京大学） ・土木学会の災害復旧復興技術支援
第 2 回	2006 年 9 月 1 日	・巨大地震災害への対応検討特別委員会の研究成果（西村 昭彦／㈱ジェイアール総研eng.） ・ジャワ島南西沖地震による津波被害調査結果（宮島 昌克／金沢大）　・その他（防災写真展開催報告など）
第 3 回	2006年11月29日	・最新の調査研究活動：リニアコライダープロジェクト（近久 博志 教授／山口大学） ・巨大地震災害への対応に関する土木学会・日本建築学会共同研究連絡会の提言　（西村 昭彦／㈱ジェイアール総研エンジニアリング）
第 4 回	2007 年 2 月 7 日	・平成18年度会長特別委員会概要 ・土木学会の新たな取組み（倫理・社会規範委員会、論説委員会）　・コンクリート分野における最近の研究動向（丸山 久一／長岡技科大）
第 5 回	2007 年 4 月 17 日	・合意形成における土木技術者の役割（上野 俊司／㈱現代文化研究所） ・調査研究部門の重点研究課題　・能登半島地震災害調査報告会案内　・報道機関懇談会現場視察会案内
第 6 回	2007 年 4 月 26 日	【現場視察会】首都高速道路中央環状新宿線建設現場（首都高速道路㈱）
第 7 回	2007 年 7 月 30 日	・活発化するアジア土木界とJSCEの対応、JSCEの国際活動紹介、 第4回アジア土木技術国際会議（奥村 文直／JR総研）、 会長モンゴル訪問とアメリカ土木学会との意見交換
第 8 回	2007 年 9 月 27 日	・中越沖地震による柏崎刈羽原子力発電所の被害状況について （当麻 純一／（財）電力中央研究所、酒井 俊朗／東京電力（株））
第 9 回	2007年10月25日	・（会長「土木の日」共同インタビュー） ・地球温暖化による異常気象と水害対策（山田 正／中央大学、尾澤 卓思／国土交通省）　・2004年新潟県中越地震土砂際額学習マップ（後藤 聡／山梨大学）
第 10 回	2007年11月30日	【現場視察会】新宿南口地区基盤整備現場（国土交通省東京国道事務所、JR東日本㈱）
第 11 回	2007年12月20日	・地域と自然との共生をめざす道づくり （浅野 利一／東日本高速道路㈱、関 文夫／大成建設㈱、藤井 聡／東京工業大学）
第 12 回	2008 年 1 月 24 日	・オーストラリア大干ばつとその教訓（高崎哲郎／（財）河川環境管理財団・作家）
第 13 回	2008 年 2 月 28 日	【現場視察会】東京メトロ副都心線（13号線）開業に伴う新渋谷駅および東横線との 相互直通運転に向けた渋谷駅～代官山駅間「地下化工事」現場（東急電鉄）
第 14 回	2008 年 3 月 27 日	・交通土木から考える地球温暖化対策：モビリティ・マネジメントによる国民運動 （藤井 聡 教授／東京工業大学、野俣 光孝 氏／　国土交通省総合政策局、森谷 保 氏／神奈川県県土整備部）
第 15 回	2008 年 4 月 24 日	・映像による土木広報・土木技術映像委員会による土木映像普及活動について，日台合作長編ｱﾆﾒｰｼｮﾝ映画(八田與一物語「ﾊﾟｯﾃﾝﾗｲ!!～南の島の水ものがたり～」) の製作報告　（大野 春雄 氏／建設教育研究推進機構・土木技術映像委員会委員長、緒方 英樹 氏／全国建設研修センター）
第 16 回	2008 年 5 月 22 日	・平成19年度会長提言特別委員会報告「インフラ国勢調査−体力測定と健康診断」、 「アジアへの貢献」（石井 弓夫 会長、太田 和博 教授／専修大学商学部、宮本 和明 教授／武蔵工業大学環境情報学部）
第 17 回	2008 年 9 月 4 日	・会長提言特別委員会「誰がこれを造ったのか」～土木技術と土木技術者の可視化～（栢原 英郎 会長） ・地震防災（川島 一彦 教授／東京工業大学）
第 18 回	2008年10月22日	【現場視察会】羽田空港滑走路拡張工事現場（国土交通省東京空港整備事務所）
第 19 回	2008年12月12日	・「インフラ政策における土木ソフトウエアの役割」（加賀屋 誠一 教授／北海道大学）
第 20 回	2009 年 5 月 29 日	・会長提言特別委員会「誰がこれを造ったのか」～土木技術と土木技術者の可視化～（栢原 英郎 会長）
第 21 回	2009 年 7 月 21 日	【現場視察会】神田川・環状七号線地下調節池善福寺川取水施設現場
第 22 回	2009年10月21日	【現場視察会】首都高中央環状品川線大橋JCT 現場
第 23 回	2010 年 3 月 15 日	・「道路政策」についての学術的議論～高速道路無料化・道路特定財源等についての土木計画学～ （石田 東生 教授／筑波大学、小池 淳司 教授／鳥取大学(資料のみ)、藤井 聡 教授／京都大学）



新聞掲載数


掲載数（回）
250
200
150
100
50
0
2004年度
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
2009年度
90
57
35
9
8
5
7
94
68
31
11
6
11
20
89
66
28
10
8
11
12
76
55
17
8
8
9
6
78
52
17
7
4
10
7
26
33
13
5
3
1
4
その他
東京、読売、産経、毎日、日経、朝日
建設技術新聞
日刊建設新聞
建設産業新聞
建設通信新聞
建設工業新聞

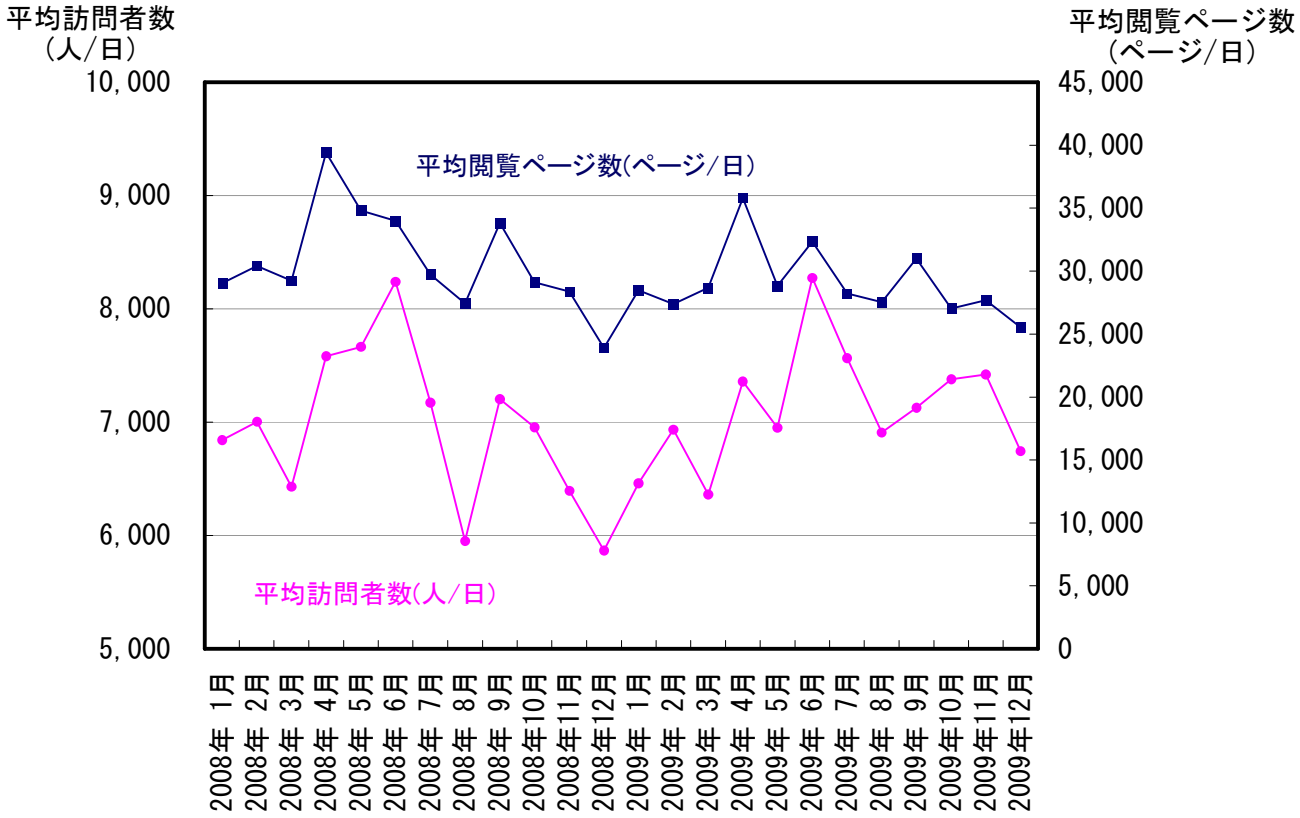
学会誌発行部数


（万部）
60
50
40
30
20
10
0
2000年度
2001年度
2002年度
2003年度
2004年度
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
2009年度

学会ホームページの閲覧状況

	2008年 1月	2008年 2月	2008年 3月	2008年 4月	2008年 5月	2008年 6月	2008年 7月	2008年 8月	2008年 9月	2008年 10月	2008年 11月	2008年 12月
訪問者数	209,533	200,467	199,364	227,481	237,597	247,153	222,373	184,503	216,083	215,601	191,848	181,910
閲覧ページ数合計	888,973	870,788	906,432	1,181,737	1,079,276	1,019,391	921,205	850,024	1,014,396	902,587	851,434	741,083
平均訪問者数／日	6,842	7,004	6,431	7,583	7,665	8,239	7,173	5,952	7,203	6,955	6,395	5,868
平均閲覧ページ数／日	29,029	30,422	29,241	39,391	34,816	33,981	29,716	27,420	33,814	29,116	28,381	23,906

	2009年 1月	2009年 2月	2009年 3月	2009年 4月	2009年 5月	2009年 6月	2009年 7月	2009年 8月	2009年 9月	2009年 10月	2009年 11月	2009年 12月
訪問者数	200,264	194,106	197,240	220,731	215,516	248,155	234,490	214,169	213,817	228,752	222,598	209,088
閲覧ページ数合計	883,026	766,794	888,407	1,074,150	893,357	969,801	874,949	853,418	929,660	837,365	831,004	791,322
平均訪問者数／日	6,460	6,933	6,363	7,358	6,952	8,272	7,564	6,909	7,127	7,379	7,420	6,745
平均閲覧ページ数／日	28,486	27,386	28,660	35,805	28,818	32,327	28,224	27,530	30,989	27,012	27,700	25,527

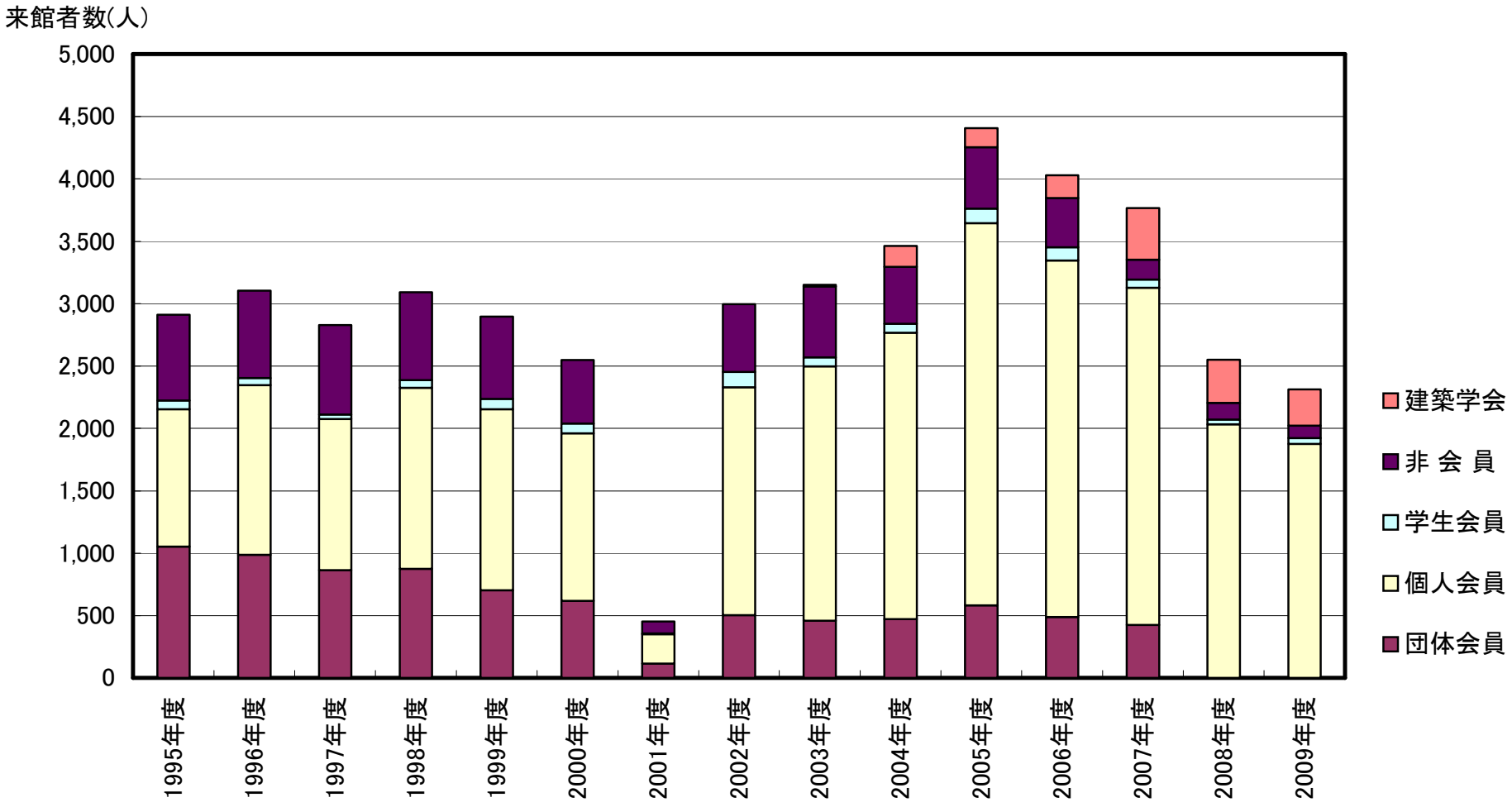


最もリクエストが多かったページ（ベスト5）

	1	2	3	4	5
2008年 1月	土木学会認定技術者資格制度	土木図書館目録・書誌検索	刊行物案内	継続教育（CPD）制度	支部トップページ
2008年 2月	刊行物案内	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度	本部主催行事の参加申込	土木学会認定技術者資格制度
2008年 3月	刊行物案内	平成20年度年次学術講演会	全国大会	土木計画学研究委員会	土木図書館目録・書誌検索
2008年 4月	平成20年度年次学術講演会	全国大会	刊行物案内	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度
2008年 5月	刊行物案内	土木学会賞	土木図書館目録・書誌検索	土木計画学研究委員会	継続教育（CPD）制度
2008年 6月	土木学会認定技術者資格制度	刊行物案内	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度	土木計画学研究委員会
2008年 7月	土木図書館目録・書誌検索	全国大会	刊行物案内	継続教育（CPD）制度	本部主催行事の参加申込
2008年 8月	全国大会	刊行物案内	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度	平成20年度年次学術講演会
2008年 9月	全国大会	土木図書館目録・書誌検索	土木学会認定技術者資格制度	平成20年度年次学術講演会	継続教育（CPD）制度
2008年10月	土木図書館目録・書誌検索	刊行物案内	土木学会認定技術者資格制度	土木計画学研究委員会	継続教育（CPD）制度
2008年11月	土木図書館目録・書誌検索	刊行物案内	継続教育（CPD）制度	土木学会認定技術者資格制度	土木学会論文集
2008年12月	土木図書館目録・書誌検索	刊行物案内	継続教育（CPD）制度	土木学会論文集	本部主催行事の参加申込
2009年 1月	土木学会認定技術者資格制度	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度	刊行物案内	土木学会論文集
2009年 2月	土木図書館目録・書誌検索	全国大会	土木学会認定技術者資格制度	刊行物案内	継続教育（CPD）制度
2009年 3月	全国大会	土木学会認定技術者資格制度	平成21年度年次学術講演会	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度
2009年 4月	全国大会	平成21年度年次学術講演会	土木図書館目録・書誌検索	土木学会認定技術者資格制度	継続教育（CPD）制度
2009年 5月	土木図書館目録・書誌検索	土木学会賞	土木学会認定技術者資格制度	土木計画学研究委員会	本部主催行事の参加申込
2009年 6月	土木学会認定技術者資格制度	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度	平成21年度年次学術講演会	土木計画学研究委員会
2009年 7月	土木図書館目録・書誌検索	全国大会	継続教育（CPD）制度	学術論文等公開ページ	土木計画学研究委員会
2009年 8月	全国大会	平成21年度年次学術講演会	継続教育（CPD）制度	土木図書館目録・書誌検索	本部主催行事の参加申込
2009年 9月	全国大会	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度	本部主催行事の参加申込	学術論文等公開ページ
2009年10月	土木図書館目録・書誌検索	継続教育（CPD）制度	本部主催行事の参加申込	学術論文等公開ページ	土木学会認定技術者資格制度
2009年11月	土木図書館目録・書誌検索	もの知り博士のドボク教室	本部主催行事の参加申込	学術論文等公開ページ	継続教育（CPD）制度
2009年12月	もの知り博士のドボク教室	土木図書館目録・書誌検索	学術論文等公開ページ	継続教育（CPD）制度	本部主催行事の参加申込

＊ トップページ、図書館トップページは除く

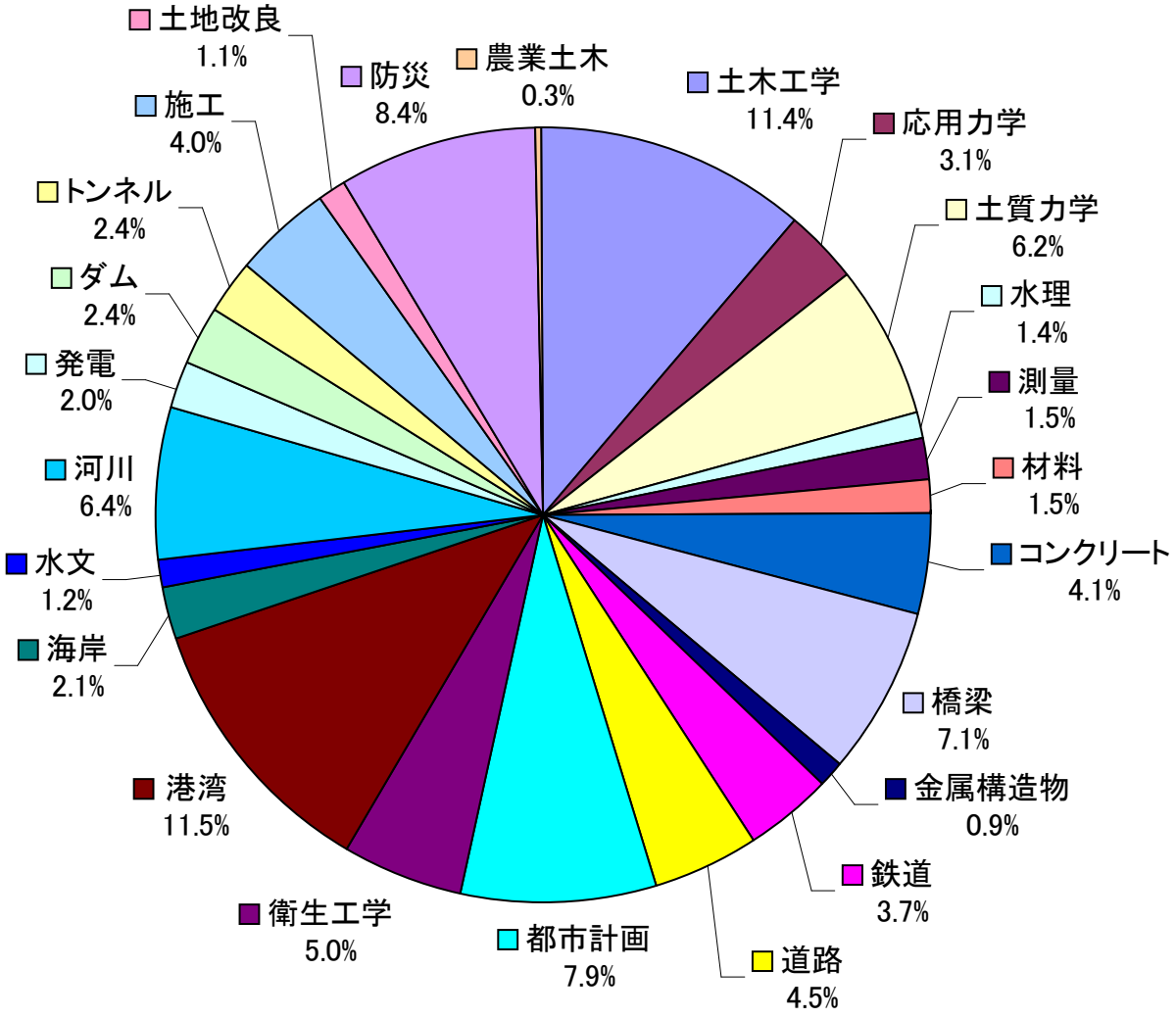
図書館来館者数



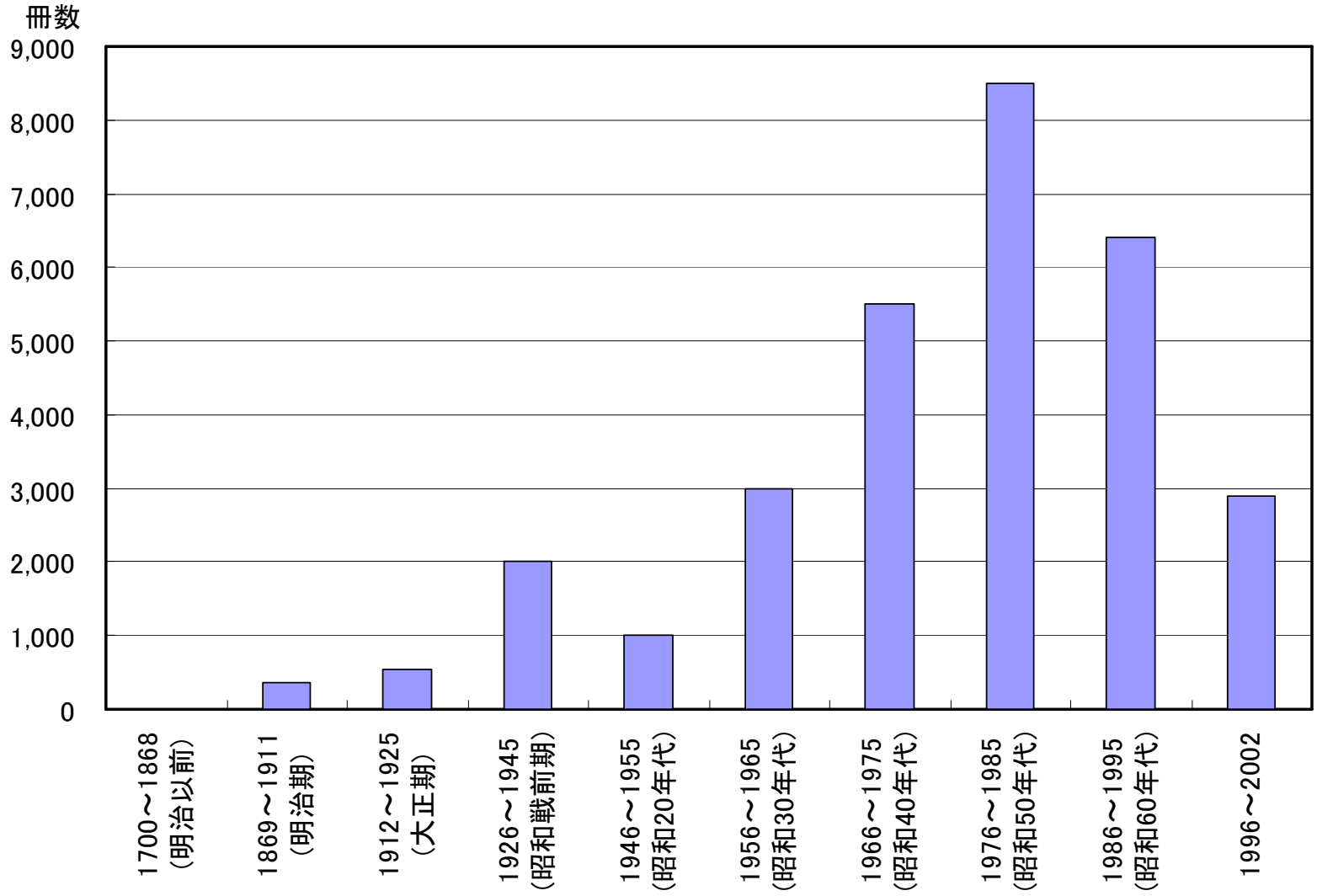
図書館のページ：http://www.jsce.or.jp/library/index.html

＊ 2001年に図書館改築
＊ 団体会員は、法人会員と特別会員の合計

土木図書館蔵書構成（分類別）



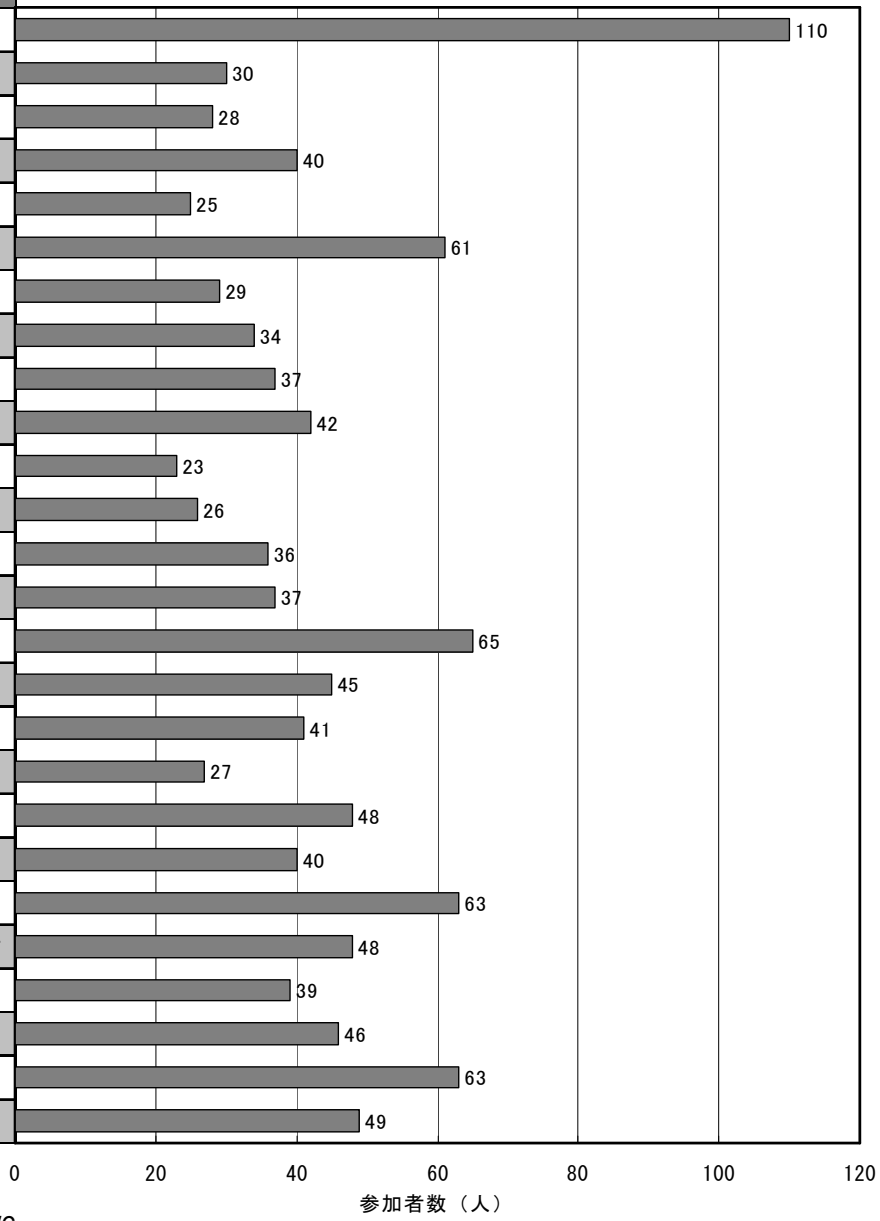
土木図書館蔵書構成（年代別）



＊　図書館改築前（2002.10.3）時点のデータ

トークサロン参加者数

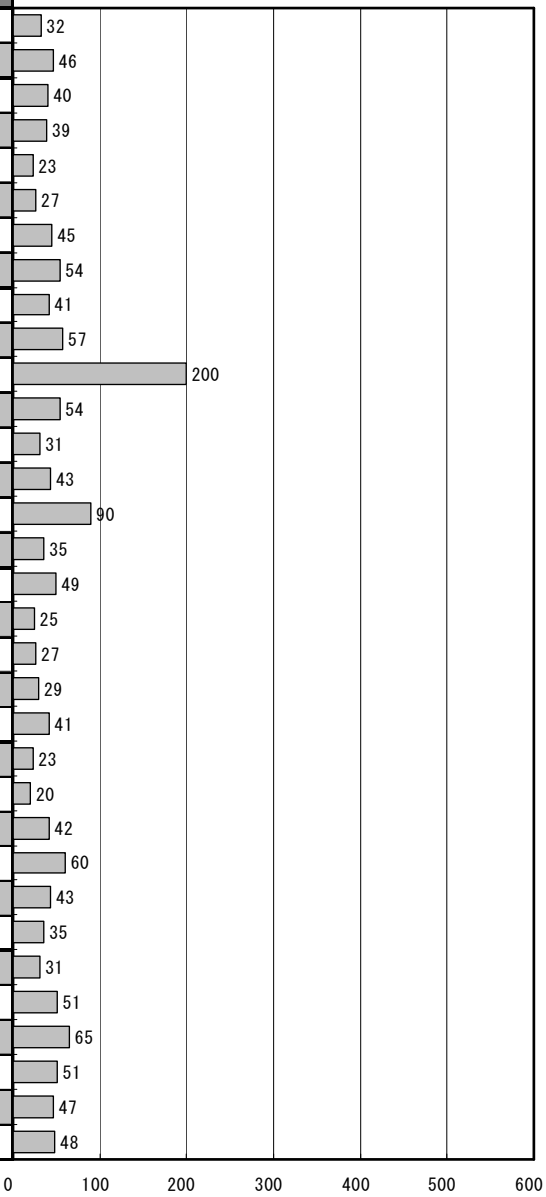
	開催日	テーマ	講師	参加者数（人）
第1回	2003 年 4 月 7 日	高速道路民営化の議論と社会資本	中村　英夫	110
第2回	2003 年 6 月 27 日	地球水危機への処方箋を求めて	小池　俊雄	30
第3回	2003 年 9 月 29 日	「オランダモデル」について	長坂　寿久	28
第4回	2004 年 2 月 16 日	「少子高齢時代を生きるシビルエンジニア」の社会化について	尾田　栄章	40
第5回	2004 年 5 月 31 日	フランスの公共事業におけるパブリック・インボルブメントの実践	田邊　忠顕	25
第6回	2004 年 6 月 21 日	公共事業をどうとらえるべきか	大石　久和	61
第7回	2004 年 9 月 2 日	国際化時代の土木	日下部　治	29
第8回	2004 年 11 月 8 日	新分野に挑戦する建設業	米田　雅子	34
第9回	2005 年 4 月 4 日	大河津分水と青山士・宮本武之輔	五百川　清	37
第10回	2005 年 7 月 4 日	市民の声を活かしたみちづくり	屋井　鉄雄	42
第11回	2005 年 9 月 5 日	絵画へのめざめ	栗村　成彦	23
第12回	2005 年 12 月 7 日	地下鉄建設の歴史～ロンドンと東京～	矢島　隆	26
第13回	2006 年 5 月 18 日	中部国際空港建設の歩みとコスト削減について	尾頭　嘉明	36
第14回	2006 年 8 月 29 日	ITS　10年の歩みとアジアの動き	天野　肇	37
第15回	2006 年 11 月 27 日	官から民へ －首都高の課題と取り組み－	長谷川　康司	65
第16回	2007 年 3 月 19 日	ふるさと東京の都市再生	斉藤　親	45
第17回	2007 年 7 月 10 日	治水の歴史と新しい展開	近藤　徹	41
第18回	2007 年 10 月 10 日	観光が国家政策の中心になる日	本保　芳明	27
第19回	2008 年 1 月 30 日	地球温暖化の将来予測と建設業の役割	三村　信男	48
第20回	2008 年 5 月 15 日	イノベーション・インフラとしてのユビキタス	坂村　健	40
第21回	2008 年 9 月 2 日	最近の社会資本に関する論議について	森地　茂	63
第22回	2008 年 12 月 17 日	「首都高緊急復旧工事の2ヶ月半 ― タンクローリー火災事故の復旧現場より ―」	和泉　公比古	48
第23回	2009 年 5 月 11 日	フランスの建設技術のイノベーションと国際競争力	森元　峯夫	39
第24回	2009 年 9 月 7 日	パッテンライ！　土木技術者・八田與一の本懐とは何か ～社会に土木の価値と役割を伝えたい～	古川　勝三	46
第25回	2009 年 11 月 27 日	ダム計画を考える	山田　正	63
第26回	2010 年 2 月 24 日	利根川流域の治水・利水と八ツ場ダム	虫明　功臣	49



＊　一部テーマ名を省略
トークサロンのページ：http://committees.jsce.or.jp/kikaku/taxonomy/term/6

イブニングシアター参加者数①

	上映月日	上映作品	上映場所	
第 1 回	2001 年 11 月 28 日	①石を架ける－石橋文化を築いた人々 他	攻玉社工科短大	32
第 2 回	2001 年 12 月 19 日	①銀座の地下を掘る ②東名高速道路	攻玉社工科短大	46
第 3 回	2002 年 1 月 23 日	①恵那山トンネル ②青函トンネル	攻玉社工科短大	40
第 4 回	2002 年 2 月 20 日	①関門橋、②本州四国連絡橋－児島・坂出ルート	攻玉社工科短大	39
第 5 回	2002 年 3 月 27 日	①松原・下筌ダム建設記録 ②川とともに 他	攻玉社工科短大	23
第 6 回	2002 年 10 月 30 日	①海中基礎に挑む－明石海峡大橋ケーソン設置 他	攻玉社工科短大	27
第 7 回	2002 年 11 月 27 日	①ある碑－巨大吊橋を支える 他	攻玉社工科短大	45
第 8 回	2002 年 12 月 18 日	①新たなる挑戦－超大型泥水シールド 他	芝浦工業大	54
第 9 回	2003 年 1 月 29 日	①長大橋の基礎を築く－本四架橋・南北備讃7A 他	芝浦工業大	41
第 10 回	2003 年 2 月 26 日	①ニッポン近代化遺産への旅 他	土木学会講堂	57
第 11 回	2003 年 5 月 28 日	①明日をつくった男－田辺朔朗と琵琶湖疎水	土木学会講堂	200
第 12 回	2003 年 6 月 25 日	①地域と自然との共生をめざす道づくり 他	土木学会講堂	54
第 13 回	2003 年 7 月 30 日	①21世紀の架け橋－第二名神高速道路 他	土木学会講堂	31
第 14 回	2003 年 10 月 1 日	①日本の近代化を築いた人々	土木学会講堂	43
第 15 回	2003 年 10 月 31 日	①掘るまいか－手掘り中山隧道の記録	土木学会講堂	90
第 16 回	2003 年 12 月 10 日	①海峡をつないだ技術 ②関門橋	攻玉社工科短大	35
第 17 回	2004 年 3 月 23 日	①阪神淡路大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	49
第 18 回	2004 年 7 月 21 日	①銀座の地下を掘る ②羽田海底トンネル	土木学会講堂	25
第 19 回	2004 年 10 月 6 日	①よみがえる川 ②高潮に挑む	土木学会講堂	27
第 20 回	2004 年 11 月 17 日	①礎いしずえ ②青函トンネル第一部	土木学会講堂	29
第 21 回	2004 年 12 月 8 日	①掘るまいか－手掘り中山隧道の記録	土木学会講堂	41
第 22 回	2005 年 1 月 26 日	①東名高速道路 ②北上川	土木学会講堂	23
第 23 回	2005 年 2 月 23 日	①松原・下筌ダム建設記録 ②みんなの下水道	土木学会講堂	20
第 24 回	2005 年 6 月 22 日	①明日をつくった男	土木学会講堂	42
第 25 回	2005 年 8 月 24 日	①掘るまいか－手掘り中山隧道の記録 他	土木学会講堂	60
第 26 回	2005 年 9 月 28 日	①海峡をつないだ技術、②関門橋	土木学会講堂	43
第 27 回	2005 年 11 月 16 日	①有楽町線 掘進 10900米 ②多島海を結ぶ 他	土木学会講堂	35
第 28 回	2006 年 1 月 25 日	①都市化が水害を招く、②洪水をなだめた人びと	土木学会講堂	31
第 29 回	2006 年 2 月 15 日	①佐久間ダム・第2部	土木学会講堂	51
第 30 回	2006 年 7 月 26 日	①大深度地下に築く駅、②軟弱地盤に挑む	土木学会講堂	65
第 31 回	2006 年 8 月 30 日	①時を越えて ②次世代のアーチを架ける 他	土木学会講堂	51
第 32 回	2006 年 10 月 25 日	①昭和49年多摩川狛江猪方地先災害復旧記録 他	土木学会講堂	47
第 33 回	2006 年 11 月 29 日	①ザイールに架ける ②黎明のキリマンジャロ	土木学会講堂	48

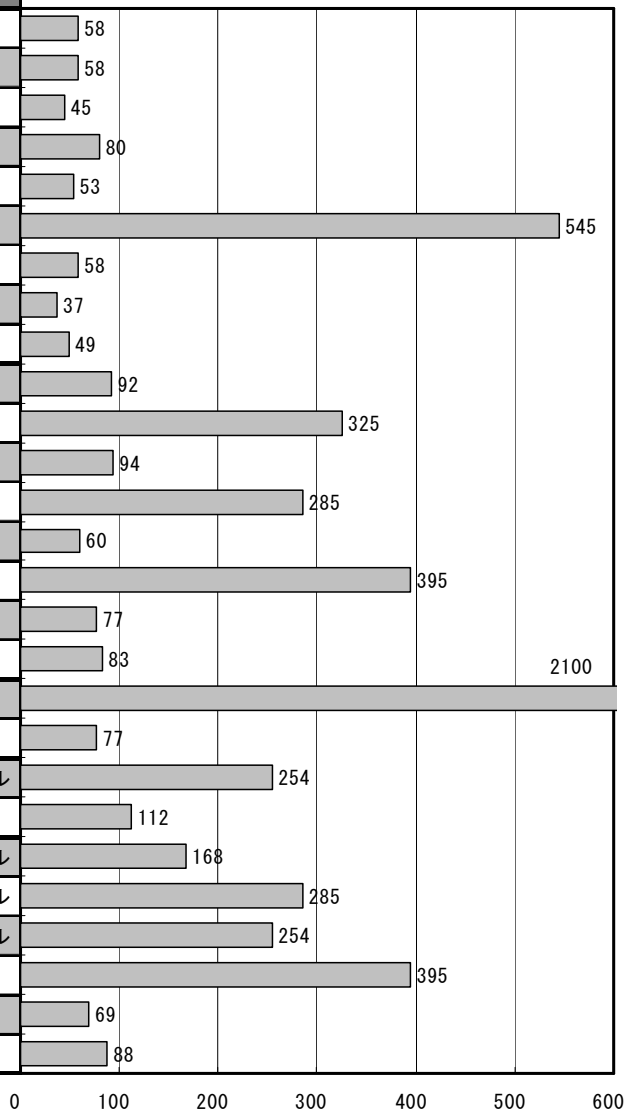


イブニングシアターのページ：http://committees.jsce.or.jp/avc/

＊ 一部、上映作品名を省略

イブニングシアター参加者数②

	上映月日	上映作品	上映場所	
第 34 回	2007 年 1 月 31 日	①崩れ ②掘るまいか	土木学会講堂	58
第 35 回	2007 年 2 月 16 日	①阪神大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	58
special ①	2007 年 7 月 11 日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	文京シビックホール	45
第 36 回	2007 年 7 月 17 日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	土木学会講堂	80
第 37 回	2007 年 8 月 29 日	①崩れ ②民衆のために生きた土木技術者たち	土木学会講堂	53
special ②	2007年9月12～14日	①街の一体化と安全のために 目黒線不動前 他	広島大学	545
第 38 回	2007 年 10 月 1 日	①石を架ける～石橋文化を築いた人びと～ 他	土木学会講堂	58
第 39 回	2007 年 11 月 1 日	①東京港に虹をかける 他	土木学会講堂	37
第 40 回	2007 年 12 月 5 日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	土木学会講堂	49
第 41 回	2008 年 1 月 30 日	①「水とたたかった戦国の武将たち」 他	土木学会講堂	92
第 42 回	2008 年 5 月 27 日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	文京シビックホール	325
第 43 回	2008 年 7 月 9 日	①「本州四国連絡橋ー児島・坂出ルート」 他	土木学会講堂	94
special ①	2008 年 8 月 22 日	①人をたすけ国をつくったお坊さんたち 他	文京シビックホール	285
第 44 回	2008 年 8 月 27 日	①「おやとい外国人とよばれた人たち」 他	土木学会講堂	60
special ②	2008年9月10～12日	①「荒川放水路物語～川がはぐくむ暮らしと文化」 他	東北大学	395
第 45 回	2008 年 10 月 15 日	①「上総掘り」 他	土木学会講堂	77
第 46 回	2008 年 11 月 26 日	①「東京湾アクアライン（総集編）」 他	中央大学	83
special ①	2009 年 1 月 16 日	①佐久間ダム ②黒部の太陽（短縮版）	文京シビックホール	2100
第 47 回	2009 年 1 月 28 日	①阪神大震災による道路の被災と復旧 他	土木学会講堂	77
第 48 回	2009 年 3 月 25 日	①黒部川第四水力発電所建設記録 くろよん物語 他	文京シビック小ホール	254
第 49 回	2009 年 5 月 20 日	①崩れ ②飛騨トンネル先進坑工事の記録 他	土木学会講堂	112
第 50 回	2009 年 6 月 11 日	①首都高速道路を守れ―疲労き裂対策3000日の軌跡― 他	文京シビック小ホール	168
special ①	2009 年 8 月 3 日	①パッテンライ!!南の島の水ものがたり 他	文京シビック小ホール	285
第 51 回	2009 年 8 月 5 日	①水とたたかった戦国の武将たち 他	文京シビック小ホール	254
special ②	2008 年 9 月 2 ～ 4 日	①パッテンライ!!南の島の水ものがたり 他	福岡大学	395
第 52 回	2009 年 10 月 21 日	①昭和34年 伊勢湾台風 他	土木学会講堂	69
第 53 回	2009 年 12 月 2 日	①苦闘海底破砕帯突破 新関門トンネル建設の記録 他	土木学会講堂	88



イブニングシアターのページ：http://committees.jsce.or.jp/avc/

＊ 一部、上映作品名を省略
＊ special① 市民公開特別上映会、special②全国大会映画会

論説一覧①

回	ホームページ掲載年月	編	執筆者	論題
第 1 回	2007年6月	(1)	丹保 憲仁	目ははるか地平を、足はしっかりと大地を
		(2)	濱田 政則	安全・安心な社会の構築へのパラダイム転換
第 2 回	2007年7月	(1)	大石 久和	「私」を考えて「公」を主張すべきは誰なのか
		(2)	塩谷 喜雄	生態学と経済学
第 3 回	2007年8月	(1)	山本 卓朗	誇りを持って建設業を語る
		(2)	濱田 政則	原子力発電への信頼回復に向けて
第 4 回	2007年9月	(1)	青山 俊樹	地球温暖化と日本の課題
		(2)	清野 茂次	「武士道」に学ぶ技術者の倫理規範
第 5 回	2007年10月	(1)	森地 茂	地域格差と社会資本
第 6 回	2007年11月	(1)	井上 啓一	道路公団民営化がもたらしたもの
		(2)	米田 雅子	「国土の均衡ある発展」と建設産業
第 7 回	2007年12月	(1)	近藤 徹	総合的な土木工学による治水対策
		(2)	土岐 憲三	社会基盤の再定義
第 8 回	2008年1月	(1)	堀 正幸	技術者が安全・安心の真の担い手
第 9 回	2008年2月	(1)	魚本 健人	土木構造物の「トレーサビリティ」
		(2)	内藤 廣	景観という戦略
第 10 回	2008年3月	(1)	日下部 治	魅力ある職業資格への議論を
		(2)	草柳 俊二	最前線の技術者達が学術的活動を実施して行ける環境整備を
第 11 回	2008年4月	(1)	丹保 憲仁	教養と専門（学部と修士）
		(2)	大石 久和	「国土学」と「比較学」のすすめ
第 12 回	2008年5月	(1)	山本 卓朗	建設業の魅力回復を
		(2)	栢原 英郎	公共事業への無理解とその反論
第 13 回	2008年6月	(1)	濱田 政則	防災・環境問題に関する学協会横断的研究のすすめ
		(2)	青山 俊樹	若き人達へ　～　土木の魅力
第 14 回	2008年7月	(1)	清野 茂次	「設計」について再考する
		(2)	森地 茂	プロジェクトづくり
第 15 回	2008年8月	(1)	塚田 幸宏	技術革新が創出する新しい時間管理概念
		(2)	近藤 徹	土木工学に生態学の知見を
第 16 回	2008年9月	(1)	土岐 憲三	科学技術の研究動向における建設系の状況
		(2)	米田 雅子	冗長性のあるストック設計
第 17 回	2008年10月	(1)	堀 正幸	土木の将来ビジョンと人材育成
		(2)	魚本 健人	「年功序列」社会と「能力主義」社会

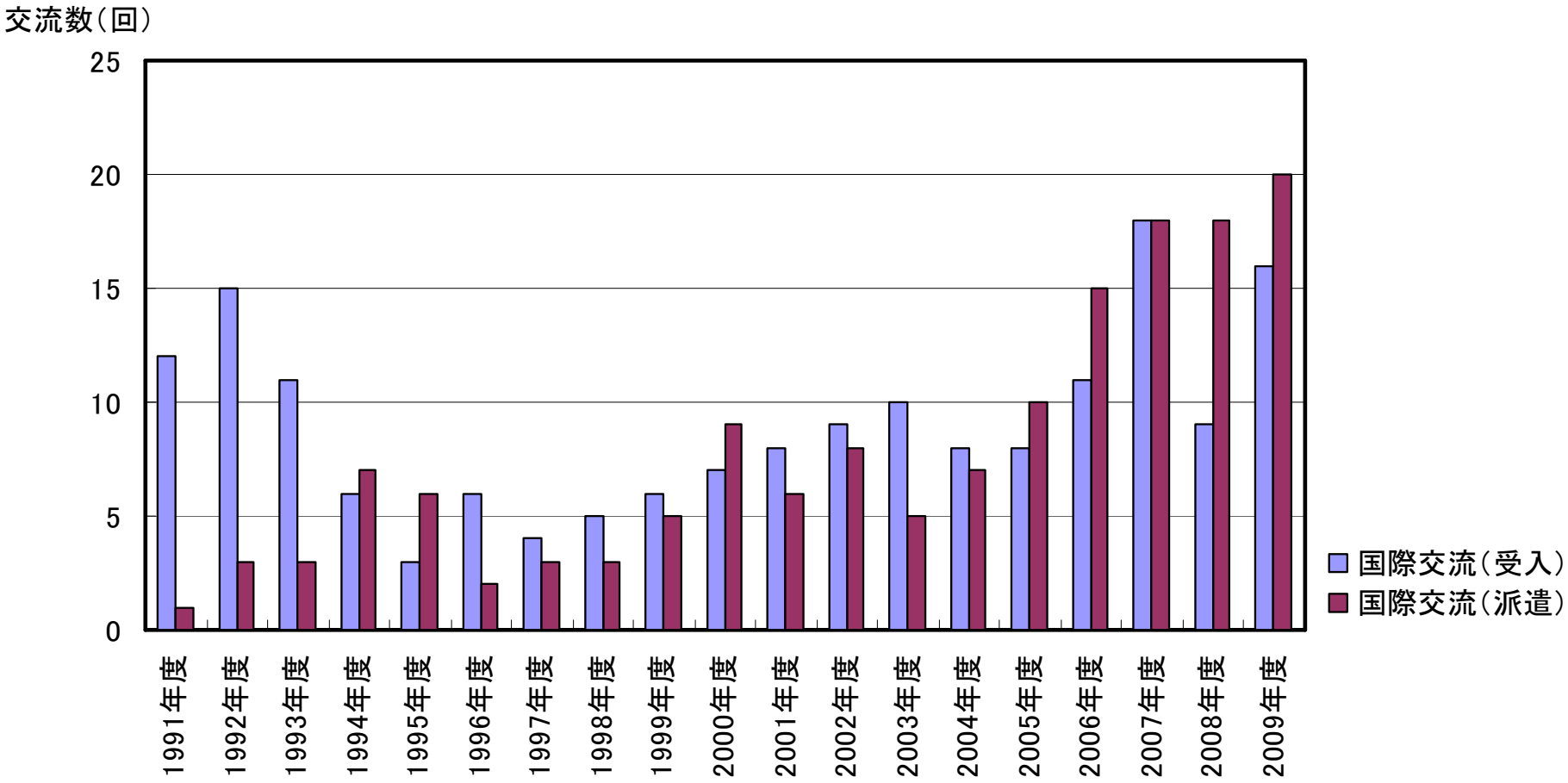
＊ 論説のページ：http://committees.jsce.or.jp/editorial/list

論説一覧②

回	ホームページ掲載年月	編	執筆者	論題
第 18 回	2008年11月	(1)	内藤 廣	知的財産権について
		(2)	日下部 治	日本の土木技術の国際的存在感を確保せよ
第 19 回	2008年12月	(1)	草柳 俊二	建設産業の改革と契約に関する意識向上
		(2)	中村 英夫	土木事業の行くえ
第 20 回	2009年1月	(1)	楠田 哲也	基礎力を備えた研究者の育成と確保
		(2)	井上 啓一	変動の激しい中で公共財を運営する上で考えていかなければならないこと
第 21 回	2009年2月	(1)	大垣 眞一郎	若い人たちは待っている
		(2)	丹保 憲仁	チーム水・日本
第 22 回	2009年3月	(1)	石井 弓夫	二つの危機を乗り切るために
		(2)	佐々木 葉	土木のリセット！してみませんか？
第 23 回	2009年4月	(1)	西脇 芳文	新しい社会のニーズと土木の役割
		(2)	柴山 知也	自然災害への対策と土木技術者の役割―途上国での高潮･津波調査結果を踏まえて―
第 24 回	2009年5月	(1)	小澤 一雅	土木学会から契約約款の発刊を
		(2)	布村 明彦	総合医療としての新たな社会資本整備の姿
第 25 回	2009年6月	(1)	森地 茂	社会資本のリスク対応の制度的課題
		(2)	佐藤 愼司	生活習慣病型の環境問題
第 26 回	2009年7月	(1)	青山 俊樹	土木の将来について
		(2)	山本 卓朗	建設業の適正利益確保について
第 27 回	2009年8月	(1)	魚本 健人	土木事業と土木技術者の将来
		(2)	濱田 政則	土木工事での木材活用による温暖化防止への貢献
第 28 回	2009年9月	(1)	山田 正	公共事業の意思決定法はいかにあるべきか　ーダム建設事業を例としてー
		(2)	太田 猛彦	森林の現状をどう見るか
第 29 回	2009年10月	(1)	宮川 豊章	本当に欲しいものは何か？：分福茶釜と性能規定
		(2)	B. N. Lohani	Investing in Infrastructure Development for the Future
第 30 回	2009年11月	(1)	原 恒雄	公共事業の必要性は理解されているか
		(2)	木村 孟	我が国の子ども達の学力について
第 31 回	2009年12月	(1)	橋本 鋼太郎	変化する時代の土木のあり方
		(2)	冨岡 征一郎	海外土木事業における我が国の競争力
第 32 回	2010年年1月	(1)	竹村 公太郎	公共事業の必要性は理解されているか
		(2)	塩谷 喜雄	アカデミズムの存在理由
第 33 回	2010年年2月	(1)	小磯 修二	社会資本投資と地域の経済成長力
		(2)	大島 一哉	「組織主体から個人主体へ　未来と魅力のある土木界にするために　」
第 34 回	2010年年3月	(1)	栢原 英郎	本当にシビルエンジニアか
		(2)	森地 茂	社会資本を巡る議論

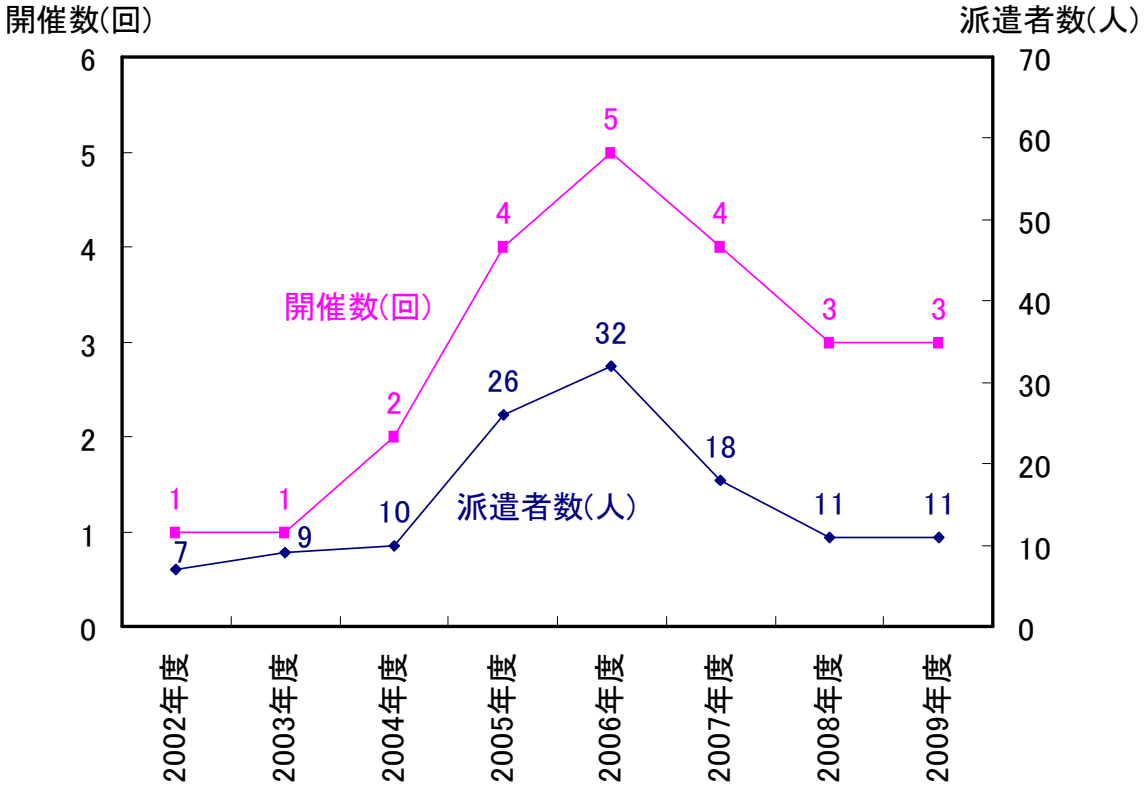
＊　論説のページ：http://committees.jsce.or.jp/editorial/list

国際交流（受入・派遣)


交流数(回)
25
20
15
10
5
0
1991年度
1992年度
1993年度
1994年度
1995年度
1996年度
1997年度
1998年度
1999年度
2000年度
2001年度
2002年度
2003年度
2004年度
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
2009年度
国際交流(受入)
国際交流(派遣)

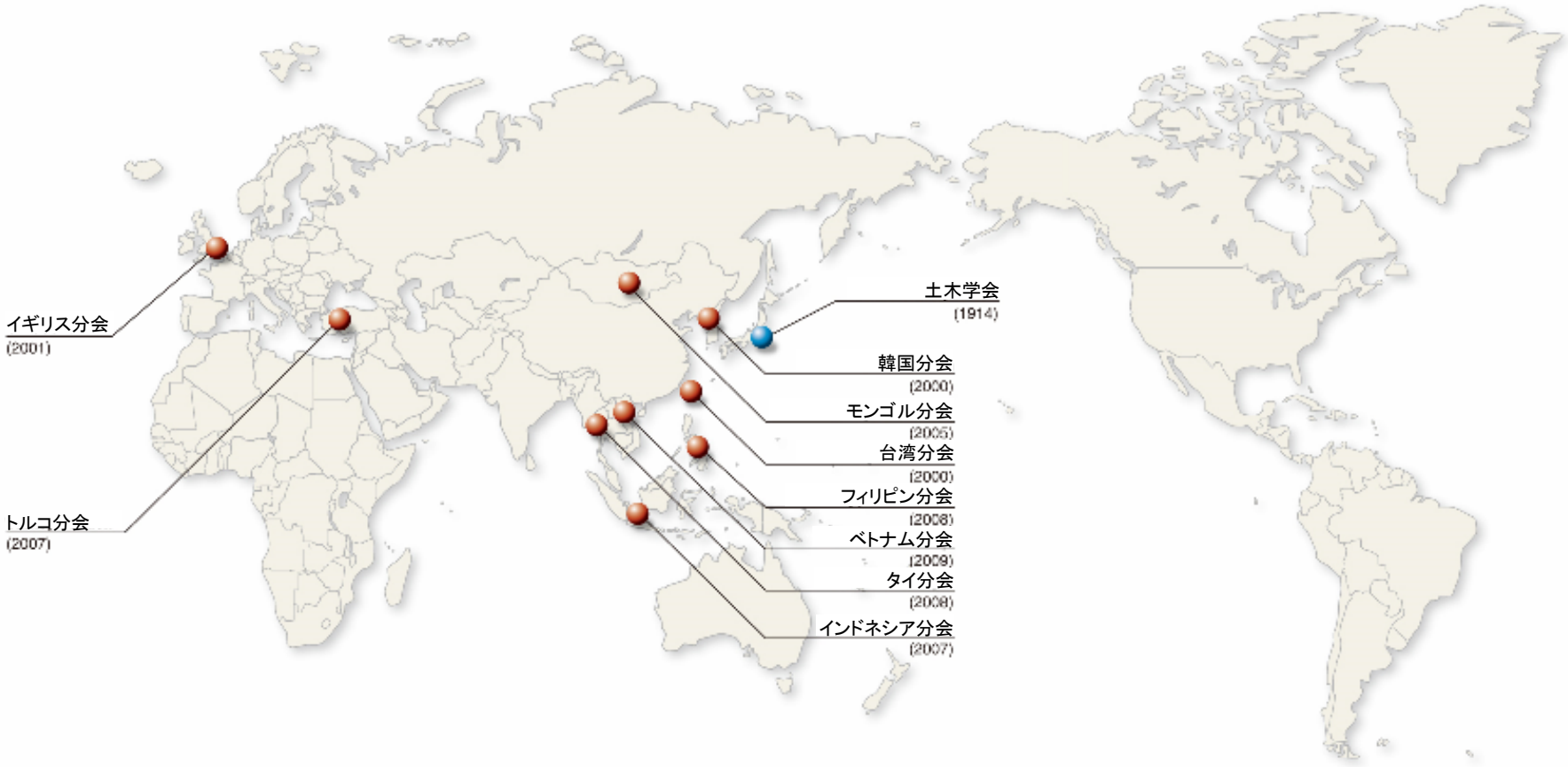
国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数

	開催数（回）	派遣者数（人）	開催国別派遣者数（人）
2002年度	1	7	タイ：7
2003年度	1	9	韓国：9
2004年度	2	10	フィリピン：5、台湾：5
2005年度	4	26	モンゴル：6、バングラディッシュ：5、韓国：7、ベトナム：8
2006年度	5	32	インド：6、ベトナム：7、韓国：7、中国：5、タイ：7
2007年度	4	18	モンゴル：6、タイ：5、韓国：3、台湾：4
2008年度	3	11	スウェーデン：3、インドネシア：2、オーストラリア：6
2009年度	3	11	モンゴル：5、ネパール：3、ギリシャ：3

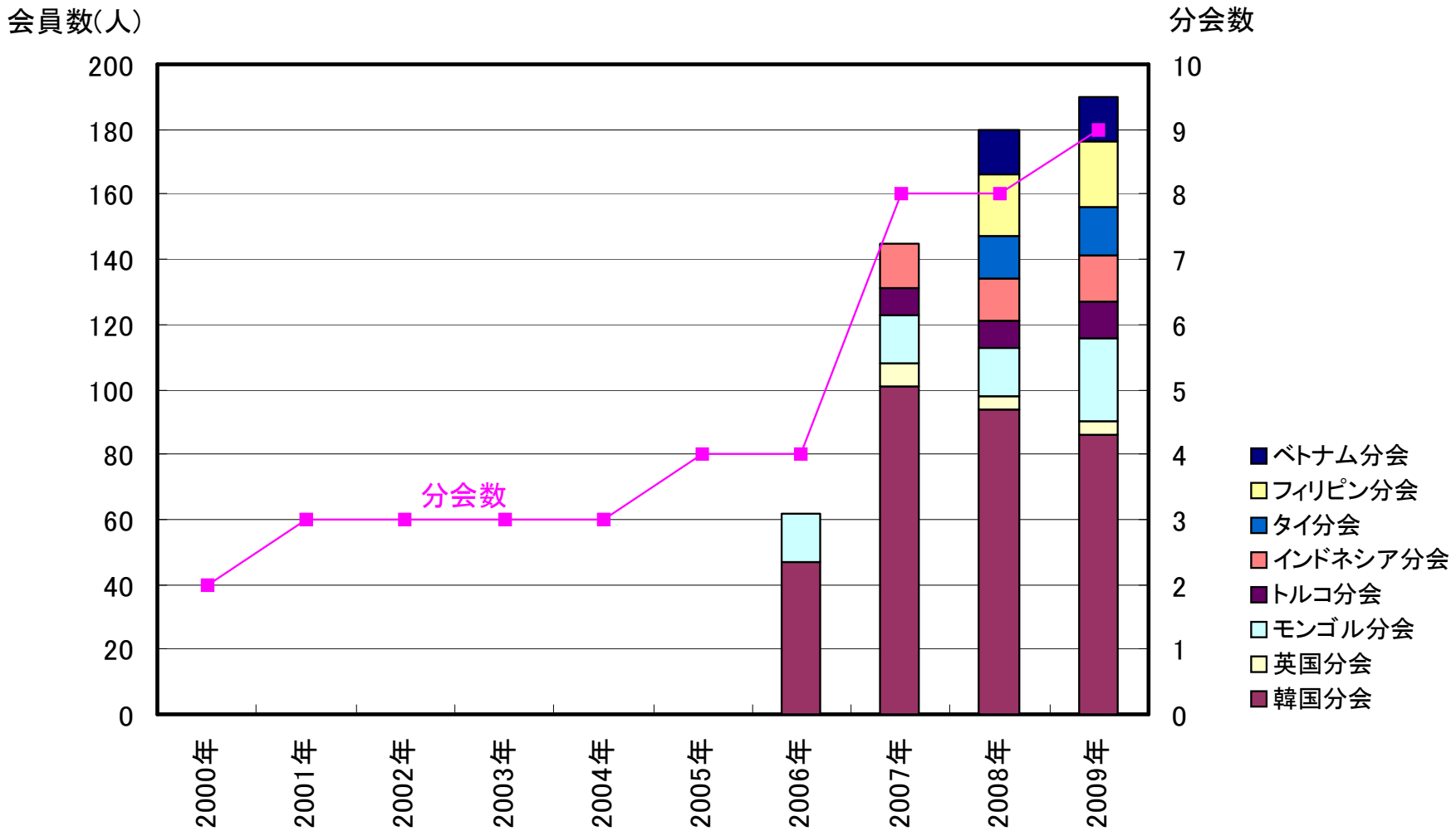


国際ジョイントセミナーのページ：http://www.jsce.or.jp/kokusai/js.shtml

海外分会の設置状況

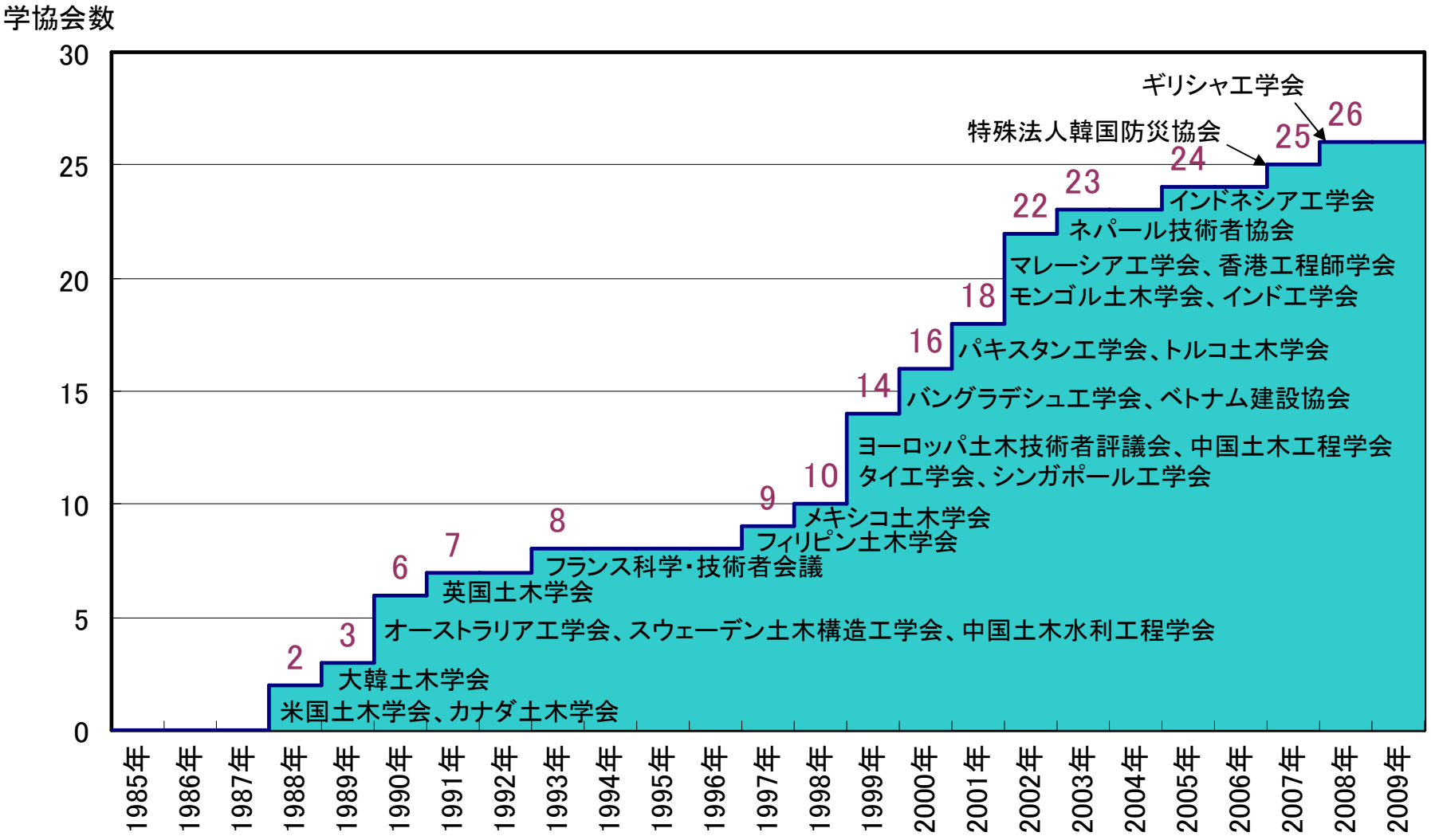

土木学会
(1914)
韓国分会
(2000)
モンゴル分会
(2005)
台湾分会
(2000)
フィリピン分会
(2008)
ベトナム分会
(2009)
タイ分会
(2008)
インドネシア分会
(2007)
イギリス分会
(2001)
トルコ分会
(2007)

海外分会数と会員数

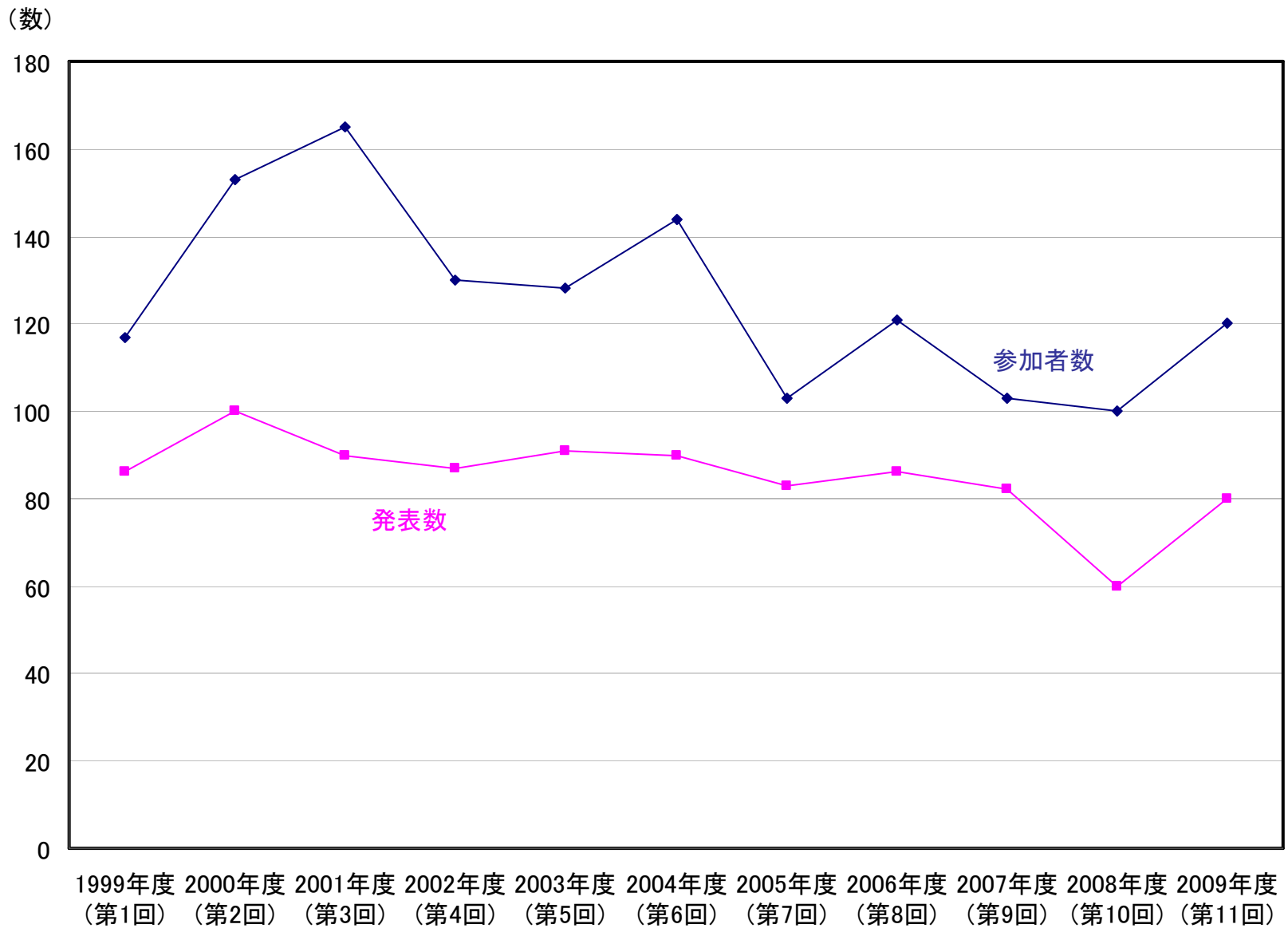


＊　2005年以前(英国分会は2006年以前)は会員数データなし

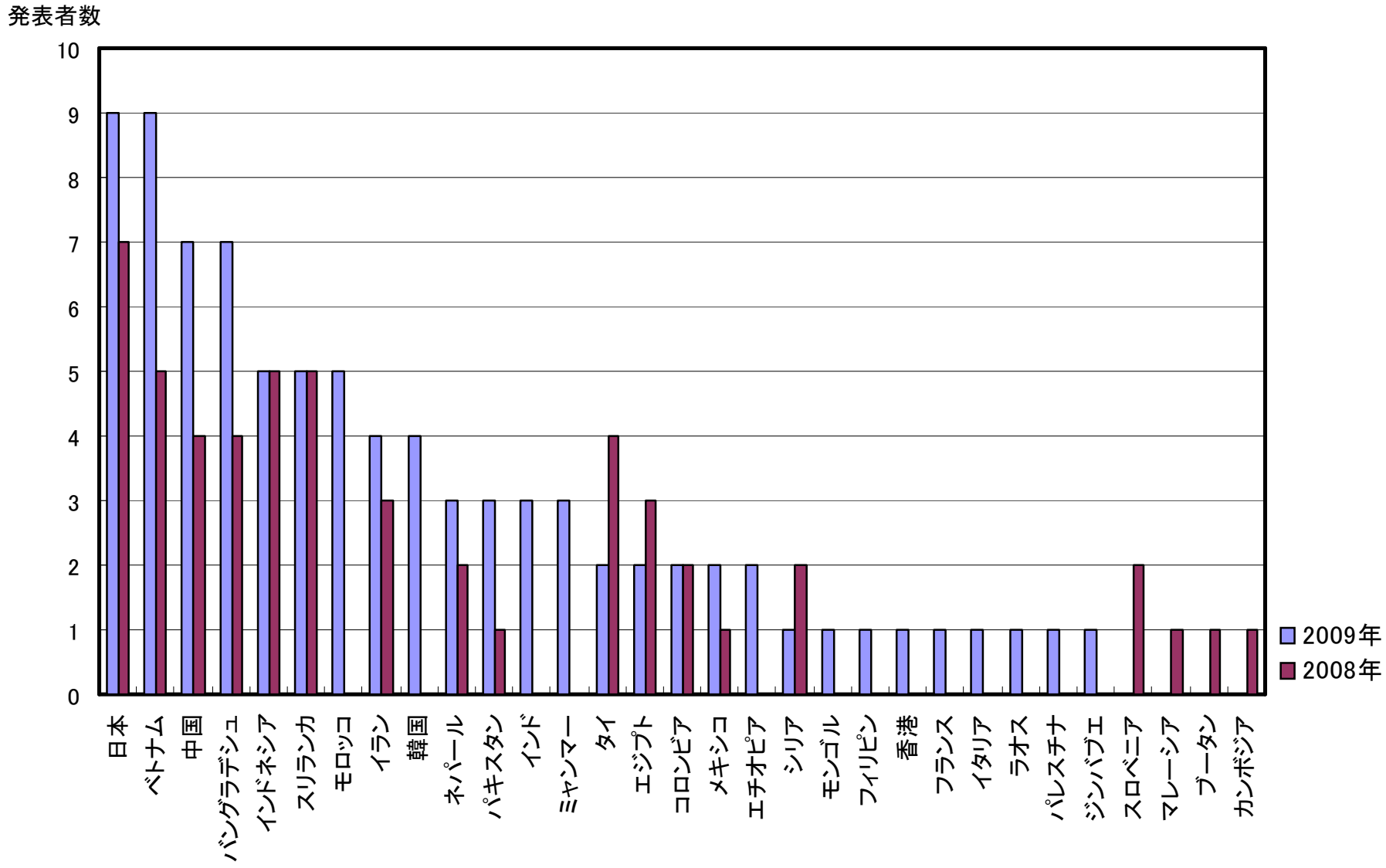
海外の協定学協会


学協会数
30
25
20
15
10
5
0
1985年
1986年
1987年
1988年
1989年
1990年
1991年
1992年
1993年
1994年
1995年
1996年
1997年
1998年
1999年
2000年
2001年
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年
2008年
2009年
2
米国土木学会、カナダ土木学会
3
大韓土木学会
6
オーストラリア工学会、スウェーデン土木構造工学会、中国土木水利工程学会
7
英国土木学会
8
フランス科学・技術者会議
9
フィリピン土木学会
10
メキシコ土木学会
14
タイ工学会、シンガポール工学会
16
ヨーロッパ土木技術者評議会、中国土木工程学会
18
バングラデシュ工学会、ベトナム建設協会
22
パキスタン工学会、トルコ土木学会
23
モンゴル土木学会、インド工学会
24
マレーシア工学会、香港工程師学会
25
ネパール技術者協会
26
インドネシア工学会
特殊法人韓国防災協会
ギリシャ工学会

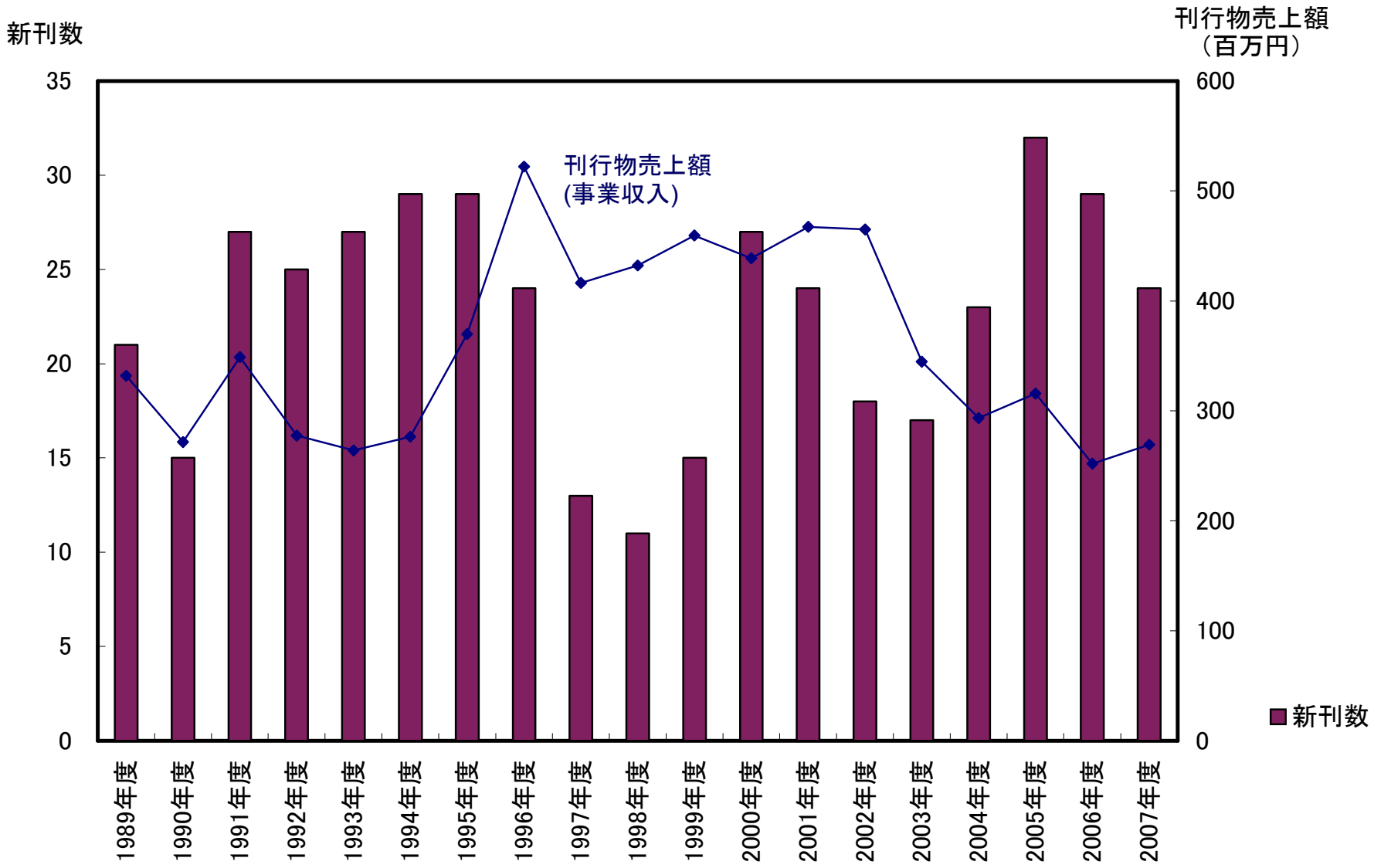
インターナショナルサマーシンポジウム発表数と参加者数



インターナショナルサマーシンポジウム国籍別発表者数



新刊数と刊行物売上額の推移



刊行物売上ベスト10

すべての出版物

	書名	担当委員会名	売上部数	発行年月	定価（税込）
1	2007年制定　コンクリート標準示方書　施工編	コンクリート委員会	12,501	2008年3月	6,930
2	2007年制定　コンクリート標準示方書　設計編	コンクリート委員会	9,618	2008年3月	8,400
3	2007年制定　コンクリート標準示方書　維持管理編	コンクリート委員会	6,583	2008年3月	4,830
4	2007年制定　コンクリート標準示方書　規準編	コンクリート委員会	4,459	2008年3月	8,400
5	土木材料実験指導書[2009年改訂版]	コンクリート委員会	3,906	2009年1月	1,365
6	コンクリートライブラリー129 2007年版コンクリート標準示方書改訂資料	コンクリート委員会	3,314	2008年3月	3,990
7	2007年制定　コンクリート標準示方書　ダムコンクリート編	コンクリート委員会	3,116	2008年3月	4,095
8	国づくり人づくりのコンシェルジュ	コンサルタント委員会	2,162	2008年5月	1,050
9	土質試験のてびき　改訂版	地盤工学委員会	1,698	2003年2月	1,365
10	水理実験指導書［平成13年版］	水工学委員会	1,437	2001年3月	1,050

示方書、教材図書を除く出版物

	書名	担当委員会名	売上部数	発行年月	定価（税込）
1	国づくり人づくりのコンシェルジュ	コンサルタント委員会	2,162	2008年5月	1,050
2	技術は人なりープロフェッショナルと技術者倫理ー	教育企画・人材育成委員会	1,287	2005年9月	1,260
3	コンクリートライブラリー128　鉄筋定着・継手指針	コンクリート委員会	902	2007年8月	5,040
4	コンクリートライブラリー130 ステンレス鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計施工指針(案)	コンクリート委員会	881	2008年9月	1,785
5	鋼構造シリーズ17　道路橋支承部の改善と維持管理技術	鋼構造委員会	770	2008年5月	2,940
6	2008年版　全国土木系教員名簿	出版委員会	551	2008年9月	2,100
7	コンクリートライブラリー126 施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針（案）	コンクリート委員会	542	2007年3月	5,040
8	土木技術者の倫理ー事例分析を中心としてー	教育企画・人材育成委員会	505	2003年5月	1,260
9	土木施工なんでも相談室［コンクリート工編］	建設技術研究委員会	427	2006年12月	2,940
10	建設マネジメントシリーズ01　公共調達制度を考える①	建設マネジメント委員会	418	2008年5月	2,625

＊　対象期間：2008年4月1日～2009年3月31日

翻訳出版物許可実績

書名	申請者	国名	理事会承認年月	有料
構造工学シリーズ9A　鋼・コンクリート複合構造の理論と設計 (1)基礎編：理論編（土木学会編・発行，平成11年）	科学技術	韓国	2002年4月	○
構造工学シリーズ9B　鋼・コンクリート複合構造の理論と設計 (2)応用編：設計編（土木学会編・発行，平成11年）	科学技術	韓国	2002年4月	○
構造工学シリーズ13コンクリート長大アーチ橋－支間600mクラス－の設計・施工 （土木学会編・発行，平成15年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	2008年4月	
構造工学シリーズ14　FRP橋梁－技術とその展望－（土木学会編・発行，平成16年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	2004年9月	
鋼構造シリーズ5　鋼斜張橋－技術とその変遷－（土木学会編・発行，平成2年）	科学技術	韓国	2003年7月	○
鋼構造シリーズ8　吊橋－技術とその変遷－（土木学会編・発行，平成8年）	科学技術	韓国	2003年7月	○
鋼構造シリーズ13　浮体橋の設計指針（土木学会編・発行，平成13年）	BAN SUK TECH	韓国	2008年4月	○
新体系土木工学21　水文学－確率論的手法とその応用－ （神田　徹・藤田睦博共著，技報堂出版発行，昭和57年）	東和技術	韓国	2001年11月	○
水辺の景観設計（昭和63年，土木学会編，技報堂出版発行）	V.I.Land	韓国	2004年3月	○
水辺の景観設計（土木学会編，技報堂出版発行，昭和63年）	大連理工大学出版社	中国	2002年1月	○
港の景観設計（土木学会編・技報堂出版発行，平成3年）	普文堂	韓国	2001年1月	○
わかりやすい土木講座17　二訂版　海岸・港湾（合田良実著，彰国社発行，平成10年）	JIYANGSHA	韓国	1999年6月	○
海岸波動（土木学会編・発行，平成6年）	Gu Mi Seo Kwan Publishing Co.	韓国	2001年7月	○
トンネル・ライブラリー11　トンネルへの限界状態設計法の適用（土木学会編・発行，平成13年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	2007年3月	
トンネル・ライブラリー第5号　山岳トンネルの補助工法（土木学会編・発行，平成6年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	1999年1月	
トンネル・ライブラリー第8号　都市NATMとシールド工法との境界領域－設計法の現状と課題－ （土木学会編・発行，平成7年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	2000年4月	
トンネルライブラリー19　シールドトンネルの耐震検討（土木学会編・発行，平成19年）	中国建築工業出版社	中国	2008年4月	○
トンネルの変状メカニズム（土木学会編・発行，平成15年）	建設情報社	韓国	2005年4月	○
トンネルの変状メカニズム（土木学会編・発行，平成15年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	2006年1月	
トンネル標準示方書[シールド工法編]・同解説（土木学会編・発行，平成8年）	中国建築工業出版社	中国	2001年7月	○
トンネル標準示方書[シールド工法編]・同解説（土木学会編・発行，平成8年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	2001年9月	
トンネル標準示方書[シールド工法編]・同解説（土木学会編・発行，平成8年）	山口大学臨床トンネル工学研究所	インドネシア	2003年4月	
トンネル標準示方書[開削工法編]・同解説（土木学会編・発行，平成8年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	2001年9月	
トンネル標準示方書[山岳工法編]・同解説（土木学会編・発行，平成8年）	財団法人　中興工程科技研究発展基金会	台湾	1999年6月	
トンネル標準示方書[山岳工法編]・同解説（土木学会編・発行，平成8年）	山口大学臨床トンネル工学研究所	インドネシア	2002年3月	
トンネル標準示方書[山岳工法編]・同解説（土木学会編・発行，平成8年）	山口大学工学部社会建設工学科（中川浩二教授）	ベトナム	2004年7月	
2006年制定 トンネル標準示方書〔シールド工法〕・同解説（土木学会編・発行，平成18年）	土木学会海外支部台湾分会	台湾	2008年9月	○
岩盤斜面の安定解析と計測（土木学会編・発行，平成6年）	大韓土木学会	韓国	2004年9月	
岩盤斜面の調査と対策（土木学会編・発行，平成11年）	大韓土木学会	韓国	2004年9月	
岩盤上の大型構造物基礎（土木学会編・発行，平成10年）	大韓土木学会	韓国	2006年1月	
街路の景観設計（土木学会編・技報堂出版発行，昭和60年）	中国建築工業出版社	中国	2000年9月	○
新体系土木工学59　土木景観計画（篠原　修著，技報堂出版発行，昭和57年）	大宇出版社	韓国	1999年6月	○
コンクリートライブラリー66　プレストレストコンクリート工法設計施工指針 （土木学会編・発行，平成3年）	Doser Chulpan Wongisul	韓国	1997年11月	○
大規模地下空洞の情報化施工（土木学会編・発行，平成8年）	欧美書館	韓国	2002年1月	○
土木学会誌叢書2　合意形成論－総論賛成・各論反対のジレンマ－（土木学会編・発行，平成16年）	京畿開発研究院	韓国	2006年1月	

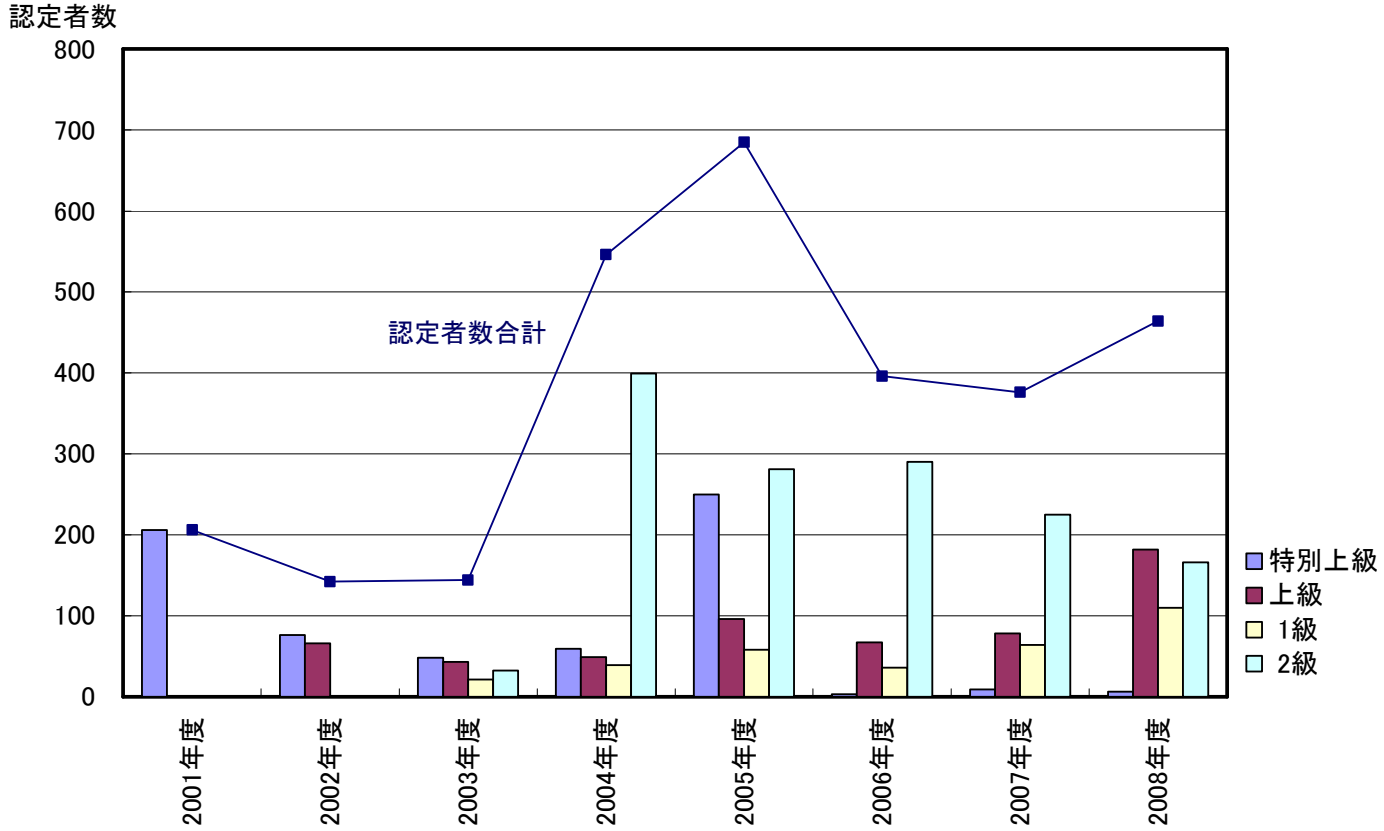
英文出版物実績

書名	担当委員会名	ページ数	定価（税込）	発行年度
Concrete Library International Vol.29	コンクリート委員会	313	2,625	平成9年度
Concrete Library International Vol.30	コンクリート委員会	254	2,625	平成9年度
Concrete Library International Vol.31	コンクリート委員会	402	2,625	平成10年度
Concrete Library International Vol.32	コンクリート委員会	117	2,625	平成10年度
Concrete Library International Vol.33	コンクリート委員会	207	2,625	平成11年度
Concrete Library International Vol.34	コンクリート委員会	186	2,625	平成11年度
Concrete Library International No.35	コンクリート委員会	202	2,625	平成12年度
Concrete Library International No.36	コンクリート委員会	307	2,625	平成12年度
Concrete Library International No.37	コンクリート委員会	189	2,625	平成13年度
Concrete Library International No.38	コンクリート委員会	236	2,625	平成13年度
Concrete Library International No.39 CD-ROM	コンクリート委員会	CD-ROM	3,150	平成14年度
Concrete Library International No.40 CD-ROM	コンクリート委員会	CD-ROM	3,150	平成14年度
Concrete Library International No.41 CD-ROM	コンクリート委員会	CD-ROM	3,150	平成15年度
Concrete Library International No.42 CD-ROM	コンクリート委員会	CD-ROM	3,150	平成15年度
Concrete Library International No.43 CD-ROM	コンクリート委員会	CD-ROM	3,150	平成16年度
JGC No.1 電気炉酸化スラグ指針（CL110）	コンクリート委員会	53	2,100	平成16年度
JGC No.2 塩化物イオン拡散係数試験方法	コンクリート委員会	57	1,575	平成16年度
JGC No.3 英文版 コンクリート示方書 構造性能照査編	コンクリート委員会	274	2,100	平成16年度
JGC No.4 英文版 コンクリート示方書 維持管理編	コンクリート委員会	170	1,890	平成16年度
JGC No.5 英文版 コンクリート示方書 耐震性能照査編	コンクリート委員会	47	1,470	平成16年度
JGC No.6 英文版 コンクリート示方書 施工編	コンクリート委員会	443	2,520	平成17年度
JGC No.7 英文・環境性能照査指針（CL125）	コンクリート委員会	28	1,260	平成18年度
JGC No.8 英文・吹付けコンクリート指針（CL121～123）	コンクリート委員会	303	3,360	平成18年度
JGC No.9 英文・超高強度繊維補強コンクリート指針（CL113）	コンクリート委員会	106	1,680	平成18年度
JGC No.10 英文・示方書に基づく設計計算例 桟橋上部工編（CL116）	コンクリート委員会	98	1,890	平成18年度
JGC No.11 英文版「2005年制定コンクリート標準示方書[規準編]『K.補修材料』」	コンクリート委員会	120	1,890	平成19年度
JAPANESE STANDARD FOR MOUNTAIN TUNNELING（英文版 トンネル標準示方書[山岳工法編]）	トンネル工学委員会	162	3,150	平成12年度
JAPANESE STANDARD FOR SHIELD TUNNELING（英文版 トンネル標準示方書[シールド工法編]）	トンネル工学委員会	218	3,150	平成12年度
STANDARD SPECIFICATIONS FOR TUNNELING -2006:Mountain Tunnels （英文版 2006年制定トンネル標準示方書[山岳工法]・同解説）	トンネル工学委員会	287	3,990	平成19年度
STANDARD SPECIFICATIONS FOR TUNNELING -2006:Shield Tunnels （英文版 2006年制定トンネル標準示方書[シールド工法]・同解説）	トンネル工学委員会	271	3,990	平成19年度
STANDARD SPECIFICATIONS FOR TUNNELING -2006:Cut and Cover Tunnels （英文版 2006年制定トンネル標準示方書[開削工法]・同解説）	トンネル工学委員会	348	4,200	平成20年度
英文版 海岸施設設計便覧	海岸工学委員会	577	21,000	平成16年度
英文耐震規程 Earthquake Resistant Design Codes in Japan January, 2000	地震工学委員会	171	2,835	平成12年度
複合構造シリーズ02 英文版 複合構造物の性能照査指針（案）	複合構造委員会	172	2,625	平成18年度

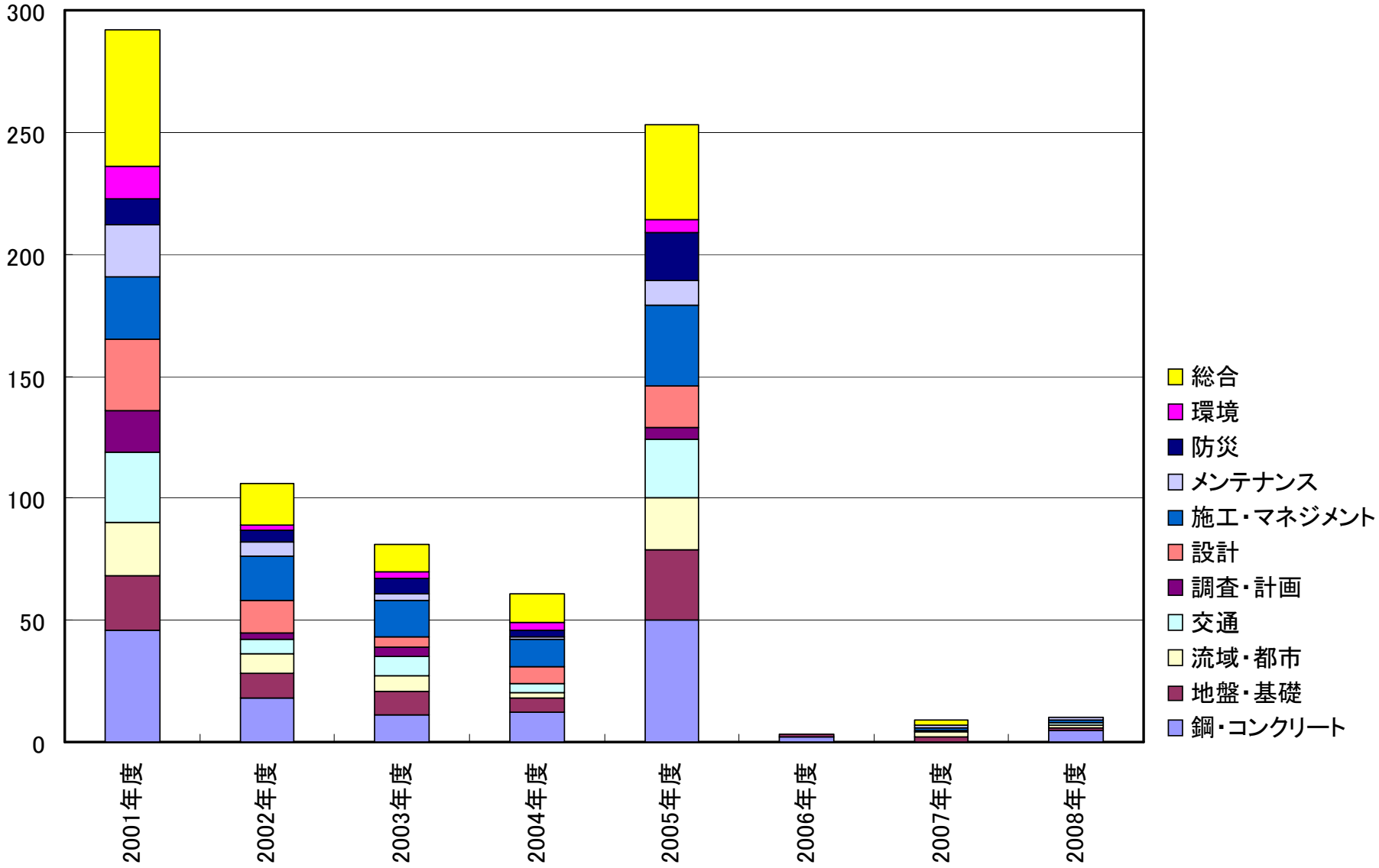
注）今後、出版事業としての英文出版物は発行しない。

技術者資格　認定者数

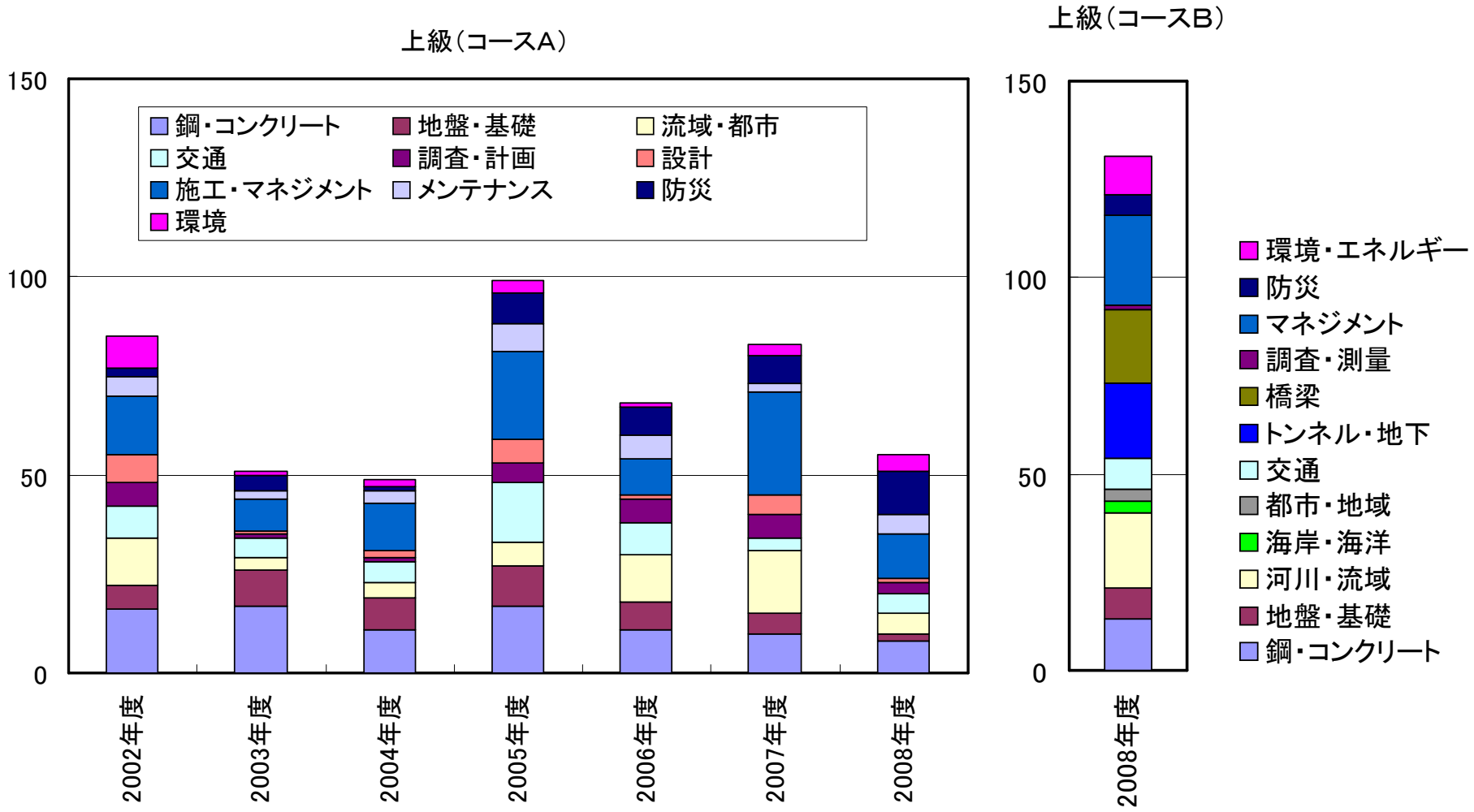
	特別上級	上級	1級	2級	合　計
2001年度	206				206
2002年度	76	66			142
2003年度	48	43	21	32	144
2004年度	59	49	39	399	546
2005年度	250	96	58	281	685
2006年度	3	67	36	290	396
2007年度	9	78	64	225	376
2008年度	6	182	110	166	464
合　計	657	581	328	1,393	2,959



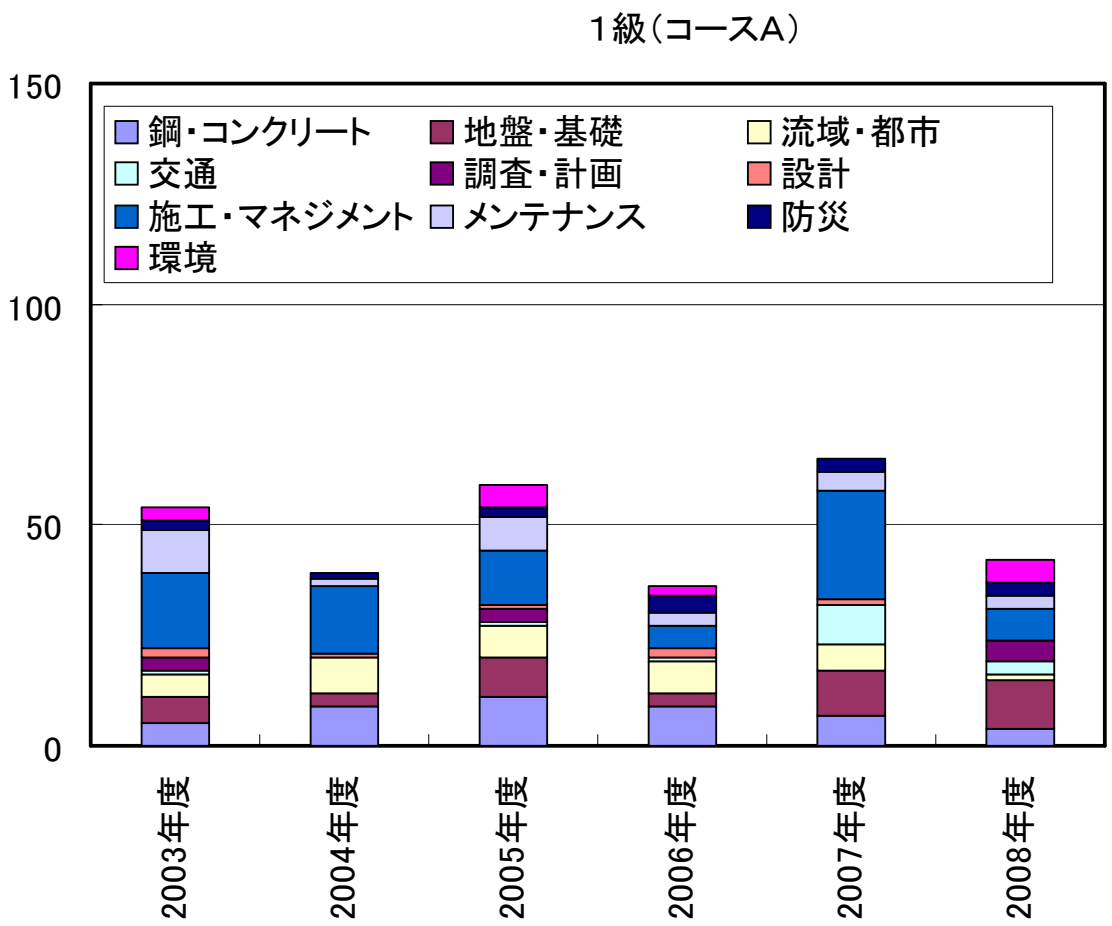
技術者資格　資格分野別合格者数(特別上級)

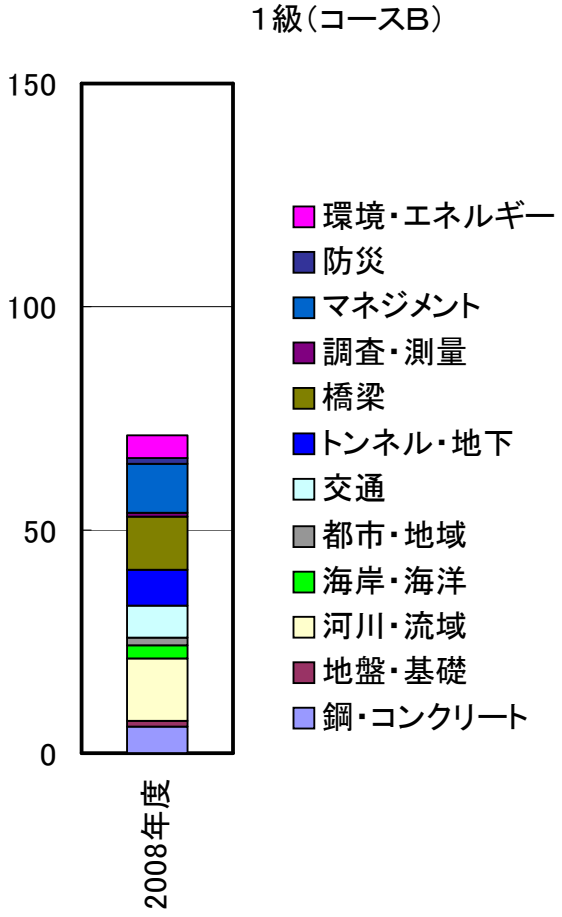


技術者資格　資格分野別合格者数(上級)

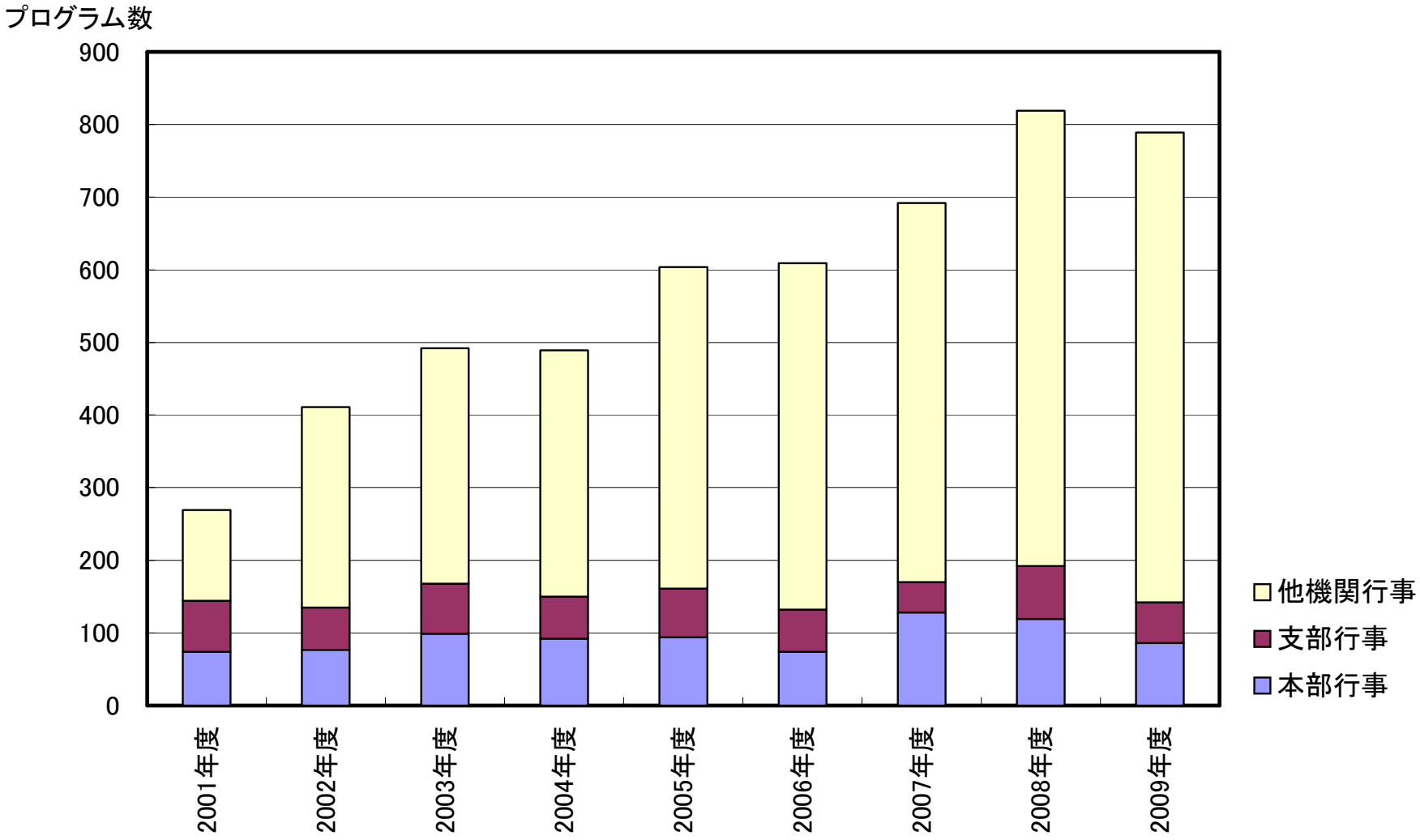


技術者資格　資格分野別合格者数（1級）

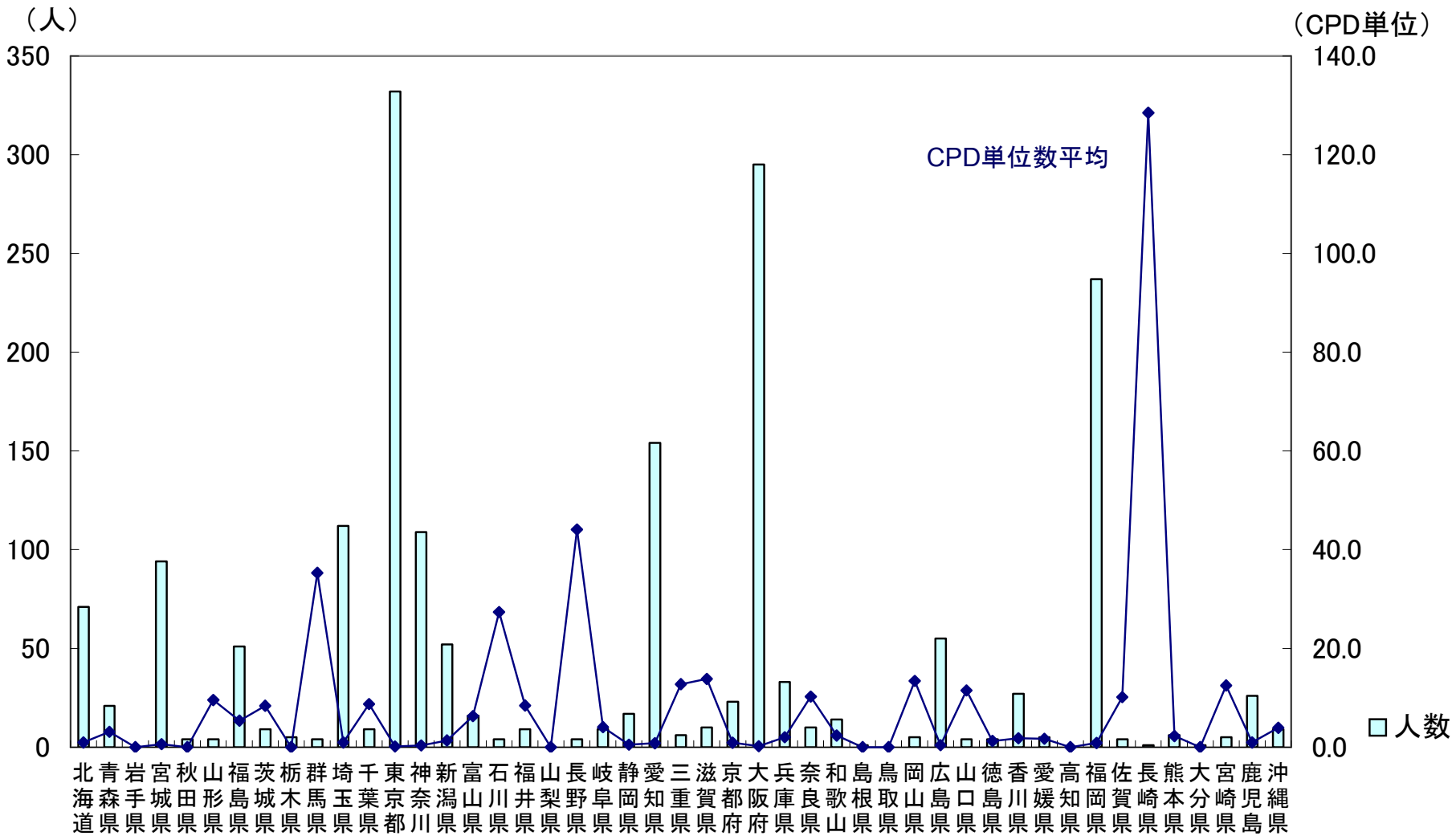




CPD認定プログラムの推移

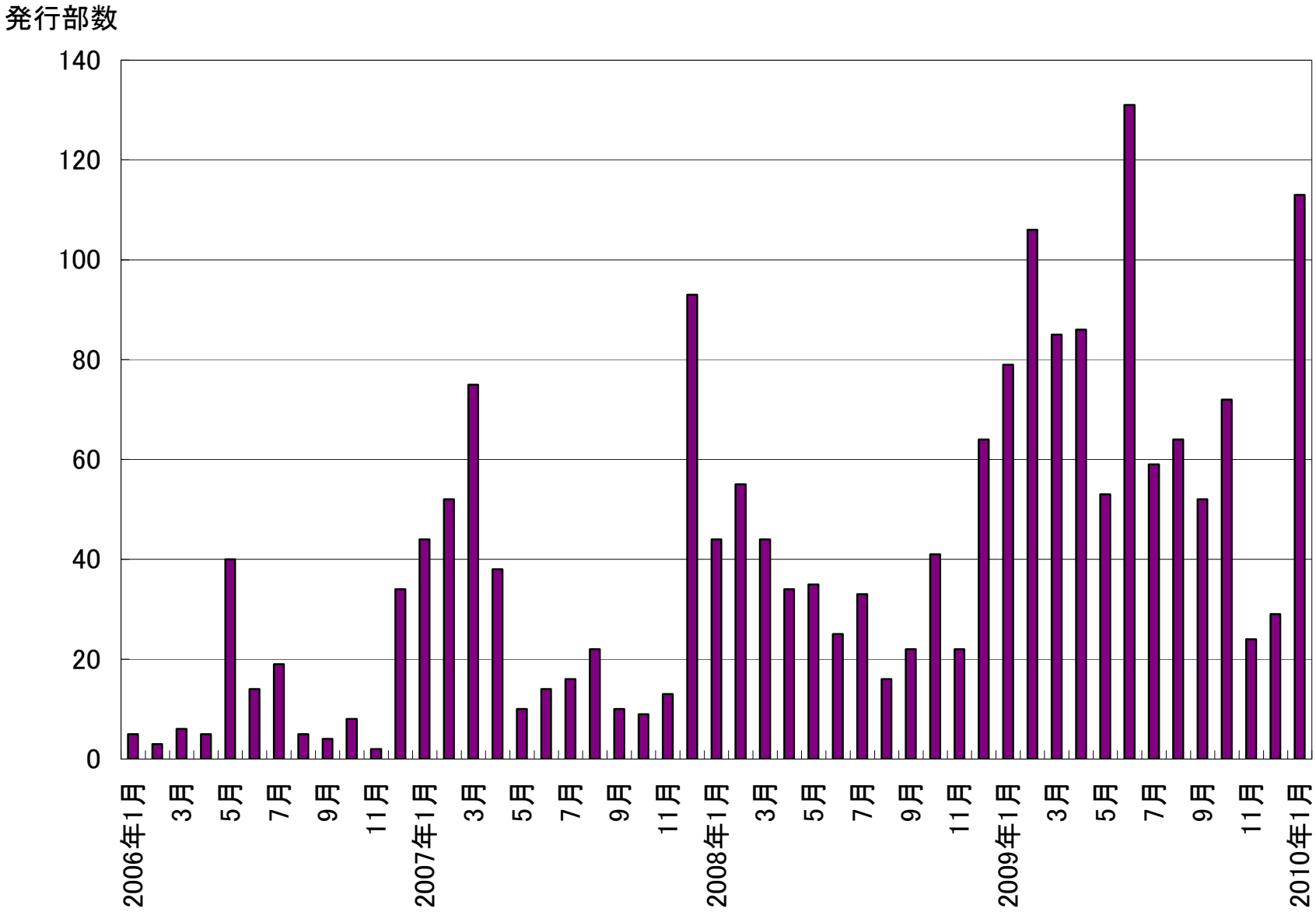


都道府県別CPD登録メンバー数・取得CPD単位平均



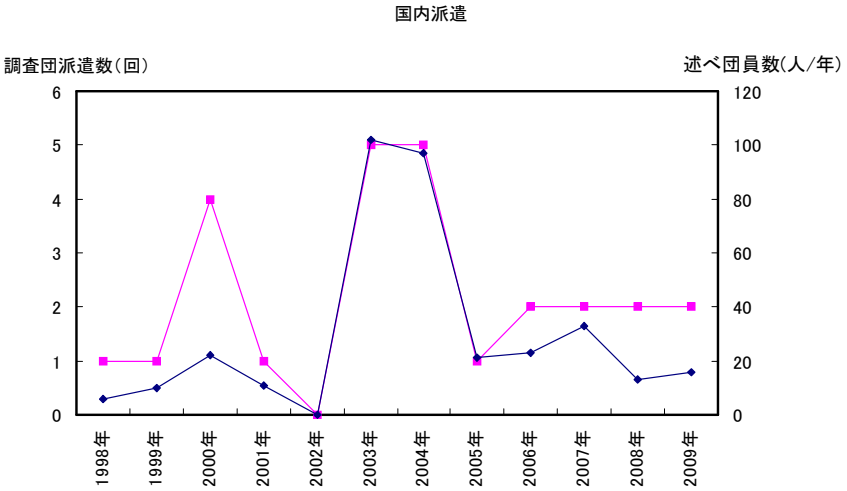
＊　2009年7月6日時点までのデータ
＊　ＣＰＤ登録メンバー　：　ＣＰＤシステムを利用している会員以外の方

継続教育記録登録証明書発行部数の推移

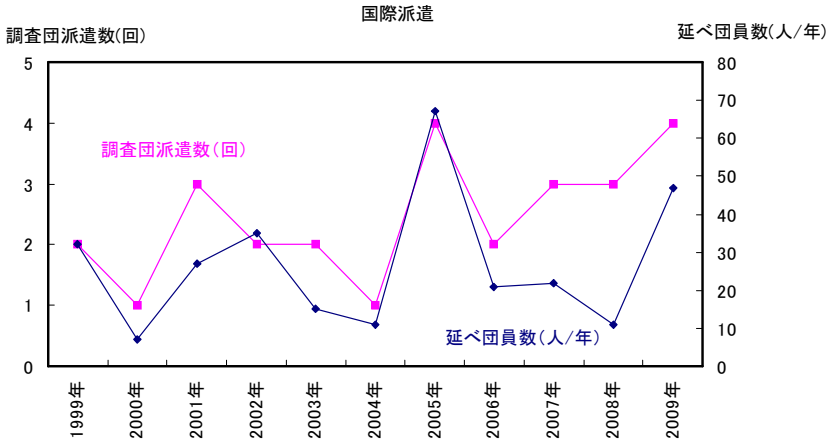


災害調査団派遣実績

国内派遣	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	災害名
1998年	1	6	福島・栃木・茨城水害
1999年	1	10	広島県土砂災害
2000年	4	22	有珠山噴火、神津島近海地震、東海豪雨災害、鳥取県西部地震
2001年	1	11	芸予地震
2002年	0	0	
2003年	5	102	三陸南沖地震、九州北部・中部豪雨災害、宮城県北部地震、平成15年8月台風10号豪雨災害・北海道胆振・日高地方災害、十勝沖地震
2004年	5	97	北陸豪雨災害、四国豪雨・高潮災害、平成16年9月台風21・22号災害、平成16年10月 台風23号災害、新潟県中越地震災害
2005年	1	21	福岡県西方沖地震
2006年	2	23	平成18年7月豪雨災害、平成18年11月北海道佐呂間町竜巻災害
2007年	2	33	能登半島地震、新潟県中越沖地震
2008年	2	13	岩手・宮城内陸地震、都賀川水難事故
2009年	2	16	防府土砂災害、兵庫県佐用町河川災害

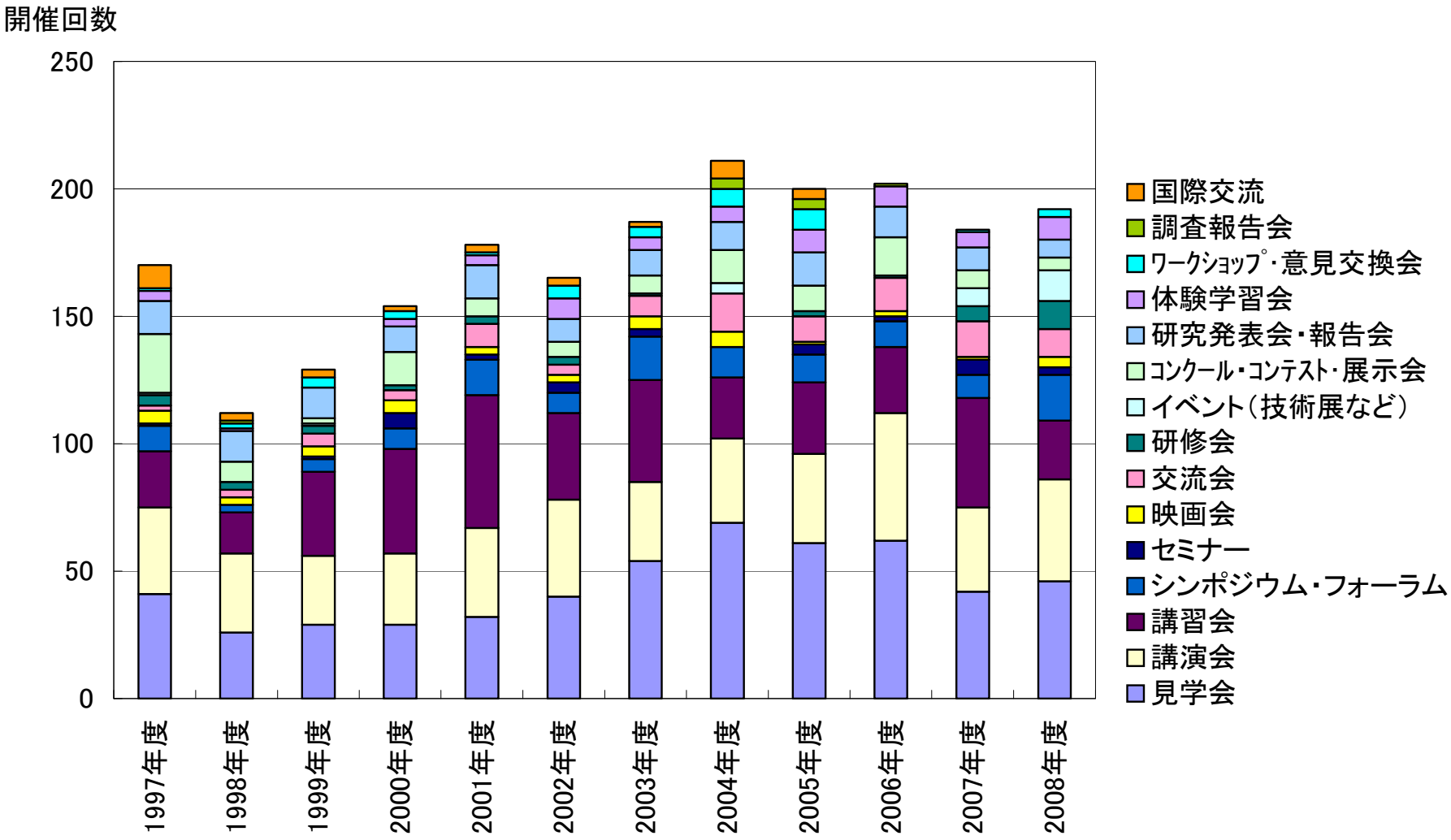


国際派遣	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	派遣国・地域等
1999年	2	32	台湾、トルコ
2000年	1	7	メコン河
2001年	3	27	エルサルバドル、インド、ペルー
2002年	2	35	イラン、ヨーロッパ
2003年	2	15	トルコ、アルジェリア
2004年	1	11	イラン
2005年	4	67	スマトラ、アメリカ、パキスタン、インドネシア
2006年	2	21	ジャワ島、スマトラ
2007年	3	22	ペルー、スマトラ、バングラデシュ
2008年	3	11	インドネシア、中国、ミャンマー
2009年	4	47	イタリア、台湾、インドネシア、フィリピン

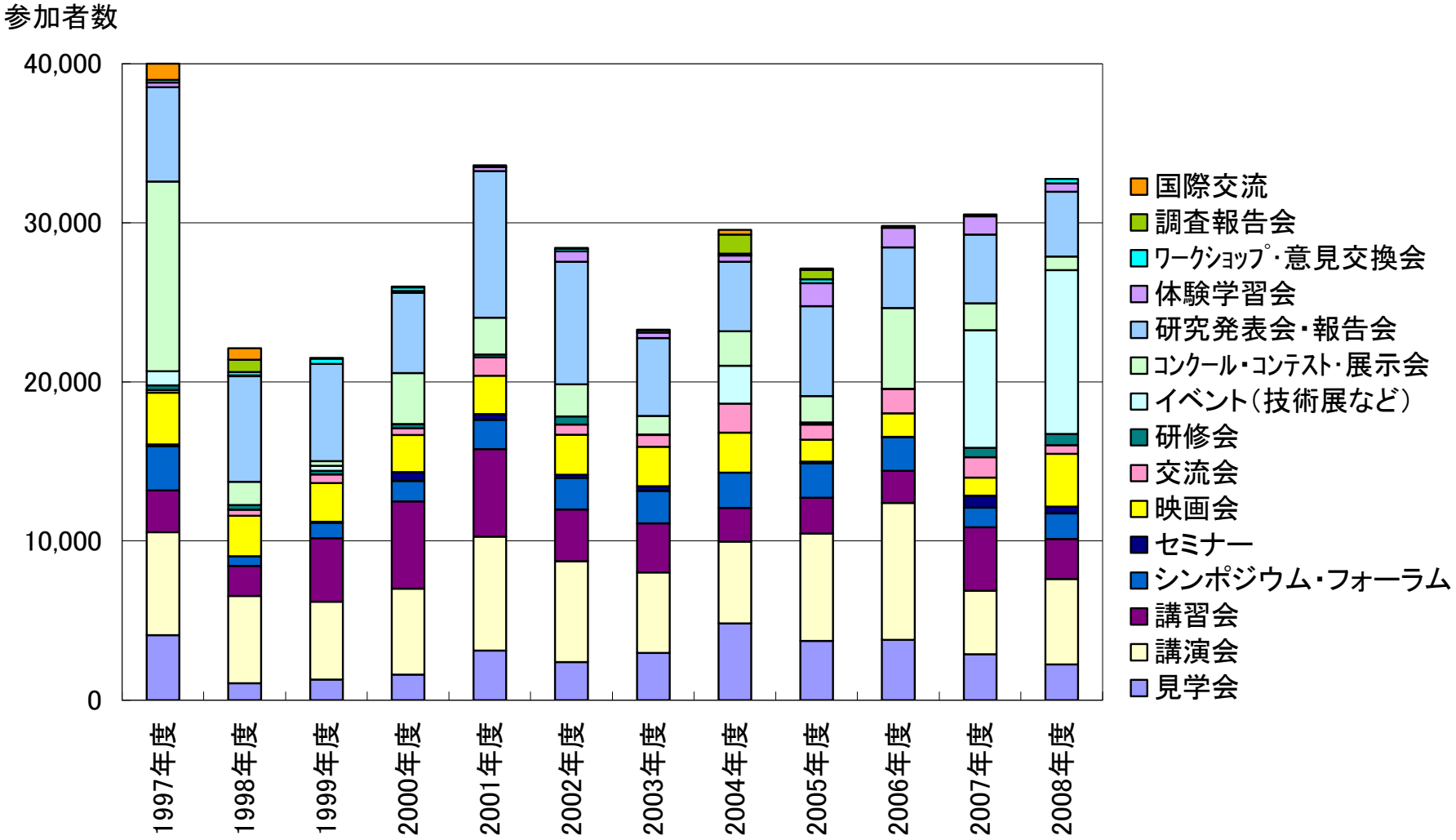


災害速報のページ:http://committees.jsce.or.jp/report/

支部行事開催数


開催回数
250
200
150
100
50
0
1997年度
1998年度
1999年度
2000年度
2001年度
2002年度
2003年度
2004年度
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
国際交流
調査報告会
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ・意見交換会
体験学習会
研究発表会・報告会
ｺﾝｸｰﾙ・ｺﾝﾃｽﾄ・展示会
イベント（技術展など）
研修会
交流会
映画会
セミナー
シンポジウム・フォーラム
講習会
講演会
見学会

支部行事参加者数


参加者数
40,000
30,000
20,000
10,000
0
1997年度
1998年度
1999年度
2000年度
2001年度
2002年度
2003年度
2004年度
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
国際交流
調査報告会
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ･意見交換会
体験学習会
研究発表会・報告会
ｺﾝｸｰﾙ・ｺﾝﾃｽﾄ・展示会
イベント（技術展など）
研修会
交流会
映画会
セミナー
シンポジウム・フォーラム
講習会
講演会
見学会